滿洲日報
十一月十七日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

支那當局の要人間に滿洲放棄論有力
たゞ面目の保持を考慮

最近[illegible]も日本側の拔くべからざる固き決心と滿洲國の次第に鞏固になりゆく基礎および、如何にしても原狀回復の望みなく、加ふるにアメリカ大統領の選擧によりルーズヴエルト氏の當選を見、その東洋政策の變更も想像されて來た、この世界各國の空氣を觀得した支那要人中には滿洲の放棄說を唱へるもの次第に多くなつたが、たゞ支那從來の面目の保持のみが現在の問題になつてゐるとの報あり、一方蔣介石は藍衣社運動に熱中し事實上滿洲を張學良に任せ切りにしてゐるのを併せ見れば支那の對滿方策に變革を來したのでないかと見られ注視されてゐる【新京電話】

わが松岡代表一行は愈よ十八日壽府入り
直ちに訪問、聲明、會合

【ジユネーヴ十六日發】パリで我全權團と聯盟對策につき重要打合せを遂げた松岡代表一行は愈々十八日午前七時晴れのジユネーヴ入りを行ふので、之に對し留守役の帝國事務局長伊藤述史氏等は早くも諸般の準備を整へてゐるが、松岡代表は旅裝を解く間もなく十八日中に聯盟事務總長ドラモンド氏を始めイギリスのサイモン外相、アメリカのデーヴイス氏其他各國代表を訪問し、次いで午後五時よりメトロポール、ホテルでパリと同樣の形式で外人記者團と會見し同時に聲明書も發表する豫定である、十九、二十兩日は內部の打合會議が頻繁に開かれるが、十九日午後は會議關係の日本人全體に記者團も加へ七、八十名が一堂に會しお茶の會を開き日本人全體の內部的協議を行ひ結束を固める筈でジユネーヴの空氣は著るしく緊張して來た

審議手續に關する日支意見相違
理事會で激論を見ん

【ジユネーヴ十六日發】聯盟理事會は十一日より開會されるが、開會と同時に忽ち日支兩國代表の間に紛爭審議の手續き問題につき一大激論が鬪はされるだらうと見られてゐる、卽ち支那側が「理事會は日支紛爭事件を取扱ひ報告書を審議すべき權限なし」との解釋を有してゐる事は前回の理事會でも屢々主張聲明した所で支那側は依然この見解を變ず日支問題は十九ケ國委員會乃至特別聯盟總會でなさるべきだとし、その實現に努むべく、一方日本代表は臨時總會の日支問題審議を認めぬ立場から十九ケ國委員會による審議も認めず飽く迄理事會で問題の目鼻をつけしめやうと奮鬪するだらう

支那代表部の陣容
既に各方面と接觸努力

【ジユネーヴ十六日發】聯盟支那代表顧維鈞、顏惠慶、郭泰祺は既にジユネーヴに到着し、各方面との接觸に努めてゐるが、支那側では理事會に顧維鈞が出席し、總會には顏惠慶が出席するに決定してゐる、而して三代表何れもホテル住居を避け家を借りバラ〳〵なのも支那式で事務所は設けてゐるが內部では頻繁に會合を開いてゐないのも面白い現象だ、三名の外主なる顏觸れは外交部參事金問泗、前亞細亞司長沈觀鼎である

佛首相も出席する
長岡大使招宴に

【パリ十六日發】フランス首相エリオ氏は我長岡大使主催の明日午後一時の大使官邸の午餐會に出席の旨回答して來た、都合つけば陸相ボンクール氏その他二、三關係閣僚も出席する模樣である、しかしエリオ首相目下の立場は松岡代表との懇談を困難ならしめてゐることは各方面の認むるところで結局日佛關係に更に大なる何ものかを加ふべしとは豫想されてゐない

擧國一致的聲援を送る
わが各政黨總裁放送

【東京十七日發】來る二十一日は滿洲問題に關する國際聯盟理事會が開會される第一日なので、放送局ではその日を期し遠く內地より擧國一致的聲援を送るべく各政黨總裁の演說を放送する計畫を立て鈴木政友會總裁にも出演を申込んで來た、總裁は山口幹事長にも相談の上何分の回答をなすこととなつてゐるが、大體承諾することとなるであらう

考査部案は不徹底
更に權威ある機關設置が必要
樞府委員會の方針

【東京十六日發】考查部設置に關する樞府審查委員會は十六日午後一時再開、政府原案修正につき協議の結果、今日の如く國際關係重大の際外交の刷新、外交機關の改善は緊要なるを以て樞府としては政府の考查部設置には同感だが政府案では不徹底でその目的を貫徹し得ぬ、故に政府は右の如きものでなく權威ある機關を設け外交刷新を圖るべきだと云ふに意見一致右を政府側に傳達し政府自ら同案を撤回し政府の意思に基き之に代る新案を改めて再御諮詢の手續を執られたい旨今明日中に交涉、その結果を俟つ事とし午後二時四十分散會した、樞府の權威ある機關とは寺內內閣當時の外交調查會の如き民間よりも權威者を入れた機關といふ意味も含まれてゐるやうである

【東京十七日發】外務省の考查部案に對して樞府側の意向は原案は外交の刷新を期するためには小規模に過ぎると爲し、寺內內閣時代の外交調查會の如き機關の設置を要望してゐるが、右に對して外務當局は

一、今回の考查部案は外務省の事務的缺陷を補ふ目的に出たものに過ぎぬ
一、寺內內閣時代の如き屋上屋を重ねる外交調查會の如き外交政策決定機關の設置の必要を認めない

との建前により右立案の趣旨は樞府側にも諒解されてゐるから原案は多少の修正を免れずとするも通過し得るものと樂觀してゐる、しかし萬一樞府側が外交調查會案を固執する時は原案撤回の已むなきに致り、外務當局の責任問題を生ずるのでその場合には文部省における文政審議會の如き諮問機關の設置を考慮すべしとの意見も一部に行はれてゐる

選擧法改正成案
十八日に審議會總會

【東京十七日發】選擧法改正に關する法制審議會主查委員會は十六日小委員會において決定した選擧肅正委員會設置の件を最後として比例代表制及び選擧區制改正を除く全項目の審議を終了し選擧法改正に關する要綱の答申案を作成したので、愈々來る十八日午後一時より首相官邸に法制審議會總會を開き平沼總裁以下全委員出席して審查委員會の決議を報告し審議が決すれば直に政府に答申することゝなつたが、主查委員會案の內には問題の選擧公營案、連座罰の擴張を始め其他の重要案件を含んで居り、これには各委員會に賛否兩論あるため議論は相當に紛糾し到底十八日一日では議了に至らぬものと見られる、而して內務當局としては選擧公營案に對しては反對の意向を抱いて居るも強てその說を主張せず總會において多數を以て可決すれば答申に從ひ改正案を立案することに方針決定し居り、若し本案が通過すれば我國選擧界に大變革を來すので總會の成行きは注目さる

滿鐵豫算案說明
滿鐵幹部全權部訪問

滿鐵村上理事、穗積技師一行は十六日朝八田副總裁は十六日夜、山崎理事、市川經理部次長等は十七日朝何れも新京着、ヤマトホテルにおいて打合せの上午前九時八田副總裁、山崎理事、市川次長等は全權部に赴き來年度豫算及び近く發表を見んとする職制改正その他重要案件につき說明報告するところあつた、なほ村上理事、穗積技師等は主として鐵道の經營組織變更等新職制案について詳細說明したが滿鐵幹部一行は何れも一兩日滯在引續き全權部と協議する模樣である、なほ滿鐵理事公館は西公園內に來年解氷期をまつて宏壯なる建築をなす筈だが、新築全權部と隣合せの場所が選定されてゐる、因に八田副總裁、山崎理事一行はヤマトホテルに、村上理事、穗積技師一行は中央旅館に投宿中である【新京電話】

技術局關係懸案審議
滿鐵重役會議

滿蒙資源開發を目標として滿鐵が著々計畫を進めてゐる製鐵、硫安、大豆油工業、石炭液化等各方面の代表者である斯波顧問（硫安、製鐵）水谷顧問（石炭液化）佐藤正典（大豆油工業）の諸氏は期せずして十八日入港のうらる丸で同伴歸連するが技術局では直にこれ等の諸氏を中心にして懸案問題について種々今後の打合せを遂げる筈であり、なほ八田副總裁の歸連とともに斯波顧問、富永製鐵部次長を加へて昭和製鋼所、硫安工場問題について重役會議が催されるべく、佐藤正典博士は關稅問題その他についての內地との交涉結果を、水谷顧問は德山燃料廠における石炭液化の試驗結果をそれ〴〵正副總裁に報告することゝなつてをり、かくて八田副總裁はその上京までにこれ等の問題についての滿鐵としての態度を決定し、東京での賣命調整に大活躍を開始する筈で懸案問題、職制、豫算も一段落を告げて一息の滿鐵重役會議もこれ等諸代表の歸連と共に再び副總裁上京まで活氣を呈することゝなつた

張學良再び漢口へ

【上海十七日發】十六日張學良が密かに來滬したとの說が各方面で喧傳されたが、右は全く事實無根で確實な筋の消息によると學良は昨日午前十一時何應欽、葛敬恩、宋哲元等要人の歡送裡に飛行機にて漢口へ向つたと、同地で蔣介石と再會見した上直に歸平する筈である

佛主力艦を建造
イタリーも之に對抗

【ロンドン十五日發】デーリテレグラフの海軍記者は本日同紙においてフランスの主力艦ダンケルク號建造につき左の如く報道した
フランスは國際主力艦休日を終了するに決し本日巡洋戰鬪艦ダンケルク號の建造を命じた、右は二萬六千五百噸、十三吋砲十八門を備へこゝ二十年來初めて造られたフランスの主力艦である
なほイタリーも之を凌ぐ戰鬪艦を建造するはずである

滿洲の農業經營に努力
大谷光瑞氏談

【門司十六日發】滿洲農業經營を研究中の大谷光瑞氏は十六日朝鮮郵船うすりい丸で門司に入港したが語る
滿洲には將來大石橋以北の小麥、奉天以南の棉花栽培が有望で、小麥はカナダの品質に匹敵する自分は來年早々本據を滿洲に移し大いに農業經營開拓に努力する積りだ

フランスの新銳驅逐艦進水

【フランスデユンケルキユー發】かねてフランスのデユンケルキユー造船所において建造中の新銳フランス驅逐艦「ボークラン」號は過般艤裝も終つて盛大な進水式を行つた、速力において攻擊力、防禦力において最新最大の裝備をなしたと言はれてゐる【寫眞は「ボークラン」號の進水式】

再復活要求最後決定
けふの大藏省議

【東京十七日發】大藏省主稅局と各省との間に交涉中であつた明年度豫算再復活は略綱目の纏まりを見たので十七日午前十一時から藏相官邸に豫算省議を開き

一、陸海軍省に割當てられた九千五百萬圓の復活の內容
一、他の九省に割當てられた二千二百萬圓の復活承認の費目及びこれに追加された約二百萬圓の承認費目

等につき最後の決定を行ひ十八日の閣議に提出すべき大藏省の豫算原案全部を決定することゝなつた

幼年學校の生徒增員
兵備改善手段

【東京十七日發】陸軍では兵備改善は優秀幹部の養成にありとの觀念よりその方法につき銳意研究しその第一手段として陸軍幼年學校生徒募集人員を現在の七十名を百名に增加するの案を練り近く省議に附議、關係方面の承認を得れば直に實施し得る手筈を定めてゐる

練習艦隊兩艦

司令長官百武少將麾下の練習艦隊「磐手」「八雲」の兩艦は來る十二月十日大連入港、十四日旅順に出航の豫定であるが乘組員は約千五百名である

うらる丸 十八日午前八時二十分大連港外着豫定

人事

▲淸水本之助氏（關東廳土木課長）十七日午前九時發新京へ
▲森本勝巳氏（關東廳警務課長）十七日午前八時着新京より來連
▲寺崎英雄氏（監察院審計部長）同上來連遼東ホテル投宿
▲寺坂亮一氏（四洮鐵路管理局東務處長）同上
▲友松退藏氏（臨時呼海鐵路建設事務所工務課長）同上
▲マイヤース氏（奉天アメリカ總領事）十七日出帆長平丸にて北平へ
▲チゲス氏（同獨逸總領事）同上

丸山、鈴木兩氏中心の「時局座談會」（6）

▲我社主催、十一日午後三時より、大連ヤマトホテルにて▲出席者、貴族院議員丸山鶴吉氏▲元代議士鈴木梅四郎氏▲高田友吉氏、上島慶篤氏、千葉豐治氏▲入江正太郎氏▲寶性大連新聞社長、西片滿洲報社長、伊藤滿鮮社長、高橋滿蒙評論社長、石谷滿洲公論主幹、篠崎奉天新聞支局長、由井ケ濱滿洲タイムス社長、杉山奉每副社長、名村大每支局長▲石村ジヤパンタイムス支局長▲高見成氏▲松山本社長、細野編輯局長その他本社員（順序不同）

鈴木氏 私はそれに對してお答へする資格はありませんが、假にお答へする資格あるものとしてお話しすれば、これは國を憂ひ國を愛して居る者の立場として我々同志の間の意見であるが在滿の日本人諸君は「日本の政治家實業家の間にはこの對滿問題をどう考へて居る」かといはれる。これは成程御尤もであります、が併し先づ實業家の側から考へて見ますると、元來資本といふものは一番臆病なもので……凡そ世の中で臆病の大將はこの資本といふ奴でありまして、資本が外に出るやうになりますにはどうしても「安全」といふことが第一の條件になります

◇

次に國民全體の考へをいひますと、日本が滿洲を共同して所謂共存共榮により大陸に根據を得て、日本の足りないものはこれを滿洲に仰ぎ、また一方餘りあるもの、卽ち學問なり技術なりを滿洲に持つて來て、此處で一つ歐米に劣らざる立派なものを仕上げやうといふ希望を持つてゐる、これは日本の志あるものは皆考へてゐる處である、隨つて資本あるものも決してその考へには反對してはゐないのである。併しながら愈々現實に金を出して仕事を始めるといふことになれば過去の歷史に徵しても今までの滿洲にインヴエストした仕事が殘らず成功して居ない。

その前例からすると成績は寧ろ惡い例が多いのである。故に未だ治安維持が充分出來ない間に內地から資本を續々拖へて來て仕事をするといふことは、無論これは躊躇するのが當然であります、去りながら冷淡であるかといへば冷淡では決してない、日本だけの物資では歐米と對抗して何をするにも面白くいかぬと考へてゐる。例へば紡績業の如きについて見てもその技術の點においては殆ど世界一であつて何處と比べても決して負けません、そこで現在英國へ對しても米國へ對しても日本の商品が相當出てゐますが、しかも所謂[illegible]題でこれが阻止されつゝある、そして各國のその政策がだん〴〵辛辣になつて居る。

◇

さればこれは矢張り滿洲が早く安定を得て、そして此處に日本の餘れる商品を送り出すのは無論の話、一方滿洲から原料の供給をうける事にする。更に進んで一般外國投資も誘致しやうといふ希望があるがこれも尤もである

かういふ次第で內地の資本家は滿洲につき元來は決して冷淡ではないと思ひます。只日本內地から見ると現在の狀勢は未だ〳〵投資上危險だといふ懸念が充分にある。かゝる懸念は單に投資方面ばかりのことではありませぬ、一般民衆にも未だ非常なもので、現に私が新京まで行くといつても友人たちの中には「どうか用心して行くやうに……」と吳々もいつて吳れる。內地ではその位に思つてゐるのです。いづれにせよ、私は現在日本內地の實業家乃至資本家が滿洲に對していろ〳〵の期待若しくは希望を持つてゐることは事實だとお答へして差支ないと思つてゐます

◇

次に政治家の方面では私はまあ……しかし今日は一つ立場を換へて政黨政治の立場とは別な意見をもつて居るのですが……いづれにせよ滿洲といふものに對し日本が此處まで踏み出して來た以上はこれを飽まで徹底せしむるより外はない、と百パーセントの熱情を持つて滿洲問題を考へて居る者が尠くない、殊に政治を理解して居る人は誰でも完全に滿洲國と共に攻守同盟の實を擧げるといふことに強い熱情を皆有つてゐるのである。吾々同志の感情を代表していひましてもまアさうお考へ下すつて差支へないと思ひます。

國產獎勵

海外支拂節約
節約協議會で決定

【東京十七日發】十六日の政府の海外拂節約協議會は國債利拂、滿洲基金償還の如き義務支出は已むを得ぬが、物品購入は國產品の獎勵によつて爲替低落の損失を避けることに決定、その品目なども定めたが、それでも本年度政府海外拂豫定總額は二億六千九百九十萬圓と昨年度より六割五分八厘を增加してゐる

蛇角

◇全滿官民定期懇談會、第一回の試み成功。
◇邦人の滿洲議會ともいふべく、健全な發達を期待す。
◇席上、武藤全權は「人の和」を說く、小磯參謀長また「軍民融和」の要を說く、共に然すべし。
◇政府立案の考查部が樞府のお氣に召さぬ、その理由は老人尊重の精神がないから……？
◇但し、考查部不徹底說は賛成。
◇松岡代表ジユネーヴ入り、千兩役者は檜舞臺へ。
◇イヨー滿洲宝ア……といふ程國民の氣分に餘裕はないが。
◇大連醫院給血者不足に惱る、何なら高利貸に願ひなさい。

滿蒙の戰慄（156）
直木三十五作　淺枝次朗畫

再生（八ノ三）

「ふむ」
「それで、泣いてたの」
「ふむ」
「何うしたらいゝでせう」
中手は次の新聞をとつて
「そうだな」
と、氣のない返事をしてゐたが新聞をよみつゝ、煙草をつまんで
「ふむ」
麗は、マツチをつける力もなく
（中手さんにも、矢張り、智慧が出ないらしい、誰だつて、お父さんが惡うて、罪になるときまつてゐる事なんだから）
と、思つて、うつむいてゐた。
「お母さんに話した」
「いゝえ」
「ぢやよかつた。暫く、默つてゐた方がいゝよ」
「え、」
「僕は」
と、いふと中手は、新聞を離して、麗をぢつと見て
「執行猶豫になると思ふが」
「なるでせうか」
「そりや、斷言はできん。斷言は出來んが、お父さんが、決死の覺悟で、自首をしたりだね、又その覺悟がだ。明かに、自分の犯した罪を懺悔するためにやつてゐることだし、又だ。その犯した罪だつて、決して、自ら進み、自ら企てた事でなく、たま〳〵さういふ家へ行つて、やむなくやつた事なんだから、本人が十分に、悔悟してゐる以上、案外に輕くはないのかね。それに、軍部の人々が、相當有利な證言をしてくれてゐるらしいから」
「え、」
さう聞くと、少しづゝ、麗は、父の周圍が、明るくなつて行くやうにおもへた。父の周圍が明るくなると、自分の心も、輕く、明るくなつて行つた。
（矢張り、中手さんを起してよかつたわ）
と、思ひながら
「本當に、さうだつたら」
「大抵、さういふ事になるとおもふね」
「妾、執行猶豫にでもなつたら何うしやうかしら、本當に救はれるわ」
麗は、心の中で、父がさうなつた時には、自分の戀も幸福になれる、と思ふと
（きつとさうなるわ。いゝお父さんだもの）
と、神に呼びかけたくなつてきた。
「お父さんも、お父さんだわ」
と、中手が呟いて
「手紙一つくれないとおもつてたら、相當に、苦勞をして」
そう聞くと、麗は、父の事が可哀想しくなつてきた。
「妾、滿洲へ行つて來やうかしら」
中手は、それに答へないで
「心配しない方がいゝよ、お母さんにも、默つてれ——僕はきつとそうなると信じるが——」
と、云つて、中手は、うつむいて、しづかに煙草を喫つた。

非戰闘員の引揚げは近く蘇から回答

滿洲里の露國領事から督促中

マ市で日露領事會見

十三日發大谷副領事電によれば在滿洲里ソ聯領事スミルノフ氏は小松原交渉員一行の需めに應じ書記生を帯同しマツエフスカヤに行き會見を行つた、その際大谷副領事は交渉員の資格で臨席した本會見において大谷副領事は蘇炳文がスミルノフ領事に約束した戰闘員の引揚が一部のみに行はれ、殘餘の者は今なほ停頓してゐるのは如何なる理由なりやとの質問をスミルノフ領事に發したるに同領事はこれに對し「**本問題については十一日蘇炳文側に督促したところ二三日中に確答すべき旨答へた**」ついで大谷副領事は殘餘の邦人食料品補給のため自分の手許に食料品が到達すべしこれを貴官あて送付するにつき然るべく山崎領事に屆くるやう依頼するところがあつたスミルノフ領事は日本側の依頼がありしため昨日在バイカルのコペラチイブより米砂糖などとりよせ山崎領事に送りたる例もあり喜んで御希望に添ふ意思を有して居り蘇炳文の諒解を得て食料補給の事に關しては及ばずながら盡力する旨傳へ無事散會した【新京電話】

死刑か無罪か岐路に立つ石少年

證人の喚問から血液檢査申請

兒玉町殺人事件公判

眞犯人か、冤罪か、幾多の探偵小說的材料を提供して興味を集めてゐる西崗子公學堂生徒石本根（一九）にかゝる人妻殺しの第二回公判は十七日午前十時から大連地方法院長島裁判長係り開廷された、獵奇的興味に唆られ傍聽者は早朝から詰めかけ定刻法廷傍聽席は超滿員 前回公判で

被告 が警察、檢察局の陳述を覆し徹頭徹尾犯行を否認し飽くまで冤罪を主張するに至つたので遂に證人として被告父石珍玉（五〇）被害者の夫滿鐵社員戸田政人氏被告を逮捕せる大連署刑事吉岡銀三氏等の喚問を見裁判長は先づ慘殺されたマス子（三〇）の夫戸田氏から訊問に入り戸田方の家計狀態被害者の金錢使途等を尋ね「妻が死後朝鮮銀行券で二十圓紛失してゐることを發見しました」と被告の書籍の中から發見された二十圓券の疑問に對し解決を與へた次いで被告の父石珍玉の訊問

事件 のあつた當日息子（被告）は病氣で公學堂を休んでゐました私も驛の勤務の非番であつたので家で寢てゐたところ午後一時三十分頃と思ひます、附近の坪井さんの奧さんが戸田さんの奧さんが殺されてゐると知らせて來たので驚いて駈付けて見ると無慘な殺され方をしてをり私は戸田さんに急報すべく大連驛へ行きました二十分ほど經て歸つて來た時は息子は母親に起されて附近の人々と一緒に戸田さんの前で警察官の活動などを眺めてゐましたこの時裁判長は被告が自分のものでないと主張してゐる問題の血痕附着の學生服を示し「これは

誰の 服か」との問ひに對し證人は

私が息子に買つて與へた服であります

と被告に不利な證言をなし、更に犯罪現場附近の共同風呂の前に落ちてゐたといふ鮮血附着の塵紙及び二十圓紙幣とを示し「これを知つてゐるか」との問ひに對し塵紙は自分の家で使用するものでない二十圓紙幣は自分の關知せぬものであると答へた、裁判長は更に被告が服の血痕は本年四月頃喧嘩した際頭部を負傷しその際附着した血痕であると申開きしてゐる事實に對し證人は

服の 血痕がその際附着したものであるかどうかは知らぬが張築德といふ男と喧嘩し頭部を負傷した事實はあります

この點被告に有利に證言、最後に吉岡刑事の喚問に移つたが事件發生から犯人逮捕に至るまでの經過を述べ事件解決の鍵を握る塵紙、ハンカチ、學生服に附着してゐる血痕に對し押收した當時は何れも生々しいものであつたと最も被告に不利な證言を與へ更に被告が捕へられた時右手に被害者から抵抗されて負傷した

生傷 があつたと寫眞を提示して眞犯人說を主張した、この時竹田辯護人は

本件は一件記錄を通じて見ても證人の證言によつても疑問の節々が多々ある、死刑か無罪かの重大な岐路に立つてゐる被告のため充分防衛の策を講ずる必要がある

と學生服、塵紙に附着してゐる血液と刺身庖丁に附着してゐる血液型との鑑定及び刺身庖丁の指紋と被告の指紋照合とを申請した、これに對し立會井關檢察官は

本件は充分證據が具備してをり殊に被告の學生服の二ツ目ボタンが夫人慘殺の部屋に落ちてゐた點から見て一點疑問の點なし

と證人申請の却下を希望し合議のため午後一時休憩、午後二時から續行の筈

聖上陛下還幸

大阪御發輦

【大阪十七日發】天皇陛下には陸軍特別大演習御統監並に地方行幸をこゝに御滯りなく終へさせられ御機嫌麗はしく十七日還幸仰せ出され午前七時五十分行在所御出門大阪驛に向はせられたこの日御道筋は御名殘りを惜み奉り前夜より跪坐奉拜の民草を以て埋まり軍隊學童各種團員など肅然として堵列する裡を自動車御簾にて本町筋を西へ午前八時大阪驛御着皇族各宮殿下をはじめ奉り奉送の文武高官に御會釋を賜ひつゝ御召列車に乘御、午前八時十分皇禮砲轟くなかを一路東京に還御遊ばされた

水上署の留置場で不逞鮮人縊死

去る五日上海から英船で入港

浮浪罪で取調べ中

嚴重監視のうちにある水上署留置場において奇怪な不逞鮮人の縊死事件が惹起し十七日朝來、水上署内は緊張した慌だしい空氣に滿されてゐる、去る五日上海より入港の英國船甬昌號臨檢の際、高等係床島特務は擧動不審の四等客を認めその姓名住所をたゞしたところ山東省濟南の支那人楊と答へたが言語の發音に不審な點を認め、かねてより上海天津方面の不逞鮮人の策動を警戒中だつたこととて有無を云はせず本署に連行、嚴重取調べた結果、同人は朝鮮京城府生れ李換光と稱し支那各地を轉々としこの間獨立同年黨その他不逞鮮人仲間と來往してゐた事もあるらしくテツキリ大物だと同署では六日浮浪罪として拘留引續き取調を繼續してゐたが、たゞ奧地の友人を訪れるとのみ稱し頑として口を割らなかつた、十六日夜、折柄繩田高等主任が當直なので午後十一時迄取調た上、一先づ二號留置場に還したが十七日午前五時二十分頃同人が廁の二尺位のひもで場内の窓の鐵棒に縊死を遂げてゐるのを見廻りの高橋、中村兩巡査が發見大騷ぎとなつたものである

横柄な態度で手古摺らす

相當の人物らしい

縊死を遂げた李換光（三七）はまた李會光とも稱し取調べの係官に對する態度も頗る横柄でいまだに朝鮮獨立を夢み、大言壯語なし、たとへば取調べに對しても急所々々に至ると口をつぐんで決して實を吐かず手古ずらせ不逞鮮人のルンペンで、どの程度の連絡があるか不明だが或ひは相當な人物ではなからうかと云はれ從つて同人がすべてを自白する前にしかも留置場において縊死さするが如きは警察界としてもすこぶる遺憾の極みとされてゐる、自殺の原因については全然思ひ當るところはないが、かなり年齡も行つてゐるし萬一の事を慮り遂に自決したものらしく使用の麻ひもの出所は未だに不明で何れかにひそかにかくしてゐたものらしい、なほ水上署よりの急報に接し檢察局より井關檢察官、香取醫師が十七日午前九時半來署、詳細當時の事情聽取の上檢證した

申譯がない

三澤署長談

右につき三澤署長は語る

殘念な事をしました、世間に對しても濟みません、取調中色々報告を聞いてかなりしたゝか者であり鮮人不逞ルンペンと目星をつけたので福田主任にも氣をつけて充分調査する樣に命じてあつたのです、縊死の時間は判然としないが午前五時頃でその後二十分位して發見と共に人口呼吸その他で大いにつとめたんでしたがそのまゝ絶切れたらしいです、時節柄とくに鮮人に對しては注意をしてゐたのでした、同人の所持品はトランク一個と所持金五、六圓位でした

滿俱球場物置に不良が巣喰ふ

昨夜五名を一網打盡

最近市内中央公園町滿俱球場音樂堂裏物置き小屋に得體の知れぬ邦人數名が寢泊りしてゐるのを沙河口署員が發見十六日午後十一時ごろ同署の阿部刑事の一隊が音樂堂を襲つて就寢中の五名の邦人を引致して取調べた結果その内かねて奉天署より手配のあつた奉天稻葉町六番地小谷健吉の依頼で去る八月十七日關東軍炊事請負大矢組より書類及び現金五十圓を受取つて姿を晦ました神奈川縣生れ府川正雄（二〇）等何れも札付き連中と判明留置引續き取調中

國境出動隊原隊歸還

滿期除隊

【京城十七日發】去る六月國境の不安に驅られて出動以來新義州守備隊に配屬し勳功輝かしき龍山歩兵第七八聯隊〇〇〇名及工兵二〇大隊〇〇名は滿期除隊のため十八日午前七時四十五分龍山驛着原隊に歸還することゝなつた

盛大な鐵道部葬

故中山敏樹氏の葬儀

齊克線殉職社員故中山敏樹氏の鐵道部葬は十七日午後一時から神式を以て協和會館で執行されたが、定刻故人の肖像を前にして遺族、林滿鐵總裁、羽田鐵道部長代理以下各部次長、鐵道部各課長初め參列社員一同着席、定刻齋主の祓詞あり、大麻行事、鹽湯行事、降神の儀と式は靜かな裡に進められ齋主鶴島出雲大社中輪教の祭詞あり弔辭に移つた

先づ鐵道部長代理として羽田鐵道部次長靜々と靈前に進み哀調を帯びた弔辭を述ぶれば早くも參列者の席にすゝり泣の聲さへあり次いで林總裁、猪子大連鐵道事務所長、郡社員會幹事長、中川鐵道現業員代表、小野寺瓦房店地方事務所長、吉田鐵友會代表と何れも誠心を捧げた弔辭を述べて靈を弔ひ、弔電を報告この時齋主先づ玉串を奉奠し、羽田鐵道部長代理、遺族、林總裁一般會葬者と順次玉串を奉奠し式を閉じたが哀しみと弔靈の嚴肅な氣分は終始場に滿ち鐵道部葬としてふさわしい式であつた（寫眞は式場）

遺族に護られけさ遺骨到着

去る十月二十日齊克線泰安驛附近において兇暴なる匪賊の襲撃を受けて壯烈なる殉職をなした滿鐵社員中山敏樹、和光正路兩氏の葬儀は十七日午後一時より協和會館において鐵道部葬により執行せられ故中山敏樹氏の遺骨は白無垢の雪江未亡人遺兒長雄君（一〇）らを始め故人令弟中山直樹、義弟石田義雄兩氏等親族及び田家驛まで出迎への猪子大連鐵道事務所長其他佐藤瓦房店署長等知人五十餘名に護られて十七日午前十一時二十五分大連驛着列車で到着した驛頭には羽田鐵道部次長、白井庶務、土肥人事兩課長始め稻川大連驛長等舊知諸氏並びに鐵友會員等多數出迎へ遺兒長雄君にしつかり抱かれた今は悼しき人の姿に一入の涙を催さしめたが驛ホームで記念撮影の後滿鐵差し廻しの自動車で直ちに齋場協和會館に向つた

天井から女の片腕

鐵箱から現はれた女の生首、死體の紛失、美僧の行方不明等、怪奇を極めた千葉縣下、尼僧寺事件の眞相が、雜誌『富士』十二月號に發表、驚話だけに何誰でも大驚き。

東支時間を改正

南滿時間で列車運轉

東支鐵道では滿洲國政府の命に依り十七日から全線に亘り旅客貨物の運行時間を總て南滿時間に改正する旨十七日滿鐵々道部に入電あつた、なほこの結果東支南部線の旅客列車運轉時間は左の如く改正される

▲三列車　ハルビン發八時三五分　新京着一五時三五分
▲十一列車　ハルビン發九時四五分　新京着一八時三〇分
▲十二列車　新京發六時四〇分　ハルビン着一五時一〇分
▲四列車　新京發九時三〇分、ハルビン着一六時一五分

けさ傷病兵大連通過

旅順へ移る

[illegible]て鐵嶺衞戍病院にて治療中の傷病兵小尾大尉以下五十四名は今度旅順衞戍病院に移されることになり鐵嶺衞戍病院一等看護官大槻仁一氏以下五名の手厚い看護を受けつゝ十七日午前七時大連驛に官民多數の出迎へを受けて到着した一同は直に驛集會室に於て在連婦人團聯合會の人々の優しい手で溫い朝食の饗應を受け特に十六名の重傷病患者は收容の寢臺車中に一人々々食膳を運ばれて懇な給仕を受け一同大喜びで同四十五分發列車にて旅順に向つたが午前九時十分旅順驛着直に旅順衞戍病院に無事收容された

家達公金婚式

【東京十七日發】貴族院議長徳川家達公が泰子夫人と結婚の典禮を擧げて滿五十年十六日千駄ヶ谷の公邸では午後六時から金婚祝賀晩餐會が開かれた御親戚の高松宮同妃、伏見宮妃、久邇宮同妃五殿下を始め奉り徳川一門の近親五十三名參集盛會であつたが、公は金婚式を記念し日本赤十字社濟生會東京慈惠會に各一萬圓、靜岡育英會千駄ヶ谷町五小學校に各五千圓を寄附した

市内映畫館晝間解放

廿日に事變映畫上映と講演

二十日開催する全滿日本人時局大會實行委員が交渉の結果市内各映畫常設館では實費提供を快諾したので當日は正午より午後五時までの間各館一齊に滿洲事變並に上海事件等の時局映畫を上映し左記委員がそれぞれ分擔して挨拶並に講演を行ひ熱辯を揮ふ手筈である

▲中央館田中、今中▲映樂館小野、岡野▲日活館石田（貞）武田▲常盤座高塚、濱本▲寶館笠原、石田（榮）▲沙河口劇場鷗島、山葉

なほ各館とも夜間は平常興行に復すると

野球場の主

土井氏が死去

野球場の主として知られて居た「いよ組」主人土井丈太郎氏はかねて聖愛病院に入院加療中十七日午前七時四十分急性腎臓炎を併發して突如死去した、葬儀は來る十九日午後四時より西本願寺に於いて執行する

露碎氷船遭難

【モスクワ十六日發】十月廿四日他の艦艇と共にアルハンゲル港を出帆したソウエート碎氷船第九號は突然行方不明となり乘組員二十五名の安否氣遣はれてゐたが、十月卅一日同船乘組員八名が死體となつたまゝ横はつた救命艇を發見され死體は十一月九日アルハンゲルに埋葬されたが他の十四名も全部死亡したものと見られてゐる

警察の自動車奉拜席に突入

【大阪十七日發】十七日午前六時五十五分大阪高津署交通巡査岡本知孝（三〇）が大二六〇〇號空車を運轉して大阪驛より府廳に歸る途中御道筋市電信濃橋交叉點日清ビル前で右カアーブを多く切り左廻りせんとした際急速度であつた爲め街路の打水でスリツプし八尾高等小學校奉拜席に突入し同校四年生黑川イサ子外十三名の重輕傷者を出した

十八日

北西の風晴一時曇、溫度降る

滿潮　午前零時四十分　午後零時四十五分
干潮　午前七時二十分　午後六時三十分

各地氣溫　十七日午前十一時

大連　一二　奉天　八
旅順　一一　新京　〇
營口　九

けふの小洋相場（九時）　金百圓は　一一九圓三〇錢

國難日本刀（157）

高桑義生作　京極佳夕畫

風雲けはし（四）

（弓之助樣……）

お加代は瞬間さう思つたのだ。が、すぐにさうではないとわかつた。

主税助は、

「おゝ、これは……」

といつて、顔をさげた。

お加代はどうしていゝかわからなかつた。茫然として、そして主税助の挨拶に、あわてゝ會釋をして、下を向いた。逃げるに逃げられず、もぢ〳〵した。

「みごとな庭の風情に、ついひかされて、うか〳〵と——。御免なされ」

「いゝえ」

主税助はいつた。

「それにもまして、美しいそなたは、失禮ながら、御當家の……」

お加代は消えも入りたかつた。何を答へたらよいのか。昨日の朝、宿樂の兵に見られて——だのに、それに懲りもせず、今朝は思はぬ人にかうした言葉をかけられる。かくれてゐる現在の身の上で、なんといふ輕率だつたらう——とかの女は後悔した。

「お嬢御でござらうな」

「はい……」

とお加代は答へてしまつた。

主税助はなれ〳〵しく寄つて來た。そして、

「それをお生けになるのか？」

「はい」

「ひと枝、所望いたしたいものだが……」

お加代は悲しくなつた。相手は如何にも無造作に、氣輕に——それだけに避けられない。お加代はうらめしかつた。そして、相手の顔を見ないで、無言で、手に持つたゞけの黄菊を、さゝげた。

主税助は更にそばに寄つて、切長な眼で、じつと、なまめかしい彼女のなめらかな襟脚に惚々と見入りながら、わざとながい時間を費しながら、それを受取つた。息づまるやうな時。

「かたじけない。拙者の部屋をかざらう。何ぼう無聊の眼を樂しませてくれるか、そして、いつまでも美しう香ることであらう」

「御免下さりませ」

お加代はたまらなくなつて來た。思はぬに、

「おゝ、無禮をいたした。思はぬさまたげ——許してくれ」

と主税助はいつて、踵をめぐらした。かれは心の中で、微笑しながら、靜かに庭を出て行つた。

お加代はよう〳〵顔を上げた。世の中にはなんと似た人が居ることであらう。弓之助——と思ひ、夢ではないかと思つた。が、それは路傍の見知らぬ人である。身のたけ格好、顔といひ、聲といひ、弓之助にそつくりだつた。が、思へば、それは過去の弓之助にそつくりなのである。それはかの女の胸にある弓之助、しつかり心に秘めてある弓之助の幻影。現實では、弓之助は十年の歳をとつて、少くも面影は變つてゐるはずだ。

けれど、弓之助の顔には、いつも燃ゆる熱情があつた。が、その人は、無慘に澄んだ冷たい顔、そして、眼にけんが——邪心がひそんでゐた事を、今にしてお加代はしみ〴〵思ひ過ごされたのである。かの女は身邊の危險を感じた。突如、銃聲がひゞいた。お加代は胸をとゞろかしたが、それだけで、青空は、かみそりの刃のやうに、冷たくひつそりと冴えてゐる。

佳夕畫

薩摩飛脚

大河内傳次郎主演　日活館上映

……◇……

ストオリはキング連載の大佛次郎の原作長篇物でこれは第一篇東海篇、薩摩へ隱密に入つて行方不明になつた松村の弟さ妻さ江戸へ歸つた隱密神谷を中心に薩藩刺客隊との爭闘、それを繞る美奴の情熱、更に物語が東海道に進展して旅の女お歌、怪賊猖獗海が現はれて多角的な跳躍を見せ、而もストオリは連續映畫らしく？を殘して終る興味本位に筋が運ばれてゐる

……◇……

伊藤大輔の手法は例の如くいゝテンポを見せて彼一流の省略法で多數の登場人物を紹介處理して物語りを運びつゝ例へば藝妓小富に薩藩の留守役が迫るところ、また小富と神谷の兩人を眺め乍らの日説、ほろりとさす松村の妻と弟との會話等々、商品映畫の製作者であると共に映畫藝術家らしいところを織交ぜて才智喚發なところを見せてゐる

……◇……

俳優は大河内以下いづれも珍らしく熱演してゐるし、伏見直江の藝妓は殊によく、ほんの少しか顔を見せぬが澤村國太郎さマキノ智子が出演し、その他時代劇部のオールスターキヤストで堂々たる特作品の風格を備へてゐる

再び伊藤大輔が放つたクリーンヒツトである、驅じて大河内傳次郎の良さでない脚色監督の伊藤大輔の面白味であるいつもながらの手際のいゝ省略法、全く堂に入つた巧妙な話術そして倦怠を破るギヤグの輕妙さ等々、その映畫構成上の技藝が光つてゐる

人氣を集める大檢秋の踊

興味ある番組本極り　新進花形藝妓オンパレード

本社が懸賞募集してコロムビアレコードに吹き込んだ「大連シヤンソン」及び「大連行進曲」の振付發表會は既報の如く來る二十二、三日の兩夜六時半から大連劇場にて大檢女紅場並に本社主催の下に華々しく「大檢秋の踊り」を開催することゝなり大連演藝界第一の呼び物である大連檢番の溫習會として前景氣よく大いに期待されてゐる、出演の大檢藝妓は若手新進の花形オンパレードで目下大檢女紅場及び北村席にて照松、鶴三、三喜乃、六代音、梅太郎の各專屬師匠及び歡奈津師匠指導の下に熱心に稽古を勵んでゐるが、出演者も確定し、プログラムは既報の外清元舞踊「花筐」と極り、常磐津舞踊は「多摩川」が追加され左の如く確定した

一、長唄素囃子「操三番叟」二、清元舞踊「花筐」三、常磐津舞踊「角兵衛獅子」四、新舞踊「風の吹きよで」五、同「花祭」六、長唄舞踊「月の巻」七、小唄舞踊「貴夫次第で笑つて泣いて」八、新舞踊「柳の雨」九、童謠舞踊「證城寺の狸囃子」一〇、常磐津舞踊「多摩川」一一、レヴユウ「大連行進曲」「大連シヤンソン」

高田せい子の舞踊團が來演

高田せい子の舞踊團は豫て來演が傳へられてゐたが、愈々十七日上海より來連し十八、九日兩夜、協和會館、廿、廿一日兩夜大連劇場にて大連新聞社主催、大連滿鐵社員倶樂部後援で公演することになつた

◇◇薩摩飛脚◇◇　キング所載の大佛次郎原作の長篇小說を映畫化した日活の時代劇特作、スタツフは伊藤大輔監督、唐澤弘光撮影、大河内傳次郎主演のオールスターキヤスト【日活館上映】

噂話

中村鷺波氏が持つて來たミナトーキーの「中山七里」と「縮來文明街」を昨日映樂館で試寫、いよ〳〵公開ときまれば小太夫の聲が聞けることになる▲沼親ではポータブルがないから中村鷺波氏が得意の肉聲トーキーでやらうといふ計畫▲帝國館は來る廿三日松竹再映々畫で開館と決つたが現在のところ▲第一週プロが「生活線ABC」の外「仙臺に現れた旗本退屈男」と「獨身者」と判明した以外は一切明日南氏歸連まで不明▲兎に角二十錢の大衆興行を目安に特別興行で精々三十錢の豫定らしいとのこと▲日活館の開館祝ひに各映畫館が花環の代りに實質的な記念品を贈り各館親善の第一歩を踏み出す▲目下中央映畫館で上映中の謝恩禮專使の松竹ニユースは立派な桐の箱にプリントが納まつてゐるので▲この桐箱を飾つたら更に興行價値があらうと事務所でプリント優待に腐心してゐる▲明日の日活館開館式は恒例によつて三田尻オンパレードでお客さんを接待

ダンス教授　出張速成教授　滿洲舞踏教師協會常務理事　小田壽　市内磐城町二條町ビル

大連錢鈔市場に資本逃避事實なし（二）

市場の繁榮する諸事情

けふから第二の命題に移る、つまり大連錢鈔市場が大繁昌の結果力餘つて日米爲替をますます落ちぶれさせて困る、聞けば官營の市場だといふぢやないか、けしからんといふのだ。

然し正直なところ、内地方面の議論は一般にピントをはづれ氣味で、最近おそろしく景氣のよい大連銀市場でヤタラにばくちに熱中したり、馬鹿力を振廻されたりしては耐まらんといつた程度の認識振りらしい、湯本事務官を派遣する大藏省としても、團體の大きいのや力の強いのと體の僅かなのとは違ふ、これから一つ健康診斷を行つてみやうといふ程度のものだらう。

さて、記者の診察も市場は健全な發育狀態にあるかどうかゝら初める、これは第一大連市場が必要以上に出來過ぎ、力があり餘るからいけないといふ非難に答へるものである、またこれはハッキリした事實なので後述するその他の問題を解く前提となるであらう。

◇

滿洲事變以來、どうして大連銀市場がかくも目覺ましい飛躍を遂げたか、その第一の理由は上海における銀市場たる標金市場や物品交易所に大連が取つて代つた點にある、これらの市場では事變以來排日のため從來受渡物件に日本向爲替つまり金圓を盛に使つてゐたのをやめてアメリカの金を代用した、然るに弗王國の金は圓と違つて微動だにせぬので上海銀市場が火の消えたやうに寂れたのは自然の數だつた、從つて必要上、已むを得ず銀市場をどこかに求めねばならぬが強大な市場は大連の外にないから水の低きにつくが如く大連に移つて來た、之だけでも大連銀市場は隨分と榮えざるを得ない

それから浦鹽港がさびれて北滿の特產が大連に出廻るにつけ大連銀市場は活潑になつた、從來、浦鹽から積出された特產は一億五、六千萬圓に上るが、これらが大連で商內されるとき錢鈔市場にカバーされる、假りに先物特產取引を平均三ケ月と見積つても六、七回のカバーリングが行はれるたまには十回もカバーリングするのがある、從つて市場の出來高は增加せざるを得ぬではないか。

第三に事變以來、滿洲に隨分と金が落ちたのも見逃してならぬ、皇軍に行渡る給與は大したもので軍部が地元で買込んだ軍需品は少くなからう、それらのなかには民間を經けめぐつてゐるうちに銀市場に賣りつながれ銀に代へられるのも出てくる、また軍部や新國家に對して邦人業者が請負工事などをする額も大きいが、滿洲人に賃銀を支拂ふには金を銀に代へねばならぬといふ工合で銀市場を利用するものが殖えたことも注意せねばならぬ。

◇

以上は主として實需やつなぎ取引の殖えた原因だが、投機取引の殖えた原因としては滿洲において事變以來、一般に射倖心を頓に唆られてゐることを擧げねばならぬ、馬券のあの人氣はどうだ、靑ちやん黨ちやんや、麻雀クラブの繁昌ぶりはどうだ、かゝる雰圍氣にあつて人間の本能に近い賣つた買つたの投機心がムクムクと頭をもたげない筈がないではないか。

折から飛びつきたいやうな大材料が次から次へと展開されて行つた、マバラ筋の資力は漸次充實した、銀が高ければ滿洲人の投機力はそれだけ加はつてくる、また實需商內が活潑になればこれに伴つて投機取引が擴大されてゆくのも必然的である、大連銀市場今日の繁榮はかくの如く幾多の原因によつて招來されたものである。

發電所の需要喚起 撫順粉炭移出增加

配車繰り好轉、商事部活氣

石炭需要激增の好機に貨車配給難を來し、滿鐵が日々莫大な損失を蒙つてゐることは屢報のごとくであるが、鐵道部では種々努力した結果十七日より二十車を增配し一日六百九十車となり、この調子では近日中には七百車を超える見込みが立つた、なほ鮮鐵鐵道局にも運炭車貸與方を交涉中で、この方よりは十二月に入れば相當廻車を見るべく又社外線よりも戾るものもあるべく結局來月よりは配車も增し今冬期中全力をあげて海外および內地方面に賣込めば七年度下半期の石炭收入從つて鐵道收入は大いに見直すものと樂觀せられるに至つた、ことに目下の需要は塊炭が主で粉炭は山元に貯炭してゐるが塊炭品がすれと共に粉炭の需要も增し値上りを見るべく、又渴水のため水力電氣が振はず阪神方面の火力電氣は有卦に入つてゐる有樣に自然粉炭の需要を增しつゝあり、これに對しては久しく商關嶺および甘井子に貯炭してゐた部分をもつて充當するを得、兩々相まつて滿鐵の石炭收入を著るしく好轉に導いてゐる

硫安、製鋼所計畫實現經緯

斯波顧問到着の上決定

【東京特電十六日發】來年度より着手すべき滿鐵の硫安會社は舉に斯波顧問、伍堂理事の手によつて具體案を練り、外務、商工省、農林省その他當業者とも交涉を重ねた結果諒解を得たので之れを本社の重役會にかけ最後の決定をなすこととなり、斯波顧問は十六日下關發うらる丸により急遽歸連することとなつた、十八日着連の上直に正副總裁に報告重役會を開催する筈である、生產高は年九萬噸、資本金は一千五百萬圓（重役會にて決定）名稱は日滿化學工業會社となる筈である、昭和製鋼所は大體資本金七千萬圓を以て來春四月より事業着手にかゝる見込みであるが目下大藏省との間に關稅問題の解決が捗々しく行かず行き惱みの態で上京中の伍堂理事が懸命に奔走中である、當局の諒解を得て來年度四月工事に取かゝつても實際四十萬噸の鋼鐵を生產し得るに至るは二箇年後であり、內地製鐵業者と利害の衝突も案ぜられる程のものでなく國策上一日も早く昭和製鋼所の成立を希望する向が多いので伍堂理事は十六日午後永井拓相と會見、大藏大臣に說得方を懇願するところあつた、伍堂理事は左の通り語る

折角茲まで來たのであるから手を緩めるわけには行かない、大藏省との交涉は明白に言へぬがなかなかむづかしい問題なので困つてゐるのだ、副總裁でも來られたら一度大連に歸りたいと思つてゐる、敷地の問題は僕の口からは言へない

と言明を避けてゐるが資本の關係より採算して鞍山になることは最早否定出來ぬ事實であらう

跳躍的材料高に惱さる土建業者

景氣來の一面此皮肉相

事變景氣が最も直截に反映を齎したものは滿洲の建築界だ、なにしろ昨年春以來不況のドン底に喘いでゐて滿鐵に嘆願したり四苦八苦の足掻を見せてゐた矢先だから不況の底から好況の絕頂へ激しい變りやうには當業者自身時に夢かと身を抓つてみるくらゐだ、從つて材料の騰貴は無論圓爲替暴落、銀價暴騰に起因する一般物價騰貴に伴ふとは雖もこの騰勢より跳撥れて二倍三倍就中新京の現在の材料値段の如きは狂氣沙汰として建築業者は何れも呆然たる有樣だ、以下建築主要材料、鐵材、木材、煉瓦、砂利の滿洲における騰勢を擧げてゐる

▲鐵材　昨年夏噸四十圓を切つた安値で持て餘してゐたものが今大連渡、バーが九十五圓、板、アングル、ジョイストが百五十圓、チャンネルが百七十圓で二倍半の暴騰だ、新京では是に關稅と運賃が加へられる、この原因は國內においては金輸出禁止と共に思惑買やつたものが當時需要なく爲めに繫ぐことが出來ず皆擱いて了つた長期思惑をやることが出來ぬ上に政府が生產制限を行つたので品薄のところへ今度の事變で滿洲の需要が激增、又軍需品の製造が激增したので値段が鰻上りに上つた、尤も外國品を買へばアメリカでは現在バーが十七弗相場で大連値段では運賃を含め圓にして九十圓になる、最も品薄で高い、板の五厘五等は國內品は三百三十圓を唱へてゐるが、外國品をとれば百十圓で買へる、然し現在の滿洲需要が急ぐところをつけ込む鐵商の釣上げで高いものを買はねばならないたまりかねて日本土木建築請負業者聯合會では十一月十日左の如く政府に宛て鐵材値引下げに就いて陳情した

一、關稅撤廢
一、暴利取締令の發動
一、重要產業統制法の發動
一、生產制限の撤廢

尤も政府においても考慮するところはあり八幡製鐵所では十一月一日より月一萬噸增產を決定した內譯は左の如くである

大形千五百噸、中板千五百噸、原板二千噸、ワイヤロッド一千噸、他の四千噸は市價暴騰調節のため品不足の品を生產す

時局匡救公債二億

發行條件を日銀で提示

【東京十七日發】本年內に發行すべき日本銀行引受け時局匡救公債二億圓の發行條件については過般來日本銀行當局に於て金融界の情勢と國債市價の趨勢を考慮し攻究中であつたが、十六日利率と期限について日本銀行の意向を大藏省に提示した、卽ち利率四分期限十ケ年內外の模樣で發行の時期が二億圓を二分し內一億圓は本月下旬他の一億は二月中旬頃發行の豫定であるので其の時の國債市價の實際に卽し決定の方針となつてゐる

硫安奔騰し滿鐵對策に專念

內地の硫安界は鰻上りに昂騰し既に百二十圓を呼び九月ごろの五十圓臺に比すれば實に倍値以上で政府の制止策も利かずこの調子では農村はインフレーションによりて却て疲弊するに非ずやと見られるに至つた、これが對策としては安き外國硫安を輸入するより他なく從つて滿鐵硫安の輸入を緩かにすべしとの議が起きてゐたが來るべき議會において何らかの提案があるものと信ぜられてゐる、卽ち現在の硫安輸出入制限令においては商工省と農林省とが對立の地位に立ち輸出の際は商工省が切り出して農林省の承諾を求むるに反し輸入の際には農林省が主張して商工省に贊成を求むることになつてゐる、しかるに硫安が現在のごとく暴騰するにおいては農林省側の發言が自然重くなるので從來のごとき並立制は改められ農林省が輸入を主張する時はこれを主として商工省は從的地位に置くことゝならう、この結果は滿鐵硫安は農林省の許可によつて容易に輸入し得るに至るべく滿鐵でも形勢を重視してゐる

浮說旺に飛び鈔票狂騰

今朝日米爲替第一回八分の一高の二十弗二分の一、第二回同事、第三回八分の一安を入れ、米日も十二仙高の二十弗六十二仙、海外銀塊一齊に同事と材料冴えず、當市一圓六十錢急落の百七圓七十錢に寄り六圓八十五錢まで下還へを見たが、引際滿洲人方面に日本大地震說起るとの流言行はれ、そのため百十圓五十錢まで暴騰し、十個丁度と引けていづれもアッケに取られ諸種浮說しきりに行はる

船腹不足を告げ運賃依然硬化

特產小麥等出廻りから

滿洲小麥の出廻りは愈々シーズンに入り大型船の該方面への出動旺盛を加へたる一方滿洲大豆の歐洲向引合も依然として旺盛なるため船腹は引續き拂底を告げ居り、かくて市場運賃率は逐日硬化の一途を辿り、先物に於て既に二十八志に騰貴したが、十一月、十二月ものにあつては二十九志を唱へてゐる然し船會社側としては近物には既に船腹を有せざるため一月、二月ものゝ荷貨に懸命の努力を傾倒して居り、於許海運界も漸く景氣づきたる模樣である、從つて上海市場さへ多少の恢復を來さば海運市況の活況は著るしきものであらうと觀られてゐる

商取信託會社發起人會

顏觸れを決定

大連五品取引所商品市場關係者では既報の通り豫て株式代行會社と併立する商品市場の金融並に清算機關たる大連商品取引信託會社の設立を計畫中のところ最近關東廳方面との諒解も出來たので十六日午後四時から五品取引所會議室にて發起人會を開き資本金五十萬圓第一回拂込四分の一、總株數一萬株の內九千株を發起人引受け一千株を公募することに決定創立委員長として井上輝夫氏を推薦したが發起人の顏觸れを示せば左の如し

井上輝夫、中川龍藏、松村久兵衛、遲子祥、辻井粂太郎、吉本政吉、櫻內辰郎、小林庄五郎、山田柳治、濱野榮一、首藤定、贊成人伊藤久太郎

爲替安入電で麻袋猛騰

大連五品取引所商品市場における麻袋は十七日前場產地情報保合乍ら地場銀票の昇騰と實需筋の買進みに對し期近物には輸入屋の賑れ物絕えず買人氣白熱化し現物は四十三錢七厘と新高値に奔騰し年內物二錢四厘高年明物六七厘高と猛騰し商內活況を呈した

東支換算發表

廿一日より實施

東支鐵道當局では十一月廿一日から南滿東支換算率を左の如く改正したがこれを現在の換算率に比較すれば十八圓四十錢の差で、最近の圓價暴落に因るものとは言ひながら一ケ月中にかくの如き差額を生んだことは未曾有のことゝされてゐる

金百留に付　二百六圓六十錢

日滿貿易將來と見本展示座談會（六）

八日奉天洞庭春に於て

▲市場展の存否
繼續

上田團長　今度の催しは非常に喜ばれましたが繼續するか否かは經費の問題です

兒玉理事　輸出組合聯合會も滿鐵で前からやりたい意志を持つてゐまして研究中でありましたが奉天が逸早く今度の催しを計畫し而も滿洲國側も贊成されたので滿鐵でも奉天でやつて貰へばと云ふ事で實現された譯です

樹巴氏　滿洲國でも新京で滿洲國の爲めになる事ならばやると云ふ事でした、それで滿洲國でも多少考へて居ると思はれます

野添氏　今回の主催が會議所輸入組合でそれに後援されたのが實業廳、滿鐵、協和會と云つた各種機關の御援助によつて斯樣な結果を見たのであります、併し之を繼續するにしても會議所は豫算の關係上から見れば六ケ敷い事ではなからうかと思はれます、存續するにしても各種機關の援助がなければならぬと思ひます、日本方面に於ても滿蒙の色々な事を知りたい希望を持つてゐる人が澤山あります、其地が不便なるため噂に耳から入れる滿蒙經濟の實體を知るだけで依然として認識不足に終らしめる狀態であります、故にかゝる催しはなるべく繼續したいと考へます

▲輸出商品の陳列所を奉天に設置の件

鹿谷氏　御承知の如く會議所でも內地商品の陳列をやつてゐましたが、六ケ敷い事で商品が陳列されたまゝで少しも變らないのです、折角の陳列所も遺憾な發揮することが出來ません、偶々今回の展覽會によつて陳列所を設けても品物が變るかどうかゞ問題です、實現するとしても滿鐵會社の方でも計畫されて居る樣でどうなるか判りません

上田團長　滿鐵は各地に貿易館を設置する樣です、今奥地には設けてあります

樹巴氏　滿洲國としてもかうした商品陳列所を設置して內地輸入品並に滿洲土產品も一所に陳列した方がよいではないかと思ひどう云ふ風に設置するかは存じませんが多少考へてゐる樣であります

兒玉理事　大きな機關で設置すれば效果があるだらうと思ひます小規模のものは小規模ながら利用されてゐる樣です

樹巴氏　殖銀電氣協會に出席しましたが財團法人組織で陳列館見た樣なものを設置し日滿貿易業者が資金を據つて日滿貿易館等を作つて見たらと云ふ意見がありました（完）

滿鐵使用レール規格改正協議

昭和製鋼所建設を見越し

結局廿米に延長改正か

滿鐵では昭和製鋼所の建設を見越して着々各方面で諸準備を進めてゐるが、技術局ではこれを機會に現在滿鐵で使用してゐるレールの長さを延長し適當な標準を定めることになり十七日午前十時から局長室に根松次長、郡幹事等關係者參集最後の打合せを行つた、現在滿鐵で使用中のレールは最近迄八幡製鐵所から購入するものであり輸送その他の關係から十米と規定されてゐるが、將來昭和製鋼所が完成のうへはレールも製作し滿鐵使用レールは出來る限り同製品を使用する方針であるためこれが改正を計畫したもので、レールの本質から出來得る限り長物が便利であり結局滿鐵としては輸送その他を考慮して二十米と規定する模樣である、なほ鐵道省は既に二十五米物を使用してゐる

黄塵

◇…例の計畫好きの清水土木課長發案で、旅大兩地の將來を花の都と化すべく櫻桃李いろいろの苗木を無料民間に交附、同時に關東廳自身が千家店の水源池に約五十萬本の苗木を移植することに決めたさうだ蓋し素晴らしい思ひつきといつてイ、。

◇…そこで、モ一つの注文は關東州の綠化運動をやつて貰ひたいことだ、現在でも州內殊に旅大の間は相當植樹が行きわたつて居るが、しかしそれは鐵路や山腹に限られて市內の住宅はまだまだ樹木が足りない。

◇…それには先づ關東廳あたりから無料の苗木を下附することが先決問題だ、清水君に對して更にこの方面に一段努力をすることを勸めする。

市場電報（十七日）

銀塊及爲替

銘柄	相場
倫敦銀塊	一六片八分一
同　先物	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
スチール	[illegible]
アナコンダ	[illegible]
英米爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]

神戸日米

回	相場
第一回	[illegible]
第二回	[illegible]
第三回	[illegible]

棉花

限月	米棉
現物	[illegible]
十二月	[illegible]
一月	[illegible]
三月	[illegible]
五月	[illegible]
七月	[illegible]
十月	[illegible]

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

大阪期米・神戸期米・東京期米

限月	前場寄	前場引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸・大阪棉花・横濱生糸・印度麻袋

限月	前場寄	前場引
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]

市況（十七日）

特產

品薄と買氣で大豆强調

今朝の定期は大豆は品薄と買氣構へに銀高も利かず强調を辿り豆粕も相伴ひて强調、豆油は閑散ながら强保合を示し高粱は仕手濟に區々を入れた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二百二十六車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（强含）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三萬八千枚

▲豆油（强保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三千箱

▲高粱（近安先高）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　八十五車

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆（裸物）	五一五〇	五一六〇
普通大豆（袋込）	五一四〇	五一三〇
大豆（裸物）	[illegible]	[illegible]
豆粕	一六二〇	一六三〇
豆油	一四〇〇	一四〇〇
高粱	二四一〇	二四一〇
包米	出來不申	

出來高　混保大豆八十車、大豆四十車、豆粕四萬枚、豆油一千五百箱、高粱八車

定期喰合高（十六日）

品名	喰合高	前日對比
大豆	五二二六車	三九車
高粱	八八四車	一車
豆粕	六九五千枚	[illegible]
豆油	六九五百箱	二四千枚

豆粕生產高（十七日）　二五、〇〇〇枚　二一軒

錢鈔

初め急落 引際暴騰

今朝日米爲替第一回八分の一高、第二回同事、第三回八分の一安の二十弗三、米日十二仙高の二十三仙、倫敦、紐育、孟買から標金小戾り、かせし引際に至り日本大地震の流言行はれて猛騰 [illegible]

◇定期前場（單位錢）

限月	高値	安値	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二千百七十萬圓

株式

內地株强保合 當市小鞘り

北濱定期の前場寄は大株五十錢高 [illegible]

時刻	銀對金	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金 六萬五千圓、銀對洋 三萬五千圓）

銀

今朝は流言蜚語しきりに行はれその都度相場はおそろしくふわついた▲最初材料以上に急落してゐる折柄、湯本事務官の訪滿が密かに傳へられたので調査中との謠言が傳つたので一段と下げたが滿洲人方面に內地に大地震が突發したとふ噂が擴がつたので暴騰した▲共に根も葉もないことだが、こんな取りとめもない宣傳で相場が翻弄されるのは市場が落付きを缺いでゐるからで面白くない傾向だ

豆

混保品の到着が少ないところへ賣方さへ買戾氣構へで銀價の奔騰さへ材料とならずに大豆は引續き强調を辿つてゐる▲歐洲筋の買氣は全く素晴らしい、浦潮輸出の停頓から大連市場は繁榮だがお蔭で油房ばかりは原料高で苦しい▲それでも毎日三萬乃至四萬の生產を續けてゐるのは流石にシーズンの然らしむるところだ▲內地筋が多少でも活氣を盛返して呉れゝば申分のないところだが

株

けさ北濱の寄は諸株共小戾り乍ら引はボシャリで結局保合▲東新は三圓臺の高値保合を入れ地場株はいづれも二三十錢高の强保合であつた▲東新も三圓臺にカッチリと保合つてゐるところは申し分ない氣配である▲懸念されてゐるのは新興關係だけであるからこれが樂觀的に展開すると意外な相場が出現するであらう▲兎も角相場は年末に殘されて一飛躍しさうな形勢である

糸

米棉情報は初め割合に手堅かつたが大引間際に急落した之は株安のためであるが尤も日本紡は買ひ進んだきあり▲現物變らず先四高を示し米日は十二高を入れ大阪三品は寄暴二三圓同安から引際日米爲替安を眺めて二四圓高に反撥し當市はマバラ筋の利喰ひ物で小手合せがあつた▲麻袋は爲替安見越しと實需筋の買進みに人氣白熱化し年內物は二錢四厘高と狂騰した

大新二十錢高、鐘紡、鐘新共に十錢高と小戾り、引は大株四十錢安、鐘大新三十錢安、鐘紡三十錢安、鐘新十錢高と呆け、東京短期の東新は百八十三圓臺の高値保合當市五品は定期七錢高延三十錢高に引け他株も小戾りに引け東新は一圓十錢高に引けた

◇定期前場（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品（寄）	[illegible]	[illegible]
五品（引）	[illegible]	[illegible]

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇爲替及受渡日歩　滿興（爲替・受渡）　二四七

株式出來高（十六日）

期	計	受渡
定期	[illegible]	[illegible]
延	[illegible]	[illegible]

滿鐵株（弱保合）

銘柄	相場
東短前場	[illegible]
滿鐵新株	四十圓十錢
大阪現物	[illegible]
滿鐵舊株	五十五圓六十錢

商品

麻袋猛騰 綿糸强保合

麻袋　產地情報鋼靑同事爲替一留比半安、地場鈔票一圓六、七十錢安と寄付きたるも跡上げ足に轉じた當市は爲替安見越しと實需筋の買進みと期近物には輸入屋の煎れとの絕えず場面は人氣白熱化し引際氣配は現物四十三錢七厘、當限四十三錢七厘、十二月四十三錢五厘、一月四十錢六厘、二月四十錢七厘、三、四月三十九錢五厘唱へと昨引に比し年內物二錢四厘、年明物六厘方高と猛騰した

銘柄	約定期	約定値段	枚數
鐵筋	十二月限	四二〇〇	五〇
同	十二月限	四二八〇	五〇
同	同	四三〇〇	一〇〇
同	同	四二五〇	一〇〇
同	一月限	四〇六〇	一〇〇

出來高　二十五萬枚

綿糸　米棉現物同事先限四ポイント高、米日十六高、大阪三品は當限二圓九十錢安、先限小一圓安と寄付き跡當限四圓三十錢高、先限二圓摺み高と反撥した當市は疎ら筋の利喰ひ物で小手合せがあつた

銘柄	約定期	約定値段	梱數
標助	三月限	一九九〇	一〇
同	四月限	一九九二〇	三〇

出來高　四十梱

上海爲替情報

【上海十七日發】銀行入電は紐銀安のため標金上寄りあと仲興、大商內、弗十二月物二十九、十六分の十一銀行賣り見送りしも標金伸悩みのため賣手となる、磅は十一月物九片二分の一賣り買ひ相場、圓は寄り前大連筋猛烈に賣り十二月物六十七、八分の五まで出來たるも日銀初めアメリカ系銀行に買ひ [illegible]

爲替相場

上海標金

	相場
寄値	七五〇兩五
高値	七五二兩七
安値	七五〇兩五
止値	七五一兩四

氣多く、ほか商館筋の小口デマンドもあり下げ支へられあと大連筋の買物も出て結局大連筋の飛付にて銀行賣り唱へ六十九丁度と落付く

鮮銀

銘柄	相場
倫敦向電賣（一圓）	[illegible]
紐育向電賣（金百圓）	[illegible]
上海向電賣（同）	[illegible]
同　電買（銀百圓）	[illegible]
日本向電賣（同）	[illegible]
同　拂買（同）	[illegible]

奥地市況

錢鈔

地名	相場
奉天（奉票）現物	[illegible]
奉天（洋票）現物	[illegible]
大洋 先物	[illegible]
開原（大洋）當限	[illegible]
安東（鎮平銀）先限	[illegible]
哈爾濱（大洋）現物	[illegible]

各地特產發送高

▲開原		▲公主嶺	
大豆	六車	大豆	一五車
高粱	三車	高粱	三車
豆粕	一車	豆粕	二車
雜穀	九車	雜穀	五車

▲四平街		▲新京	
大豆	九九車	大豆	一二四車
高粱	一車	高粱	一一車
豆粕	[illegible]	豆粕	一一車
雜穀	一〇車	雜穀	二八車

大連埠頭到着高

品名	到着高
大豆	二一四車
高粱	二六車
豆粕	二六車
雜穀	四二車

滿洲日報

西部線の一部を除き全滿の鐵道開通
わが軍の絶大な努力によつて一年ぶりにみる復興

事變以來の匪賊の暴狀と北滿における大水害とによつて滿洲における各鐵道はその運行の上に多大の打撃を受け一時は一般をして滿洲を旅行することに對して危險の念を抱かしめてゐたが、その後水害による被害はわが軍及び各鐵道當局の努力によつて修理完成し一方匪賊に對してはわが軍の各方面に亙る大々的討伐によつて各匪賊は漸く掃蕩されて最近チチハル滿洲里間の一部を殘して全滿における各鐵道は全部一齊に運轉を回復するにいたつた、卽ち滿鐵線にありては最近では本線安奉線はいふまでもなく各支線とも絶對安全確保され一時は當分の間旅行不可能視された奉山、瀋海、吉海、吉長、四洮、洮昂、呼海の各線はすべてそれぐ運轉を開始した、また東支線にありては匪賊の被害よりも水害によつてその修理が遅れてゐたが、これも南部線は勿論東部線も十一月一日よりハルビンより海林まで開通し、日滿兩軍警備の下に一日一往復の運轉を開始し海林以東にありても浦鹽まで開通し九日以來二日に一回運行を開始した、これによつてハルビン浦鹽間は旅客、貨物ともに海林にて乘換へて接續することゝなつた、西部線においてはハルビン、チチハル間は一日一往復完全に運行しており齊克線も匪賊のため驛舍並に附屬建物は徹底的に破壊されたがわが軍の進出に伴ふて鐵道隊及び修理班の身命を賭しての努力によつて十一月三日全線の復舊を見て十日より運轉を開始するにいたつた、かくて一年餘に亙つて何處かに不通個所のあつた全滿洲の鐵道は西部線の一部を殘して一年ぶりで開通し、しかもわが軍の努力によつて今や全く旅行の安全が保障されるとゝなり殘る西部線一部の不通個所も遠からず開通をみるべくこゝに全滿全鐵道の開通が豫期され治安の恢復と共に滿洲における諸建設事業は躍進的進境を示すにいたるものと期待されてゐる【新京電話】

わが方針が唯一最善
東京からの回訓によつて意見書の修正完了す

【パリ十六日發】報告書に對する政府の意見書修正打合せに關する東京からの電報は今早朝聯盟帝國事務局に到達したので澤田事務局長以下局員は午前十時半から最終的決定の會議に入つたが修正の骨子は第三章の對滿方針に是非の批評を加へることは成るべく避け只管東洋平和の大局から我が方針が唯一最善のものなることを强調するに在りこれが爲めフルスカップ八十頁のものが七十頁足らずの簡潔なものとなつた、今日午後から松岡代表自身最後の手入れを行ひ十八日中に聯盟へ渡し印刷に附し二十一日朝迄には各國代表へ配布し得る見込み、從つて理事會は日支代表の演説後意見書檢討のため兩三日休會しその間多角的私的交渉が行はれるものと豫想さる

意見書壽府へ

【パリ十六日發】リットン報告に對する帝國の意見書及要領書、松岡代表の理事會劈頭の演説及對日放送演説及ジュネーヴで記者團に與へる聲明書の各原稿は澤田帝國事務局長、鹽崎、吉澤兩書記官の大活動で十六日午後八時迄に完成日本代表部事務總長たる澤田局長以下七名はこれを携帶同夜九時五十分パリ發列車でジュネーヴに向つた、意見書は約五百頁、要領書は七十頁、その一部分は更に松岡代表が最終的修正を行ひ代表一行はこれを携へ十七日夜九時五十分發ジュネーヴに向ふことゝなつた、意見書要領書はジュネーヴで印刷二十日午後四時ジュネーヴと東京で同時に發表する筈

紛爭解決審議は明春の見込
最初は誘因を審議

【ジュネーヴ十七日發】リットン報告書に對する日本の意見書は十八日各理事國代表に配布され一般には二十一日公表する豫定だが、事務局方面では右意見書はタイプライター約九十頁のもので、主として報告書の最初の八章、卽ち事實の記述に關する部分で最後の二章日支紛爭の解決に對しての調査團の提案には言及してゐないが、理事會は最初には單に紛爭の誘因に關する審議を行ふに過ぎず、紛爭解決に對する提案の審議は何れクリスマス休會後多分明春となる見込みだとなしてゐる

根本方針變更の要なし
松岡代表語る

【パリ十七日發】松岡代表は語る
多くの有力者に會つて大いに益する處があつたが根本方針に就ては何等變更の要はない、スペインのマダリアガ氏との會談は印象が深い、彼は聯盟擁護の立場を離れる譯に行かぬと言つてゐるが日本の立場も良く話すさ諒解出來る男だ、まだ充分さまでは行かぬが前より餘程判つて來たやうだ

研究材料より附屬文書を除外
報告書のみを採用

【東京十七日發】十七日ジュネーヴの帝國代表部より外務省に達せる公電に依れば聯盟事務總長ドラモンド氏は十六日杉村陽太郎氏と會見の結果リットン報告書の附屬書は各專門委員の個人的責任に於て執筆せられたるものに就き之を理事會討議の基礎に用ひずとの旨理事會議長デ、ヴァレラ氏より理事會劈頭に宣言するに決した、よつてわが外務省も右附屬書は公文書と見做さず一般公表手續を執らぬ事となつた

【ジュネーヴ十六日發】杉村事務次長は二十一日開會の理事會議事方法につきドラモンド事務總長始め理事會側と協議の結果今回の理事會では研究材料としてリットン報告書のみを採用調査團專門委員作成の報告書附屬文書は除外する旨申合せた

天皇陛下
天機麗しく宮城御還幸

【東京十七日發】天皇陛下には大演習御統監、地方行幸を終へさせられ十七日午後五時十分東京驛着宮廷列車で天機麗しく御歸京あらせられた、驛頭には秩父宮殿下始め御在京各宮殿下、東鄕大勳位、齋藤首相以下各國務大臣、倉富樞相其の他約六百五十名の文武官が奉迎申し上げたが陛下は直に御會釋を賜へさせられ行幸道路から同二十分宮城に還幸あらせられた

滿洲國民衆總代表報告書の修正要求
聯盟に要求書を提出

滿洲國建國民衆總代表林鶴皋、同副代表兼黑龍江省代表許蘭坡、黑龍江省各縣代表四十名、吉林省代表關長慶、吉林省各縣代表四十二名、奉天省代表孫其昌、奉天省各縣代表五十八名、ハルビン特別區代表楊賀三他十名、興安蒙古代表普樂布他十名は國際聯盟調査團の調査報告書第六章に對する左の反駁書を十六日夜國際聯盟理事會議長、聯盟總會議長、聯盟事務總長、リットン委員會宛發送した

リットン報告書第六章によれば滿洲國の成立を以て人民の意思に基かざるものにして第三者の干渉によるものと斷定せるがこれは調査團の認識不足なるものにより滿洲國人民の名によりて左の理由に基きこれが修正を要求す

一、滿洲における人民は鄕土治安の攪亂を防止する必要上民國革命以後において保境安民を圖るため人民の意思を代表する奉天吉林、黑龍江聯合議會において張作霖、張學良を相次いで推戴し保安總司令となしたり、然るに張家政權はその推擧の根源たる人民の總意を無視し暴政を行つて人民を苦しめたるにより張家政權に對し一般人民は非常な不滿を以てこれを否定せんとしつゝありたるを暴力によつて壓迫しつゝありしなり

二、昨年九月十八日事變により暴政の根本たる學良政權の覆倒せられたるにより人民は自由を回復すると同時に今後確立すべき政權について考慮するところありしが民國は革命以來二十年を閲みするも軍閥各地に割據し治安亂れ征定ならず國家の體をなさゞるにより民族自決の主義に基き不安定なる民國の規範を脱し獨立國家を編成せんとする意向漸次濃厚となれり

三、玆に於て第一項所説省議會は張學良の不法手段によつて解散されたるにより改めて三省各縣人民より一縣一名の代表者を推擧し一地點に集合更に各省區代表を推擧し合議によつて研究の結果滿洲人民は前記第二項後半の理由によつて獨立國家を作ることに決定しその手續きのため各省代表は本年二月奉天に集合しその手續行爲の統制を行ふため第一項所説人民意思代表の機關として最近取消されるまで行動せし元聯合省議會議長林鶴皋を推擧して建國促進會を組織して建國民衆總代表とし一時的に地方治安の事に當りたる自治委員會に對し獨立國政府組織を要請し、他面從來民國の大總統選擧の弊害に鑑みこれを再び繰り返へさゞるため人民代表により溥儀氏に語つて政府首腦者獨立國家の元首と仰ぎ玆に完全に滿洲國を設立したり

四、右の建國經過は調査團來滿の際建國代理總代表者吉林代表林鶴皋、奉天代表孫其昌、黑龍江省代表許蘭坡、ハルビン特區代表楊賀三の四名建國人民を正式に代表し建國理由書を調査團に提出し且調査團專門委員モス、ヤング兩氏に面接し詳細に説明し兩氏はこれを諒とすとの言明をなしたるにも拘らず本回發表の報告書に見るに一言もこれに言及せず、かゝる正式三千萬民衆代表の言明を無視し故意に無責任なる僅かに一千五百通の私信によりて滿洲國の獨立を否定せんとしつゝあるはその意のあるところを知るに苦しむ、恐らくはその私信なるものは或種の作用により實現したるものなるべく若しくはその根據を審究するに至らば必ずその妄を知るに至るべく何等根據とするに足らざるものなり

以上の理由を開陳し聯盟に向つて滿洲人民の名に於て聯盟調査團に向ひ報告書第六章所説の過誤についてその訂正を求む【新京電話】

政局に善處すべく閣内の統制
苦心の齋藤首相

【東京十七日發】特別大演習陪觀のため西下中の荒木、山本、小山、後藤、中島の各閣僚は十七日歸京する事になつたので政府は十八日定例閣議を開き大藏省で再査定せる明年度豫算の復活要求額に對し正式決定を與へると共に通常議會に提出すべき重要法案の審議方針に就いて協議する筈だが政治季節の近づくに連れて政界各方面に種々の風説が取沙汰されその結果は政府部内の動搖をも誘致せんとする情勢にあるので通常議會を乘切らんとする齋藤首相の決意はこの際閣内の統制を圖る事を最も必要とし特に愼重なる態度で今後の政局に善處するものと觀らる

財政立直しのため調査會を設置
けふ閣議に諮り決定

【東京十七日發】尨大なる豫算案と巨額の公債發行に對し各方面には財界の前途に對し危惧の念を抱きつつあるに鑑み政府では財政調査會設置に關し十八日の閣議席上齋藤首相よりこれが構成目的を説明し各閣僚の諒解を求めることになつたがこれが組織は首相を委員長とし關係閣僚を委員とする民間委員は加へず書記官長關係省次官等を幹事とするも官制は設けざることゝし同會は單に財政上の調査に止まらず廣く税制及び行政調査をも行ふもので本月中には設置をみる筈である

パーペン獨首相辭表提出か
閣僚の進退も協議

【ベルリン十六日發】民主黨系ウオシヒ、ツアイツング紙の傳ふるところに依れば現首相フオン、パーペン氏は十七日午後五時ヒンデンブルグ大統領を訪ひ首相を辭する旨を述べ辭表を提出すべしと豫想さる、尚十七日閣議は他の閣僚が連袂辭職すべきや否やを協議する模樣である

對日放送時間

【東京十七日發】二十一日から開會の國際聯盟理事會の情勢は松内アナウンサーの放送で日本に向け放送各地放送局から中繼されるが時差の關係がある爲め日本時間午前六時から三十分間の豫定である

小磯參謀長

【關東軍司令部發表】小磯參謀長は軍司令部新京移轉後に於ける狀況報告のため十八日午前九時新京發「はと」にて有富副官帶同上京、歸京は本月末の豫定である【新京電話】

後繼內閣首班

【ベルリン十六日發】去る六日のドイツ總選擧は政局安定を導き得ず更に社會民主黨國粹社會黨の合流の形勢もありドイツ政界は頓に緊張し早くも後繼內閣の顔觸れが噂に上つてゐるが支那調査委員たりしハイリッヒ、シュネー博士の呼聲が高い

モラ延長と大統領
或は飜意か

【ワシントン十六日發】共和黨上院議員リード氏は本日フーヴァ大統領に對し議會は戰債モラトリアム延長に强硬に反對する確信を得たと報告したため消息通はフーヴァ大統領もモラトリアム延長の意向を棄る模樣であると

日滿經濟提携 第一回特別委員會
十七日拓相官邸にて

【東京十七日發】日滿經濟提携の調査研究機關として拓相が嚢に設置せる日滿經濟提携特別委員會は實業界の有力者を網羅し愈々實際的方策を研究する事となり十七日午後一時半拓相官邸に第一回會議を開催別項永井拓相の挨拶あり議題として

一、日滿兩國經濟關係基調を如何にすべきか
二、兩國の產業金融關税等の施設を如何にすべきか
三、既得產業の利害關係の基調を如何にすべきや

を議題に供し忌憚なき意見交換をなした

永井拓相挨拶

【東京十七日發】右會議に於て永井拓相の試みた挨拶要領左の通り

日滿經濟提携は單に兩國資本家企業家の利益のみを目的とする經濟提携ではならぬ滿洲の未開發富源を開發し出ため日滿兩國一億の民衆が共存共榮し得る提携なるを要す滿洲の未開發富源開發のため日本國民が滿洲國民の要する資本、機會、技術、熟練を提供するに依つて日滿經濟提携の實を擧げんことを望む、これと同時に滿洲の富源は日滿兩國の一部階級が壟斷すべきでなく全民衆のために開放さるべきを忘れてはならぬ

非常時農村策物納制流產
地方局依然主張强硬

【東京十七日發】最近農村希望に伴ひ農村に現金が不足して租税滯納を來したと見て內務省地方局は非常時對策として納税に物納を認める特例を開く方針を立て勅令案を十七日法令審査委員會に附したが反對論强く沙汰止みとなつた併し地方局は飽く迄既定方針斷行を主張してゐる

選擧肅正委員

【東京十七日發】十六日法制審議會小委員會は公の選擧に關する不正行爲を防止し選擧の肅正を圖り健全なる政治思想を普及するため道府縣に選擧肅正委員を置く件を決定、十八日の法制審議會總會に附議することゝなつた、肅正委員會は地方長官の任命囑託する官吏及び民間政黨、實業家有力家私立學校職員、學識經驗家を以て組織し選擧に關する不正行爲を告發せしめるものである

齋藤內閣に對する民政の態度轉向か
近く黨の方針を決定

【東京十七日發】民政黨は現內閣に山本、永井兩氏を閣僚に送り組閣當初から極力支持して來たので齋藤內閣援助の點には何等の變りないが近く編成を終る明年度豫算を見るに時局匡救が軍事費の犧牲に供せられ遺憾に堪へないのみならず現內閣は爲替の暴落に對し積極的には對策を講ぜず或は無謀な公債の募集更に滿洲に於ける對策或は對外政策に確固たる信念なきは非常時匡救の內閣としては全く無責任にしてこれを默認してまで現內閣を支持する時は民政黨は齋藤內閣瓦壞後と雖も國民に對し責任を負はねばならないので來るべき議會には相當の決意の必要ありとし十八日政府が明年度豫算決定の上正式に內容を説明するを聽取した後愼重審議を重ね黨の進むべき方針を決定することになつてゐる

宇垣總督暫く靜觀

【東京十七日發】宇垣總督は同氏を民政黨總裁に擔ぐ者後繼內閣首班に推す者等々の運動と同氏に對する好惡双方の噂の中に上京、政界に異常な刺戟を與へたが上京以來朝鮮統治に關し齋藤首相、永井拓相等と會見打合せる一方宇垣大將の腰を引かんとする者これを擔ぎ上げんとする者家の子郎黨等の訪問に忙殺されてゐるが宇垣總督としては未だ直に民政黨入りをする意志はなく又首相が辭任の意志なき今日直にその後繼を狙ふが如き意志もなく機の熟するを待ち靜かに將來の政界に生くる道を考究してゐる模樣で宇垣總督の上京に神經を尖らした方面も同氏が豫定通り歸任するものと安堵するに至つた

日本經濟聯盟が政府鞭撻

【東京十七日發】わが財界は來年度豫算が二十二億圓の內十億圓は公債財源によることとなり非常時豫算とはいへ將來の財界に至大の影響を與へることを痛感してゐるが鄕誠之助男が中心となつて話を進めた結果二十四日日本經濟聯盟會常任委員會を開き政府鞭撻をなすことゝなつた、同會は

一、政府の將來の財政方針を聽取し政府に希望又は警告をなすか
二、根本的調査を行ひその結果を待ち行動する

こととならう

滿洲移植民費大藏省の承認額
僅か三十八萬二千圓

【東京十七日發】本年度滿洲移植民費に對する大藏省承認額は三十八萬二千圓だが右は本年度五百名分經費を併せて來年度更に五百名の自衞移民を送らんとするもので拓務省では始め三千名（四百萬圓）の移民計畫をなして居たが永井、高橋兩相折衝の結果五百名以上擴大案は認められず十八日豫算閣議で拓相より最後要求することゝなつた

復黨に對する三木氏の意向

【東京十七日發】富田幸次郎氏は十七日午前十一時大阪ビル事務所に三木武吉氏を訪問三木氏の復黨に就き意向を質した處三木氏の眞意は民政黨へ復黨を絶對的に希望してゐないのではないが脱黨當時の幹部が現職に留まつてゐる關係もあるので今直に復黨するとは想へないが何れ近く民政黨の陣容が一新され積極的に黨の擴大運動に取かゝる時期も來るので復黨はその場合に實現するのではないかと觀られてゐる

富田氏は顧問

【東京十七日發】若槻總裁は十七日今回復黨せる富田幸次郎氏を顧問に指名した

砂糖税調査會
明糖事件調査

【東京十七日發】去る臨時議會で問題となつた明糖問題は當時高橋藏相、小山法相が調査中と辯明したまゝ今日に至つてゐるが通常議會も迫つたので十九日法制局に大藏、司法兩相、法制局、會計檢査院、行政裁判所聯合して砂糖消費税調査會を開き明糖問題のみならず砂糖消費税法及び徴税方法等に就き協議することゝなつた、本會議の結果は最近製糖技術の發達と法律關係を明かにし當然査定を引上げるに至るものと見られてゐる

互讓により考査部新設

【東京十七日發】政府の考査部新設案は樞府で根本的に修正されたので原案撤回の已む無きに至つたが樞府の要望する權威ある外交機關の設置は外務省の無能を認むることゝもなるので表面上反對を公表して居るも既に考査部新設經費を十二萬圓大藏省に要求しあり外交の刷新を言明して居る手前原案を撤回したまゝ放任し置くとは責任上不可能なるを以て結局は樞府側の意向を尊重し極力互讓的交渉を重ね相當權威ある機關を設置するものと見られる

けふから健康週間
この體この力
【健康標語】

物價漸く騰貴
日銀調査

【東京十七日發】爲替暴落とインフレーション政策二重奏で物價漸騰し日銀調査によると今月は一分一厘騰貴、十月の一分四厘騰貴を合すれば僅か二月に二分五厘以上の騰貴である

南京を首都

【南京十七日發】國民政府は今春の上海事件以來首都を洛陽に移轉してゐたが、本日中央常務會議は十二月一日から南京を再び首都に復するに決定發表した

熱河代表
蔣介石と會見

【漢口十七日發】湯玉麟代表鄺浚如は十五日來漢し蔣介石に熱河の事情を報告指示を仰いでゐるが兩日中に歸熱すると

兩大使待命

【東京十七日發】十八日閣議は廣田吉田兩大使の待命を左の如く決定する

特命全權大使 蘇聯邦駐劄被免 廣田弘毅
同 伊太利駐劄被免 吉田茂

トロツキー氏

【アセンヌ十六日發】コペンハーゲンに赴く途にあるトロツキー氏はスターリン派が身邊をつけ狙つてゐるとの報に萬一を慮り上陸せず午後[illegible]時ネープルスに向つた

社說

全滿官民懇談會 官憲の坦懷 民間の無私

十六日新京に於て、全滿官民懇談會が開かれた。抑も日本が滿洲經營に努力せねばならぬといふ事は必然の勢であつた。何等かの筋途か、何等かの形式で結局其處に到らねばならぬのが東洋の情勢であつた。然るに端なくも、去年九月十八日の事件が契機となつて、軍權の打破となり滿洲人の自省を促進して新國家の創立となつた。是に於て情勢は自然の筋途を經て、自然の塗轍に向つた。而して此の滿洲人の意思を扶助して、其の事業を支援するのが、日本の人類的義務となつたのである。云ふまでもなく、之れが日本の爲め滿洲の爲め、支那の爲め、東洋の爲め、世界の爲めなのである此目的の爲めに、我國官民一致全力を擧げて努力せねばならぬのであつて、之れを法律的に規定したのが日滿議定書である。わけて現地在住の邦人にありては、此全日本の意思を體して、此目的の爲めに一意協力せねばならぬ。

◇

武藤大將は軍司令官であるが帝國全權大使として外交的全權を賦與せられ關東長官として行政全權限の首腦に任じてゐる。されば武藤大將は日本の全意を代表し、其全權を代行するものである。隨つて在滿邦人は擧つて武藤全權に協力して其の職務の遂行を便ならしめねばならぬ官民共に十分に此心得がなくてはならぬ。而して軍事官界の方面はすべて大將の統率する所で其職權の及ぶ所であるが、民間方面にありては自由意思發動の餘地あり、大將の職權も尙及ばざる領域がある。しかも官憲にありても、民間の意思を尊重し料酌するにあらざれば、その協力を期し難く、隨つて職權の遂行に完全なる能はざる點を生ずる。之れ官民意思疏通の必要ある所以、今度全滿官民懇親會の開かれた如きも、全く此の意味に出づるものと推察す。是れ極めて機宜を得た會合であるとして、吾人の贊同措く能はざる所である。

◇

武藤大將が來任以來常に說く所が「人の和」にあるは吾人の最も注意す可き點である。大將は先づ日滿兩國人に對して協和の必要を說き、更に邦人官民の協和が最も大切なことを隨時隨處に說述してゐる。十六日の懇談會席上に於ける挨拶にも「人の和こそは天時地利に勝る大事成就の根源である」と說いて、此の「和を圖る一助として」此會合を開いたのだと陳べてゐる故に官の意のある所を說きて民間に不理解なからしめ、民間の隱さゞる意向を聞いて其經營施設に資せんとするのが其目的であるに相違ない。小磯參謀長の挨拶の中には「軍人、官吏は國民の附託によつて國民と共に事に當るもので、決して國民を度外視し輕率な事を爲すものでない」と其眞意を陳べ「然るに、私共の此氣持が未だよく世間に理解されて居らず、我軍の將兵にさへ徹底してゐない憾がある」と告白してゐる。又「傳へらるゝ如く軍民意思の疏通を缺き正論勢伏の憾みがあるならばそれこそ國家の不祥事である」とも道破してゐる。此の事實があるかどうかは吾人の知悉せざる所であるが、左樣な事が世に有り勝の事であることは疑ひがない。由來官尊民卑官憲獨擅の弊が我國に多い。立憲制の今日にありても尙此弊は全部拔け切らない。

◇

特に軍部に對しては、我國民が極めて敬愛の念を懷くものである事は、日清、日露役の當時は昔の事として今更之れを說かざるも、今次事變發生以來の國民の態度が遺憾なく之れを表示してゐる。之れ我國民は、我軍隊が至尊陛下の股肱と宣はせらるゝ所のものであるを、衷心より理解するからである。國民が陛下を仰ぎ奉る事父母の如きが故に其心事を軍隊に移して、又之れを視る事父母の如くなるのである。然るに其一部に對しては尙之れを畏怖するの念あるを免れない。是れ恐くは小磯參謀長の言にある樣に、軍の眞意が「將兵に徹底してゐない點があり無分別な一、二の者の行爲、二三の者の言葉が世間の誤解を招く」が故であらうか。畏怖すれば萎縮し、思ふ事も陳べられない。隨つて敬愛の念を妨ぐるに至り、之れが大きくなると軍民又は官民の完全な一致を缺くことにもなる。實に「國家の不祥事」である。小磯參謀長が率直に之れを開陳して、民間畏怖の念を去らしめ、專ら敬愛の念を啓かしめんとしたのは、誠に國家の慶事として吾人の欣快之れに過ぐる所なきものである。蓋し此の方針貫徹によりて、官民の完全な一致を進め、帝國の滿洲經營は完全の域に達するを期し得ると信ぜらるゝからである。

◇

されば十六日の會合にても、民間代表もよく官邊の意を體して忌憚なく其の意見を開陳し、官邊にても充分に其意向を披瀝して、官民懇談の實を充分に擧げ得た如く見受けられるが、此會合は二回三回と引續き開催さるゝといふ事で、回を重ぬるに隨ひて其効果の見るべきものが漸次擧揚さるゝであらうと信ずる。只民間にありて注意す可きは、猥りに我利に基づく要求を持出してはならぬとである。施設は全般の利益の爲でなくてはならぬ。政治は大局によりて按配されねばならぬ。各人又は各團體が、大局の利害を顧みずして、交々利を征するといふ考へ方によりて要求を持ち出すと、其處に人和を害することになり官民の懇談も其利を見ることが出來ないやうになる。

近く方針を宣明して 內地産業の進出促進

內地資本家の認識を是正すべく 關東軍當局の意嚮

內地資本家の滿洲進出は徒らに望みのみ大で實際においては何等新規産業計畫の具體化したものを見ないがそれには種々の理由があらうが就中最も大きな原因は事業及び居住に要する土地を取得することを非常に困難視し

進出を 躊躇してゐることにあるやうである、卽ち土地問題に對する軍部の方針と商租權問題解決等の事實に對する認識を缺ぎ若くは誤解して逡巡してゐるものである事變當初においては軍部は惡辣不信用なる土地利權屋を排擊し且つ統制を圖る必要上一定の方針を立て移民に要する土地は東亞勸業公司をして、工業に要する土地は滿鐵をしてそれ〴〵斡旋せしめ需要者に分割移讓せしむることとしたもので內地資本家は必要に應じてこれ等の土地を公正な價格で移讓を受け得られるのであるまた右の土地以外においても領事館、滿洲國當局の

諒解を 得て土地を得ることは毫も差支へないことになつてゐる、關東軍當局においては內地資本家がこれ等の事情を知らず土地の取得を困難視し或は絕望視してゐる者が少くないことを遺憾とし近く事情を詳細に說明し誤解を一掃する方法を講ずることになつてゐる、同時に統制經濟と自由企業に關しても軍の方針を宣明し內地産業の進出を促進する筈でこれに關し十五日晚新京より歸奉した奉天特務機關長板垣少將は語る

土地問題に對する軍の方針も決定し商租權問題や奉天都市計畫關係のこともすつかり解決してゐるのだから一定の範圍內で土地は自由に手に入れるやうになつてゐるのだが內地の企業家がこれ等の事情を知らず奉天進出を躊躇してゐるのは

遺憾で あるといふので軍では近く一切の事情を發表說明することになつてゐる、奉天省は人口、産業、文化、富の程度等あらゆる方面に亘つて滿洲國全國の三分の二以上の重要性を持つて居り、軍としても奉天を最も重視し「治安の恢復は奉天から」をモットーとして過般來匪賊の大討伐を續けてゐるやうな次第であつて治安もほゞ恢復した今日は內地産業が續々奉天に進出することを希望してゐるのである【奉天電話】

勞農、滿洲國に 航行權問題交涉

アムール航務局が材料提出

【ハルビン特電十七日發】ソウエート政府は一九二九年以來舊奉天政府を相手に東三松花江航行權に關して交涉を重ねてゐたが、舊奉天政府の反對に會ひ實現するに至らなかつたので、滿洲國に對し黑龍江航行權を交換條件に再提議する意向にてアムール航務局に對し交涉材料提出を命じた

鹽務警備隊を設置

新京財政部では鹽務行政助長の目的を以て今回遊擊性を有する鹽務警備隊を設置することになり、近く軍政部の斡旋を得て武器を購入し二三百名の警備員を募集する筈【奉天電話】

滿鐵豫算 關東廳へ說明

滿鐵昭和八年度事業豫算および營業收支豫算は十六、十七の兩日に亘り竹中理事及び大垣主計課長が携へて訪旅日下內務局長に委曲說明をなした、これにて內務局長に對する說明は完了したので、總理部にて印刷に附した上、正本を再び旅順に送り、同局長の意見書を添へて新京に送り、武藤關東長官の認可を經て、最後の關門たる拓務省の認可を得べく竹中理事が携行本月末ごろ上京することになつてゐる

七十四名浮び上る 專門校出身者

滿鐵社員中專門學校以上の學校出身者で現在雇員であるもの、職員登格は人事課にて詮衡中のところ十七日決定、山崎理事の歸連を俟つて決裁を得、發表される筈だが總員數は七十四名である

未曾有の貨車不足 特産物輸送に支障

新京驛滯貨四七四車

最近滿鐵々道部では社線內使用貨車の未曾有の不足から輸送計畫に支障を來し特に撫順炭の輸送については常に商事部の要求を充たすことが不可能となり、需要繁忙期に入つて商事部では連日强硬に

鐵道部に 貨車の要求をつゞけてゐるが、この現象は單に撫順炭のみでなく、現在では一般特産物の輸送にまで圓滑を缺いでなり卽ちこれを東支線について見れば最近東支南部線の南下特産物は急激に增加し十一月上旬は一日平均七十車强にすぎなかつたものが十一日から十六日までの一日平均は百四十五車强となつてなり殊に十五日の如きは二百三十七車の南下を見た狀態で、しかも鐵道部の現狀を以てしては一日積取貨車百車以上の

新京廻送 は到底不可能とされてゐる、かくして鐵道部は極度の貨車繰離に陷つたのであるが、これより先本月十日遠藤參事を沿線に派して貸出貨車の回收について各關係筋に交涉せしめ、この窮狀打開の道について極力盡力せしめるところがあつた、而して同參事は關係筋と交涉するほか主要貯炭場の實狀調査のうへ、十六日夜歸連したが同參事の詳細な說明に關係方面でも滿鐵の立場を了解し、關係筋の各出先に對しこの由を通知し、今後は出來る限り滿鐵本線への回收を敏速にするやう取はからつたため、鐵道部としては少くとも本月末日までには現在の社外線貸出車數二千車のうち一千車は

社線內に 回收し得る見込も立ち既に十七日の如きも相當順調に貨車の回收を見て居り、旬日を出でずして商事部の要求を充たし得る豫算も立つたのでこの間の事情を詳細商事部に說明するところあつた、なほ十六日現在新京驛の滯貨は既に四七四車(本月一日二十七車)に達して居り混保大豆の總滯貨は二、五三九車となつてゐる

遠藤參事語る

右につき遠藤參事は語る

關係方面との諒解も遂げたし、もう回收の方は順調に進むと思ふ、新京に滯貨のふえたことは事實だが國際運輸では人夫を大增加して輸送保管等に努力して居り決してお客さんに迷惑をかけるやうなことはない、來月に入れば必らず貨物の花々しい大量輸送をして見せる

各社外線顧問 十七日夜發歸任

滿鐵々道部ではかねて社外線派遣代表および各鐵路滿鐵顧問を招致して去る十四日以來新設局の方針および人事について連日協議を重ねてゐたが、十六日を以て終了を告げたので各代表は殆ど十七日夜大連發の列車で歸任の途につく

滿洲國の課稅に 我意嚮質問

在連米領事滿鐵へ

日本が滿洲國土內における治外法權を撤廢すべしとの意見は日滿兩國人方面より頻りに唱道され、內外の注意を集めてゐるが、大連駐在米國領事ビンセンド氏は十六日滿鐵囑託キンニー氏(目下歐洲視察中のキンニー氏の子息)を通じて滿鐵に對し

もし滿洲國が課稅する場合には日本は如何に取扱ふつもりかとの意味の質問を發して來た、右は最近奉天商埠地において戶別割附加稅を外國人に賦課すべしとの問題が起りつゝある際とて、調査資料に富む滿鐵が如何に考へてゐるかを質問したに過ぎぬとも見られるが治外法權問題に對する日本の根本方針にも觸れるところがあるので滿鐵では八田副總裁の歸連を俟つて重役にも諮つてから答辯することゝなるもののごとくである

滿洲國の外交方針

建國以來の經過概要 (上)

滿洲國外交部總務司長 朱之正

滿 洲國は建國以來、僅か半歲に過ぎず、現在國を擧げて國力充實に沒頭してゐる現狀であるが今日までの經過を回顧するに目覺ましき躍進の經綸である、而として外交方面の問題について見れば先づ建國宣言に始まる、大同元年三月一日を以て成立した滿洲國政府は同日宣言を發し、先づ滿洲の歷史を明かにし、軍閥の暴政による民衆の苦患と百業の凋落の經過を說き、幸ひにして天賦の好機に遇ひ惡勢力は驅逐されたるも、之を治むべき爲政者なく庶民その歸趨に迷ふに至れるため數ケ月に亘り奉天、吉林、黑龍江、熱河、東省特別區及び蒙古各旗盟官紳士民の意見を蒐め、三千萬民衆の意嚮に應じて中國との關係を脫離し新に滿洲國を創立せることを宣告し順天安民を政治の大本として民族協和の主義により王道政治の實現を期すこと、對外政策においては國際信義を尊重し親睦を念とする旨を明かにし、利源の開拓を希ふものに對しては何國の論なく一律に門戶を開放して均等の機會に浴せしめることを宣布した

こ の建國宣言に次いで對外的に發せられたものが、同月十二日附で發せられた謝外交總長の對外通牒である、この通告においては我滿洲國政府は英、米、日、佛、獨、蘇聯、墺、白、丁、エストニヤ、伊、ラトビヤ、リスアニヤ、和、波蘭、葡、チエツコ、スロバキヤ等十七ケ國の外交總長に對し滿洲國の建國を正式に通告し政府の施政方針を明示し特に外交政策に關しては

一、信義を尊重し和睦親善主義に依つて國際平和に貢獻せんとすること

二、國際間の信義を重んじ國際法規及び慣例を遵守すること

三、中華民國の各國に對して有する條約上の義務中、國際法及び國際慣例に照し新國家において當然繼承すべきものは之を繼承し誠意を以て之を履行すること

四、滿洲國內在住外人の既得權並に生命財産を保護すること

五、外國人の來住は之を歡迎し各民族に對し平等公平な待遇を與ふること

六、各國との通商貿易は力めて之れを容易ならしめ以て世界經濟の發展に貢獻すること

七、門戶開放主義により滿洲國における外人の經濟活動に對し便宜を與ふること

等七項に亘る原則を明示し、列國の諒解並に正式承認を要望したものである

對 外通告後先づ第一に着手された重要案は郵務の接收である大同元年三月二十日我滿洲國政府は丁鑑修交通部總長の名を以て三月一日滿洲國成立と共に郵務及び郵便業務は中華民國の羈絆を脫離し四月一日以降滿洲國政府において管理を開始する旨の命令を發した、この問題は事務引繼その他に關し地方的に多少の經緯はあつたが、その後幾何もなく完全に解決を見たのである、越えて六月二十七日我政府は熙洽財政部總長及び謝外交部總長の名を以て關稅接收に關する聲明を發表した

こ の聲明において、滿洲國政府は建國以來當然接收し稅收を取得する權利あるにも拘らず、獨立宣言及び對外通牒の趣旨を尊重し支那海關制度の保全並に外債擔保部分の負擔を原則とした提議をなし合法的手段によつて問題を圓滿に解決するため數ケ月間隱忍自重したことを述べ、これに對して南京政府が全滿海關收入の大半を占める大連及び其他海關收入の三分の一を要求して讓らず、事實上我滿洲國の財政的基礎を薄弱ならしめる一方、その餘剩利得によつて我國の治安擾亂を繼續し來れる事實並に南京政府が支那海關制度保全のため全力を盡してその職務を遂行し來れる福本大連稅關長を懲戒免職し自らその制度を破壞せんとせる暴戾を指摘し事態止むなく國內各海關の接收を斷行すると共に、大連において徵稅事務を開始するに至つた經過を詳述し、右は全く南京政府の責任なることを聲明し、事態右の如くなるも滿洲國としては建國宣言及び對外通牒の趣旨により、外債擔保部分を負擔すべきこと並に外國が海關に對して有する權益は飽くまで之れを尊重擁護すべき當初の方針には何等變更なきことを附記したものである

海 關接收に關しては局部的に當時相當の波瀾を免れなかつたが、既に周知の如くその後漸を逐つて解決を見今日においては一、二特殊的部分を除いて殆ど全部我滿洲國の完全なる管理統制の下に置かれることになつたのである

八相

投書歡迎 五十行以內 中傷はさらず

利害の利

A讀書子

◇十一月十三日の本欄にあつたA讀書子「書籍組合の暴利」と題する投書に贊成し僕も一書を投ずる。此の件に就ては一昔以前論ぜられたことがあつたが、冷淡な關係者、お金持の多い當地の讀書界は最後まで研究することなく、有耶耶無に葬られてしまつた。

◇書籍組合が云ふ運賃高、良書に口錢が少い等云々ばより多く儲らうとする口實に過ぎない、書籍販賣に多大の利益がなくてなんで潮の如く濫造されよう(皮相觀ではあるが)

◇一例を擧げる、豫約出版なる書籍に就ても送料を取つてゐる此の送料は郵送の場合の送料であつて、貨物による送料ではない大藏の貨物運送料は書籍一冊に割當つると、はるかに少いものとなつてゐる、書籍店は平氣で此の郵稅たる送料を貨物運送料として取つてゐる

◇關東州は郵稅にすれば內地と同じであるのに、滿洲なみの郵稅として取らうとする、而して此の送料は五分高以上に相當する

◇書籍組合は滿洲と他とを比較していろ〳〵言つて居るが、大連も滿洲、奉天、長春も滿洲といふことを御存じか、我らは大連に住める讀書子だ、大阪を起點として大連と北海道、函館と何れが運賃を多く要するか、大連と京城と何れが運賃が少いか、漠とした滿洲ではなく、大連と內地大阪間の運送料のことに就いて言はれよ、他と比較して何れが多く何れが少いかは直に判るはずだ

◇こんなこともあつた。一、二ケ月もおくれた雜誌は記入定價の半額以下に下落する、店頭に曝されて汚れた其古雜誌を某大書店では定價通りに賣りつけ、且送料を取らうとした。書籍定價の五分高は當地では不文律だが書店の正當なる請求權ではない書籍には一定の口錢があるその口錢が書店の利となる、定價の五分高なるものは定められた利益以外の利だ、といふとを當地書籍販賣業者及從業員は知らなければならない、豫約出版物には送料を取り雜誌其他の書籍には五分高にする理由もついでに尋ねれます

◇斯やうなことを數學的に見てどうしても成算がとれなければ致し方がなく讀書する人々が負擔せねばならぬが決して行はれないことはないはずである

大淵理事着京

【東京特電十七日發】飛行機にて東上した大淵滿鐵理事は下關より特急に乘り換へ十七日午後四時五十五分東京驛着歸任した

時局研究會

去月發會された大連商業學校時局研究會は來る十九日午後二時より同校講堂に於て開催されるが今回は滿鐵調査課長伊藤武雄氏より「リットン報告をめぐる世界の情勢」と題して講演あるはず

米獨總領事一行

奉天駐在アメリカ總領事マイヤース夫妻、同ドイツ總領事チデス氏並に令孃は賜暇を利用して北平見物のため十七日午前出帆長平丸で出發した

關東廳辭令(十五日)

叙正五位 從五位勳五等 丸山英一

叙從七位 勳八等 中田正藏

人事

▲高田せい子舞踊團一行 十七日入港大連丸にて來連
▲淺沼謙三氏(實業家) 同上
▲堀井覺太郎氏(吉林輸入組合長) 十七日午後七時五十分着連遼東ホテル投宿
▲廣中爲吉氏(海城廣中商店代表者) 同上
▲遠藤淸一郞氏(靖安遊擊隊特務機關長) 同上
▲濱口由二郞氏(臺灣忽布濱口農園主) 同上

滿博派遣員打合

大連市催滿洲博覽會では十七日午後零時三十分より市役所に內地派遣委員と打合せ會を開き宣傳、勸誘其他の件に就き協議し同二時散會したが一行二十日出帆のうる丸で出發に變更、なほ田中議員は都合により派遣延期を申し込んで來たので中國方面は今村議員が受け持つ事となり四國方面の宣傳勸誘は來春に變更された

吏員を新採用 市營市場に

大連中央卸賣市場の市營單一制は來る二十一日より實施されるのでこれに伴ふ人事問題に關し市理事者は數日來屢々協議中であつたが適材主義により廳內の異動を行ふ事は勿論なほ三四名の新採用をも行ふ可く詮衡中である、なほ右辭令は二十一日發令の筈であると

警察官招魂祭 祭典次第決定

來る十九日午前十時から林警務局長委員長の下に擧行される旅順新市街警察官招魂碑前殉職警官招魂祭々典次第は左の如く決定した

▲着席▲修祓▲降神式(此間一同起立脫帽奏樂)▲獻饌(此間奏樂)▲祭詞(一同起立)▲祭典委員長祭文(一同起立)▲玉串奉奠イ齋主、ロ祭典委員長、ハ遺族、ニ長官其他、ホ警務局以下、ヘ各署代表者、ト學校團體並びに一般參拜▲撤饌(此間奏樂)▲昇神式(一同起立脫帽奏樂)▲退場

當日は正面右側が齋主委員長以下關係者、右側が一般參列者並に參拜者席と決定した

兵制施行記念 旅順での催し

我國兵制發布されて本年は恰も滿六十年に達するので旅順民政署主催、旅順市役所、在郷軍人旅順分會後援の下に來る二十八日昭和閣に於て盛大なる「講演と映畫の夕べ」を開催記念自祝を爲す豫定で

大觀小觀

蒙古民族七十萬の代表聯合會が鄭家屯で開かれた、元來蒙古民族は長い間、支那政府の壓迫を受けてゐたので民族平等を主義となす滿洲國の成立には雀躍謳歌する▲リットン報告書がこの民意を無視して、折角出來た王道國を解消せんとするのに憤慨するは當然の事▲ハイラル叛軍の第二團長張惡德、單身チチハルに來り無條件降服、此明、此臟、稱すべし▲叛軍の中堅、張顯渡、李振華等五名、歸順式の寫眞を飛行機で匪軍中にバラ〳〵▲部下が信じないのを信じさせるため成る程よい思ひ附き▲二十一日愈々ジエネーヴ國際聯盟開く、日支言論の雄、松岡洋右、顧維鈞兩氏の一騎打、職を龍る火花に固唾を吞む敵味方の光景、今より想ひやらるゝ▲ドイツでは、第二黨國家社會民主黨が第一黨の國粹黨に合流したのみならず、中央黨、バイエルン人民黨までが、政府に叛いては、パーペン首相も匙を投ぐる外はあるまい▲赤色ギヤングに拳銃を賣つた神戶の密輸入者、既に數五十萬挺とは大きいが內數百挺は日本に賣れてゐる▲無論赤でも白でも、相手を選ばぬ、危險千萬なはなした▲關門海峽大吊橋は九年度から工事着手の計畫、工費三千萬圓、長さ五百七十間で世界第一。

本日廳報を添ふ

市況(十七日)

株式

內地株騰り 當市强調

內地株後場騰りを傳へ當市も强調を呈す

◇定期(單位十錢) 後場 銘柄 當限 先限
新豆 二六八 二六七
錢鈔 ― ―
五品 二七四 二七七 / 二七七 二七八 / 二七五 二七八

◇延取引 銘柄 寄値 高値 安値 大引
五品 三五 三五 三五 三五
新豆 三〇 三〇 三〇 三〇
錢鈔 三六 三六 三六 三六
東新 一八三 一八三 一八三 一八三

特産

一般氣乘薄で 各品無味

後場の定期は大豆は氣乘薄閑散で區々保合を入れ豆粕も相伴つて弱保合、豆油は不申、高粱は銀高を眺めて軟弱、槪して閑散裡に大引した

◇定期後場(銀建)
▲大豆(保合)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引
▲豆粕(保合)單位厘 / ▲普通大豆出來不申
▲豆油 出來不申 / ▲高粱(軟調)單位厘 / ▲包米 出來不申

◇現物後場(銀建)
混保大豆(袋込) 寄付 五一四〇 大引 五一七〇
大豆(裸物) 出來高 六十車
普通大豆(袋物・裸物) 五一三〇 五一三〇
出來高 十車
豆粕 一六二五 一六二五 出來高 五千枚
豆油 出來不申
高粱 出來不申
包米 出來不申

錢鈔

鈔票小騰り

後場も人氣强く小騰りを呈す

◇定期後場(單位錢) 寄付 高値 安値 大引
期近 一一〇〇 一一〇五 一〇九〇 一一〇〇
出來高期近一千三百十五萬圓

◇現物後場(單位錢) 銀對金 銀對洋 金對洋
一時半 一〇九七〇 一三九七〇 一二六三五
二時半 ― 一三〇一〇 ―
三時半 ― 一三九七〇 ―
出來高 銀對金三萬五千圓 銀對洋二萬五千圓

商品

綿糸騰り 麻袋狂騰

輸入屋の當限煎れと爲替安のため麻袋狂騰して利喰行はれ、綿糸も騰りを報じ新規買と利喰物が相當あつた

▲麻袋定期 銘柄 約定期 値段 數量
鐵筋 十二月末 四三四 一〇
同 同 四四五 二〇
同 一月末 四五〇 一〇
同 同 四〇八 五〇
同 二月末 四〇九 四〇
同 同 四〇二 二〇
同 同 四〇三 一〇
出來高 十六萬枚

▲綿糸定期
細助 二月限 二〇四五 一〇
同 四月限 二〇二六 一〇
同 同 二〇五八 三〇
同 同 二〇五三 五〇
出來高 百梱

奧地市況

現物 ▲奉天票 ▲奉天大洋 五四、〇〇

市場電報

神戶特産

▲開原大洋 現物 一一〇、〇〇 一〇九、三〇 / 先限 九一、一〇 九一、二〇
▲哈爾濱大洋 現物 八八、二〇 八八、二〇 / 現物 二〇〇、〇〇 一〇九、四〇
▲安東鎭平銀 當限 一、五一六 一、四九七 / 先限 一、五二五 一、五〇八
▲新京大洋 現物 二一〇、四〇 二一〇、四〇
▲哈爾濱大豆 十一月 九七五〇 九七〇〇 / 十二月 九七五〇 九七〇〇 / 一月 九八五〇 九九〇〇 / 二月
▲哈爾濱小麥 十二月 一、三七五〇 一、三九〇〇 / 一月 一、四二〇〇 一、四二五〇
大豆現物 六六五 / 大豆先物 五五五 / 豆粕現物 一九二 / 豆粕先物 三九七 / 滿洲小麥 五四〇 / 豆油現物 不申

大阪株式(長期)

銘柄 後場寄 後場引
大株 八七〇〇 八六九〇
大新 八三九〇 八四七〇
鐘紡 三一〇〇 二二六〇
鐘新 一一一〇 一一三九
東株 不申 不申
東新 一八三九 一八四三
日糖 七五〇〇 七五四〇
郵船 五一〇〇 不申
滿鐵 不申 不申
滿鐵新 不申 不申

大阪株式(短期)

大新 寄値 八三九〇 / 引値 八四四〇 / 高値 八四八〇 / 安値 八三六〇
鐘新 寄値 一一三六〇 / 引値 一一四二〇 / 高値 一一四五〇 / 安値 一一三四〇
東新 一八三六〇 一八四五〇 一八五二〇 一八三三〇
滿鐵 五五四〇 五五七〇 五五七〇 五五四〇

大阪期米 / 神戶期米 / 東京期米 / 橫濱生糸 / 大阪綿糸

(後場寄・後場引の數字は判讀困難につき省略せず掲記す)

大阪綿糸 十一月 二〇二六〇 二〇二二〇 / 十二月 二〇五二〇 二〇四四〇 / 一月 二〇四九〇 二〇四六〇 / 二月 二〇四五〇 二〇四三〇 / 三月 二〇三九〇 二〇四三〇 / 四月 二〇三六〇 二〇五三〇 / 五月 二〇四六〇 二〇五五〇

橫濱生糸 十一月 九〇六〇 九一一〇 / 十二月 九一九〇 九一三〇 / 一月 九一七〇 九三四〇 / 二月 九一六〇 九三二〇 / 三月 九二三〇 九三五〇 / 四月 九二八〇 九三六〇

けんかう週間

けふ、第一日の幕開く

全滿一齊に健康、齒科診斷
旅大では患者に無料投藥

國家の重大時に當り、社會的重要なる意義を持つ本社の第二回「全滿健康週間」は十八日をもつていよ〳〵第一日の幕を開くこととなつた、旅大兩市始め滿鐵沿線、全滿在住邦人の健康診斷、無料投藥、屋外宣傳、戸外デー、專門權威者の放送等々…各關係機關總動員の後援のもとに本社の全機能を盡して企てたる健康週間である、この機會に全滿邦人は醫師の診斷をうけて自己の體質を充分知つていたゞきたい、滿蒙の第一線に立つて活躍する我々は自分の體をよく知つて居なければならない、病を抱へて始めて醫師の門を叩くより平常醫師を通じて體質を知つておくことは保健法の最も根本なることは醫學權威の齊しく唱ふるところである、健康週間！この週間に邦人の一人でも多く健康診斷を受けられることを主催者側一同は切に希望して止まぬ次第である

何故の健康診斷？

大連醫院長　守中清

無病の者、無病の樂を知らずといふ、平素壯健である人は、また保健の宣傳かと馬耳東風に聞流すかも知れぬが、自己又は家族の一人が病氣にかゝるとなか〳〵そう無關心では居られない、否大した病氣はしなくても例へば現今のやうに就職の困難につれて何處の官廳でも、どの會社でも先づ健康の上にも健康の者といふ事で身體の強壯といふ事が採用の第一資格になつて居つては、單に自己一身のみならず、子女の保健に多大の思慮を費さなければならぬ、體格檢査で自分は是まで病氣をした事はないと審査した醫師に理窟を申出でられる人もあるが、他にもつと強健な人があるといふ事であれば遂に洩れても致方はない、學問も技術も健康あつての上の事である、あたら英才も抱負も入學や就職の關門で壅止められては實の持腐れである、體が弱くて未來の光明が認められないとなると失望は自暴自棄となり思想の轉向はあらぬ方へと向き易いのであらう、そうした實例は尠くないと思ふ。人は自ら健康と信じて居ても何時の間にか臓の病氣にかゝつて居る事がしば〳〵である、運動の選手と雖も油斷はならぬ、體の頑健と精力の絶倫を誇つて居る壯老の活動家で早くも卒中の用意が出來上がつて居る事もある、折角よいボーイや女中を雇入れたと喜んで居ても「トラホーム」の持主であつたりする、癩病は必ずしも常に自覺を伴はない、若し又現在病氣はなくてもこれにかゝり易い素質があり得る、病は體質と、氣候とか不衛生の生活とかの樣な外的原因の他に體自己に内因即ち或病氣にかゝり易い先天的又は後天的の素質があつて起るのである、又現在の生活が後日罹病の遠因をなしつゝある事もある、凡てこれらを知るにはどうしても時々の身體檢査、健康相談が必要である、醫學は病氣の治療ばかりが目的ではない、潜伏せる病原を探し、發病の前徴を認めて適當の處置を講ずること、進むでは常體の更に健康増進に勉める事が亦重要なる目的である、古人は「聖人は已病を治せず、未だ病まざるを治む」と、願はくば健康診斷は眞面目に此の目的の爲めに利用せられむ事を

開會の辭

強きこゝろと丈夫な體

小川順之助

國家の非常時に當り又自力更生が叫ばれてゐる時に際して、日本の最も要求するところは強いといふことであります、強いためには健康保持が必要であり、健康保持には身體を丈夫にすることと精神の修養をすることが必要であります、即ち精神修養によつて常に潑溂たる元氣を保持し保健衛生によつて偉大なる體軀と長き生命とを保持し得るなれば如何なる生活如何なる事業にも邁進することが出來ます、この新興國の沃野を開發し日滿共存共榮の實を擧げるのも一つに強いといふことにかゝつてゐるものと思ひます、強き心と

ラヂオの夕

プログラム

十八日午後六時四十五分開始

一、開會の辭　大連市長　小川順之助
二、乳齒に就ての母の注意　關齒科醫院長　關利重
三、豫防の出來る眼病　大連醫院醫長　船川尤三
四、保健に關する音樂　滿鐵音樂會マンドリン部員　滿鐵音樂會合唱部員　指揮　高津敏
(A)榮えゆく　文部省體育運動歌
(B)高鳴る血潮
(C)若き者
五、扁桃腺炎の症狀と手當　森本耳鼻咽喉科院長　森本辨之助
六、梅毒の話　大連醫院醫長　柳原英
七、ラヂオドラマ「青空」　志野半吉作
八、閉會の辭　本社營業局長　佐賀秀雄

乳齒に就ての母の注意

關利重

丈夫な體……この一週間の健康週間を全滿的に有意義なる催しとして成功させたいと願つてをります、健康週間放送の夕に當り主催者側を代表し開會の辭にかへて一寸御挨拶を致したわけであります

一般に衛生講話と名のつくものは堅苦しくてそうへ解りにくゝて聽衆にはあまり歡迎されませんので私は次の項目に從つて肩の凝らぬ程度でお話して見るつもりです

一、乳齒の出齦時期と永久齒との交換
二、乳齒のムシ齒と顎骨の發育及び永久齒交換に及ぼす影響
三、齒列不正と顔貌
四、以上に對する母としての注意等

最後に小兒の齒牙清掃法に就いて述べて見たいと思ひます

豫防の出來る眼の病氣

船川尤三

トラホームは昨年之をトラコーマと譯すことに決定し大正六年來豫防法が決定してゐる、これは結膜がサラ〳〵する慢性結膜炎の一種で結膜結核、結膜瘍、風眼等と同樣結膜に瘢痕を殘して癒する接觸傳染病である、而して放置するときは續發症を起して遂には盲となる例もかなりある、この病氣の自覺症は大體次の二つがある
一、所謂急性トラホームは急に眼がゴロ〳〵して眼脂が出て赤くなる(併し本當のトラホームでないと云はれてゐる)
二、時々眼がゴロ〳〵し或は眼脂が時々出る程度で極慢性に始まる
前者は直に氣づいて治療されるが後者は發見され難い、これ等の家庭に於ける豫防法は
一、使用人を雇傭する場合專門家につきトラホームの有無につき診察せしめて家庭に入れしめぬこと
二、家庭にトラホームの有無に拘らず手拭の混用をせぬこと
三、手拭は一週二三回熱湯を通じて洗濯すること
四、外出先より歸宅の場合就寝前必ず手の平手の甲を洗ふ習慣をつけること
五、洗面には必ず流れ出る水道を直接受けて目を洗ふこと
以上の注意が充分なれば傳染を免れる

次には近視眼については最近その原因は遺傳說が行はれてゐるが發育盛りの時期に緻い近き仕事を過度にするとか眼球發育期にある子供が薄暗き所で本を過讀し讀ばひとなつて讀書したりすることは二十年前ドイツの或る學者の猿を用ひてなした試驗に徴しても素質ある者には一層注意を要する、今晩は更に老眼、遠視の區別及遠視による眼精疲勞の豫防法について述べたいと思つてゐる

保健に關する音樂

滿鐵音樂會演奏部員出演　指揮　高津敏

滿鐵音樂會演奏部員によつて演奏される今夜の體育運動歌は文部大臣官房體育課が選定したものである、その主旨はまことに體育運動に伴ふ純眞なる精神、剛健なる氣宇を高調し、併せて我國民の意氣を宣揚せんとするにあり、廣く體育運動に關する集合行進並に海外遠征などの場合歌はれてゐる

體育運動歌

(A) 榮えゆく

一

榮えゆく
天つ御空の光をうけて
集へる我等の心は躍る
いざや、わが友
我等が身と魂
鍛へ磨かむいざ〳〵共に
皇御國の力となるまで

二

東海に
輝く日本の使命をうけて
伸びゆく我等の心は躍る
いざや、わが友
我等が身と魂
強く正しくいざ〳〵共に
やまと島根の誇りとなるまで

(B) 高鳴る血潮

一

高鳴る血潮
たぎりたつ力
おゝ、われら日の本の若人
競技の使命心に銘じ
日頃の鍛へこゝに試さん
潔きたいのち、強きをほまれ
いざ戰はん、正しく雄々しく

二

かゞやく瞳
ふるひたつこゝろ
おゝ、われ等日の本の若人
榮あるその名、心にしめて
名に負ふ力こゝに示さん
潔きたいのち、強きをほまれ
いざ戰はん、正しく雄々しく

(C) 若き者

一

若き者、いさましき者
地にさけび
地にたゞる
たゝかひのあらしのなかに
かゞやけりわれらのいのち
若き者、われら
いさましき者、われら

二

若き者、うるはしき者
地にたちて
地にかける
たゝかひのうづまくなかに
かゞやけりわれらのちから
若き者、われら
うるはしき者、われら

扁桃腺炎の症狀とその手當

森本辨之助

咽喉が惡いといへば直ぐ「扁桃腺だらう」と云はれるほど扁桃腺の疾患は一般的なもので殆ど咽喉の病氣の代名詞とされてゐる位です、冬の寒い季節、ことに寒氣の酷しい滿洲の冬季には特にこの扁桃腺が多いのでその症狀と手當法に就いて述べるつもりです、先づその前提として扁桃腺は何のために人間の體にくつゝいてゐるか又何の役に立つものであるかの問題から說き起し、次に扁桃腺炎の種類と個々の症狀に就て說明し、これに對する素人の處置と心得を具體的に述べるつもりです、小兒や學童に多い扁桃腺肥大も勿論扁桃腺炎の一症狀ですがこれは慢性のものですから今回はこれから酷寒期に向つてかゝり易い、例へば風邪引から來るもの、チフテリーに起因するもの、單なる扁桃腺の炎症など、主として急性の扁桃腺炎について申上げたいと思つてゐます

女探偵

捕物秘帖と銘打つた保篠龍緒氏の探偵小說『魔の列車』は外人傷殺事件に端を發して波瀾又波瀾！講談倶樂部十二月號の大呼物だ。

梅毒の話

柳原英

梅毒はスピロヘーターパリダと云ふ螺旋菌から惹起される前身の病氣であり花柳病中最も恐るべき、又有害なものである、梅毒はその傳染の時期により種々區別するが梅毒病源菌に感染後約三週間に表れるを第一期梅毒と云ひ、約九週間にして第二期梅毒に移行し、約三年で第三期梅毒に入る更に年十五年と經過する内に神經系統に特殊の變化が起る變性梅毒即ち癡呆性麻痺や脊髓癆がこれである、これが梅毒中最も恐るべきものである、次に病狀の表れぬ潜伏梅毒、親から子に遺傳する先天梅毒と云ふ、梅毒に一度罹ると病毒は前身に蔓延し治療せずとも症狀が消失し恰も全治な思はすることがあるが決して安心してはならぬ次に血液檢査は梅毒に特異なものではあるが之が陽性に表れても梅毒でないとは云へぬ、一般に梅毒の療法は六〇六號即ちサルバルサン、水銀劑、蒼鉛劑等の注射大度加里の内服及びマラリヤ療法等を適宜に用ゐる、要するに梅毒は早期に完全なる治療を加ふれば左程恐るべきではないが一度時期を失すれば容易に治療せぬ、血液檢査が陰性でも尚一年二三回の檢査を二三年續けることを要する、故に最も肝要なるは梅毒に罹らぬ注意をすることである、それに關して感染の機會を作り易い飲酒を禁止したいと思ふ

閉會の辭

佐賀秀雄

我滿洲日報社が、始めて昨年健康週間を開催しますや、各關係方面の絶大なる御支援の下に非常なる好成績を擧げ、在滿邦人の保健衛生に將又體質改善に寄與あらしめたのみならず、社會政策的觀念よりしても甚だ有意義な事業でありましたので、更に今回第二回を開催しました次第であります。

◇

而して斯くの如き事業は、勿論新聞社獨自の力のみでは到底目的を達成することは不可能で、どうしても關係各方面の御支援と御指導を仰がねばなりません、斯くしてこそ始めて最も優秀な成績を齎すものであると信じます、そこで我社は此事業を計畫するや各關係方面に御支援なり御協力なりを御願ひしましたところ、其の趣旨を御諒解下さつて欣然御快諾を得た次第で、誠に感謝に堪へないのであります。

◇

どうか諸君におかれては、この意味に於て我社の事業を御諒解下さいまして充分の御支援を切望して止まない次第であります、そして今回の健康週間に於ても充分に此の機會を御利用下さいまして、保健衛生に關する此の事業の目的達成に御協力下されん事を切望する次第であります。

ラヂオドラマ　青空

志野半吉作

【配役】
木村正作(會社員)……小島章
フサ子(正作の妻)……澤見薫
中尾貫(木村の友人)……伴太郎
その他子供大勢
效果　水島玲子
放送指揮　志野半吉

【梗概】會社員木村正作の家は、妻のフサ子と娘兒の三人暮し……豐な生活ではないが、三人とも元氣で暮してゐる朗かな家庭です。

ある日曜日の朝、にぎやかな蓄音機の音樂がやむと、正作の新聞を讀む聲が聞えてきます。
フサ子「行つて來ますからお願ひしますわ、坊やはよく寢てゐますから……」
正作「早く歸つて來いよ、坊やは俺にかてなんだから……」
買物にフサ子が出ると間もなく坊やが目を覺まして、火のつくやうに泣き出します。正作は「日曜の空は晴れてもボンなした、それにお前にがう泣かれては……」等と困りきつてゐるところへ、友人の中尾が訪れてきます。
中尾「俺の家庭はまるで穴倉のやうなものだ、俺達の人生は、夕暮れる秋の野道を行くやうなものだよ……」と正作の家庭の明るさをしみじみうらやみます。
買物に出てゐたフサ子も歸つてきて、友人久保田の家の事など話してゐるうち、中尾の悲觀の原因が、妻君の病氣にある事が木村夫婦にわかつて同情します。
正作「君の細君のやうだと少々體も弱いだらうが、そいつはまあ美人の妻を持つてゐる稅金だと思つてあきらめるさ……」
等とひやかしたりしますが、お互に「先づ健康」が人生の何より幸福である事を話合ひします。
フサ子「おそくなりました、何もありませんがお晝食などうぞ……」
坊やも目を覺まして家は又にぎやかになります。
中尾「いゝなあー、家庭の明るさが僕の目には、いたい程しみるよ……」
晝食をすまして皆で中尾の家に細君を訪問し、大いに元氣をつけてやらうと言ふ事を正作が云ひ出します。フサ子も贊成し、中尾は喜びます。
飛行機の爆音が聞えてきます。
フサ子「あら……飛行機が飛んでますわ」
中尾「いゝ天氣ですなあ」
正作「さあ俺達も早く外に出やう我々はいつも太陽に向いて手をあげるのだ、うす暗い影に小さくなつてゐてはいけない、太陽をもとめる者は、いつも健康なんだ……」
どこからか「外へ外へ」の歌が可愛い小女の聲で聞えてきます
【寫眞右から志野、伴、水島、澤見の諸氏】

健康週間診斷券

住所
氏名
年齡　　歲

第二回健康週間奉仕の

大連醫師會
關東州齒科醫師會
旅順醫師會
關東州藥劑師會
大連實業藥劑師會

本健康週間の趣旨に贊同して犧牲的に直接診斷に從事せられる旅大各醫師會及無料投藥に應ずる各藥劑師會員の住所氏名は左の如くである

大連醫師會々員

内科　三河町　近藤醫院
信濃町　弘濟醫院
外皮梅　吉野町　桐原醫院
内科　信濃町　三好醫院
皮花泌　浪速町　井上醫院
精神科　大山通　脇屋醫院
耳鼻咽　仲町　森本醫院
内科　紀伊町　竹澤醫院
内小花　西公園　光畑醫院
内科　宏濟街　應崎醫院
外内花　兒玉町　博愛醫院
内小　佐渡町　中村醫院
産婦　吉野町　小坂醫院
泌花皮　西通　野中醫院
耳鼻咽　信濃町　西巻醫院
眼科　但馬町　三根醫院
内小　越後町　山嶺醫院
内小　仲町　長濱醫院
小兒科　越後町　梶田醫院
内外皮　大正通　中田醫院
外産婦　大正通　比企醫院
内小皮　西公園町　内田肛門病院
産婦　三河町　岩男醫院
内科　若松町　廣海醫院
宏濟街博愛醫院内　日沖ひな
内外　聖徳街　高橋醫院
内科　西公園町　小澤醫院
内産婦　數島町　佐志醫院
内科　愛宕町　櫻井内科醫院
小兒科　西通　池田醫院
耳鼻咽　西通　中西醫院
耳鼻咽　佐渡町　澤田醫院
泌花皮　黄金町　阪本醫院
小兒科　黄金町　梅森醫院
泌皮梅　紀伊町　重富醫院
小兒科　浪速町　今井醫院
内科　浪速町　安富醫院
内科　柳町　永原醫院
小兒科　山縣通　唐澤醫院
眼科　西通　玉井醫院
内科　駿河町　志摩醫院
眼科　入船町　馬場醫院
外科　聖徳街　田邊醫院
内外花　西崗街　白十字醫院
内外　萬歳街　天心醫院
小兒科　信濃町　幡井醫院
皮梅　岩代町　仁壽堂醫院
淋梅皮　連鎖商店街廣小路通G區　鳴尾醫院
内科　奥町　島根醫院
外科　若狹町　仁和醫院
産外　吉野町　永井醫院
外内　黄金町　堀江醫院
産婦　若狹町　木村醫院
内科　西公園町　西田醫院
小兒科　大黒町　河島醫院
内外花　光風臺　長壽醫院
内小婦　數島町　柴田醫院
耳鼻咽　西通　民生醫院
小兒科　西通　金子醫院
眼科　西通　王仁醫院
内小婦　西崗街　荒井醫院
内外　東公園町　陳章哲醫院
内小　信濃町　伊藤醫院
耳鼻咽小　黄金町　渡邊醫院
耳鼻咽　平順街　井波醫院
外科　東郷町　揚鳳鳴醫院
外科　三河町　大森醫院
内科　西公園町　佐藤醫院
内小　若狹町　澁谷醫院
内婦　春日町　尾形醫院
内科　吉野町　平原肛門醫院
外　奥町　堀江醫院
内外　宏濟街　博愛分院
内科　磐城町　博愛醫院
外内婦　磐城町　田邊醫院
内科　信濃町　田邊醫院
眼科　安富眼科醫院

旅順醫師會々員

新市街鎭遠町　成田醫院
八島町　竹森醫院

關東州齒科醫師會々員(順序不同)

東公園町　和田齒科醫院
朝日町　田口齒科醫院
山縣通　岡崎齒科醫院
山縣通　白仁田齒科醫院
紀伊町　安永齒科醫院
監部通　千葉齒科醫院
大山通　久保田齒科醫院
北大山通　田中齒科醫院
伊勢町　白仁田齒科醫院
伊勢町　川越齒科醫院
但馬町　高原齒科醫院
西通　藤富齒科醫院
西通　山浦齒科醫院
三河町　日下齒科醫院
信濃町　關齒科醫院
浪速町　森齒科醫院
西通　早川齒科醫院
西通　大塚齒科醫院
若狹町　藤森齒科醫院
西公園町　田中齒科醫院
西公園町　今泉齒科醫院
西公園町　鶴見齒科醫院
八幡町　岸田齒科醫院
若狹町　平岡齒科醫院
春日町　小山齒科醫院
青雲臺　土井齒科醫院
桃源臺　芳賀齒科醫院
西公園町　大津齒科醫院
信濃町　日野齒科醫院
常盤町通　鹿野齒科醫院
伏見町　板東齒科醫院
惠比須町　鍵山齒科醫院
水仙町　小室齒科醫院
聖徳街　中山齒科醫院
聖徳街　的場齒科醫院
山縣通　下重齒科醫院
松林町　吉田齒科醫院
元町　合大齒科醫院
黄金町　實來齒科醫院
大正通　出口齒科醫院
聖徳街　西原齒科醫院
菖蒲町　今村齒科醫院
伊勢町　大島齒科醫院
聖徳街　門上齒科醫院
宏濟街　飯塚齒科醫院
數島町　塚澤齒科醫院
大正通　加藤齒科醫院
大正通　小田齒科醫院
播磨町　田上齒科醫院
信濃町　松田齒科醫院
信濃町　相馬齒科醫院
朝日町　木村齒科醫院
奥町　盧清齒科醫院

旅順市
敦賀町　塚澤齒科醫院
名古屋町　深川齒科醫院
青葉町　仲野齒科醫院
松村町　岡野齒科醫院
鐵道町　小梨齒科醫院
乃木町　忽那齒科醫院
鯖江町　菊地齒科醫院

大連實業藥劑師會

浪速町　赤誠堂藥局
岩代町　松井藥局
壹岐町　根本藥局
伊勢町　溝上藥局
信濃町　大洋堂藥局
連鎖商店街本町通　日新堂藥局
浪速町　明治堂藥局
信濃町　日本橋藥局
淡路町　菱川大昌堂藥局
大山通遼東百貨店内　日本賣藥株式會社大連支店
浪速町　遼東藥局
若狹町　ワカサ藥局
山縣通　松井衛生堂藥局
大山通　大連洋行藥房

關東州藥劑師會々員

山縣通　アイフ藥局
仲町　緒方藥局
數島町　大原藥局
大黒町　東陽堂藥局
吉野町　大正堂商店
監部通　天然堂藥局
聖徳街　上野藥局
但馬町　上阪藥局
大正通　天祐堂藥局
伊勢町　伊勢町藥局
但馬町　小寺藥局
浪速町　ナニワ藥房
伊勢町　松内楠陽堂
旅順市乃木町　宮竹藥局

滿日各地版

極く質素を旨とし 森嚴な聖地に奉建
奉天の滿洲神宮奉建の企て 漸く具體化し來る

【奉天】滿洲國建國の精神を綱とし滿洲在住邦人のみならず現住民を綱として滿洲神宮を奉天に奉建することは在奉天人士の總意ばかりでなく全滿同胞の結願とするところであるが、奉天としては其の神域を崇めることのできる神域を選定するため寄りく協議中である、然し最近から尨大なる豫算支出を計上せず、眞に滿洲の神のしづめとして崇拜の中心點となり、事變と建國滿洲國の王道樂土を大精神とした合體として建設されるとが最も意義あるものとされ寧ろ建國早々の際におけるものとして極めて質素を旨とした森嚴なる神域であることが總ての人の氣もちであるらしく、社殿、本殿の如き建築物にたいしても滿洲の氣候風土其他各方面について研究を要する問題あり、近く荒木地方課長、倉橋地方係長、山內神官、藤牧町內會長、地方委員、樋口民會理事、其他關係者會合し具體的の最後案を決定することになつたが、軍部、滿洲國側においても奉天に滿洲神宮を築くことは贊成してゐると

撫順七條小學校 分離式擧行
誇るべき堂々たる設備

【撫順】東七條小學校分離式は豫定の如く午前九時永安小學校講堂に於て擧行されたが、この日分離校側の父兄三百餘名出席し父兄代表寺西圭之氏の挨拶あり非常な盛會裡に終了した、式終了後兒童は校前に整列し永安校及分離校兒童共萬歲を交歡して式は全く終了した尚東七條小學校に於ては杵淵校長學校を代表して父兄に挨拶をなし兒童に懇切なる訓示を與へたる後各自の教室に割當て下級生徒のみを歸宅せしめた、職員及三、四年高等科生徒は明日の受業準備のため新築の香高き教室を右往左往し歡笑を交して教室を整理してゐる狀態は見るも喜ばしきの限りである

尤も近代的な樣式と輪奐の美を誇る東七條小學校は工費十七萬圓を投じ細川組の手に六月一日着手起工され十一月十日引渡され、新校舍の施設は特に採光換氣教室の配置講堂の體育設備等は斷然滿洲一の堂々たるものである、卽ち第一校舍二、四七六坪八、第二校舍五九〇坪一、工業堂三三二坪一五、講堂八五四坪、計四、二五二坪〇五で職員室、衞生室、理科教室、裁縫室標本室等に至るまで完備されるものにして尚分離學級は永安小學校より尋一乃至四年八學級、千金校より高等科五學級、計十三學級、職員は永安校八名千金校八名外に事務員裁縫教師一名の分離を見る筈であるがこれが正式落成式は二十日前後盛大に擧行されることになつた

新築成れる撫順東七條校

大奉天建設案 第二回委員會

【奉天】奉天市政公署で計畫中の大奉天建設案は第一回委員會に於て大體計畫の大綱を決定したが更に十二月中第二回委員會を開き具體的協議をなすことゝなつてゐるが明春の解氷期を待つて大小西邊門、大南門、大東門から着手される樣である

奉天の無料宿泊所

【奉天】奉天居留民會では無料宿泊所設置と授產事業の擴張をなすこととなり無料宿泊所設置の豫算借家賃二百四十圓、煖房設備三百圓、蒲團六百圓、電燈二百六十圓、家屋修繕費二百五十圓、番人費百二十圓、豫備費百七十圓合計二千圓を以て近く十間房附近に開所することゝなつてゐるが百六十人を收容し得られると尚授產所は家屋新築費共豫算六千九百四十五圓を計上し近く開會される評議員會に提案決定の筈である

鮮農に農資金融通

【鐵嶺】目下開原附屬地に避難生活中の開原縣八棵樹一帶在住の鮮人農民六十一家族は農資金に困窮し居り之が借入れ方を鐵嶺民會、領事館に斡旋請願中であつたところ此の程認可され鐵嶺金融組合より三百七十餘圓の貸與を受けることゝなつたので鮮農は大いに喜んでゐる

撫順炭礦の 罹災民救濟着手
救濟資金各戶に下附

【撫順】栗家溝、千金堡方面の罹災民に對しては撫順炭礦は二萬五千元を救濟のため寄贈しその內約一萬五千元をもつて礦區內の罹災者の救濟に着手することゝなり炭礦土地係を中心に詳細なる調査を進めつゝあつたがこの程完了し愈々十七日から救濟資金を罹災者たる百三十七戶に對して下附される事となつた、而してその方法としては

一、家屋建設資金　瓦房一軒房子二十元、草房同十元、家具費(一人宛)五元
二、死亡者に對しては一人あたり五元
三、生存罹災者補助金◆緣邊なきもの五十歲以上十九歲以下男子には二十元、年齡を不問婦女子には二十元◆緣邊あるもの五十歲以下十九歲以上の婦女子には十元、四十九歲より二十歲迄の男子には十元

斯くて礦區內の罹災者に對しては完全なる救濟がなされるのであるが礦區外も夫々縣に於て救濟の方法が進められてゐる

二重結婚がバレて 現職の巡捕捕はる
金州に起つた不祥事

【金州】頻々と起る警察官の不行跡に世間の耳目は一齊に此の方に集中されてゐるこの頃これは現職の巡捕が有妻を秘して二重結婚を爲すべく祝儀の日取まで決めたがその前日からくりがバレて取調べの係官をゴマ化し逃走したと言ふ金州に起つた不祥事

貔子窩財神廟街の邵料佐(二三)は今年四月巡捕として金州署に配屬され八里庄派出所勤務を命ぜられたものであるが、董家溝會に居住する某女を見てからすつかりのぼせ上り、さては妻のある身も顧みず無妻だと欺つて結婚を申込み承諾を受けて十六日祝儀をするばかりになつてゐた處に貔子窩の親許から息子にはちやんと立派な妻があるとすつかり出雲の神樣に見放なされて仕舞つた、しかも皮肉にその前日であつたので逸早く派出所巡查に同巡捕を拘束本署より係官の出張を求めて取調べ本署に連行せんとする時一寸便所に行つて來るとゴマ化しまんまと逃亡してしまつたが惡運盡きて十七日逮捕された

合辦事業を記念
闞氏等新阜の有志が 小林氏の頌德碑建設

【奉天】闞朝璽、汲金純、湯玉麟氏等の新舊熱河都統を始め阜新縣の軍警紳學商農工各界の名士百五十三名が發起となりかれて中日合辦大新鑛業合資公司の日本側代表として同炭礦開發當初よりその衝に當つてゐた前滿鐵地方部參事小林胖生氏が今回その職を退くことになつたので炭礦山元において石造で氏の頌德碑を建設し氏の德をたゝへると共に合辦事業の永き記念とすることになつた、なほこれと同時に右の各界名士等は銀製の大楯と一扁額とを小林氏に贈り記念とした

少年團代表

【奉天】來る廿一日から二日間明治神宮に於て擧行される少年團日本聯盟創立十周年記念式に奉天少年團を代表とし春日尋常高等小學校の笠原熊一氏が出席することゝなつたが同氏は十七日午後三時廿五分發安奉線急行にて出發した

上級校志望者激減
中等學校だけで打切つて實務へ 鞍山中學校の新傾向

【鞍山】鞍山中學校では十四、五の兩日に亘つて第五學年生の父兄懇談會を開催し卒業後の進路に就いて懇談したが今日まで生徒の進路將來の志望等を綜合して見るに上級學校志望者が著るしく減退し學業は中等程度にて打ち切り實務に就くと云ふ生徒の希望が激增した傾向があると

盗みはすれど…… 兩親は忘れず?
盗んだ金でさんだ孝行

【奉天】盗んだ金で親孝行やら遊興やらして遂に御用……市內加茂町五番地八神某一から十五日正午頃自分の正金銀行預金帳と印鑑を奪ひ現金四百八十圓を引出され盗難に掛つたとの屆出により奉天署から係官が現場に赴き取調べた處銀行で金を引出した日本人の人相と八神方に同居してゐた愛知縣八開村生れ前科一犯鬼頭幸一(二七)の人相とが酷似してゐるので犯人は先づ鬼頭であると嫌疑をかけ取調中彼は名古屋市西區長者町加藤幸一(二七)と自稱して去る廿七日から本月二日まで市內平安通り東亞旅館に投宿しその間主人に對し金五百圓の保管方を依賴し之を二百圓と三百圓の二回に亘つて受取つたこと彼は十五日突然家出し姿を晦ましてゐる事等により鬼頭の嫌疑は益々濃厚となつて來た

そこで彼の所在を搜查中彼の實兄愛知縣八開村生れ千代田通り十七番地菊屋旅館に投宿してゐる無職鬼頭宗一(二六)が加藤宗一と自稱し去る六日幸一の投宿してゐた旅館に來り投宿し十五日午前十一時頃幸一と共に大連に行くと稱して出て行つたまゝ姿を晦ましたと判明眞犯人は愈々鬼頭幸一に相違なく更に之に力を得て嚴探中彼は十五日午後三時頃柳町料理店いろは樓に來り幸一は同樓酌婦君香(二三)をあげ宗一は牡丹(二〇)をあげ散財し同夜八時頃揃つて自動車で市內に出て行つた事實をつきとめ係官は同樓に張りこみ待ち構へてゐると果して夜の十一時頃醉拂ひ機嫌で歸樓しこれからお樂しみの就寢といふ處を「こら!」とばかり兩名とも取押へ直ちに奉天署に引致し嚴重取調中である

このしたゝかもの係官の峻烈な取調べに包み切れず犯行を逐一自白するに至つた、彼は宗一と共に大連に行くと稱して旅館を出たがその足で驛前大丸旅館に僞名して泊りタンセン姿でいろはに上り込み飲めや唄への大散財後揃つて自動車で出かけ市內千代田カフエー、東食堂で遊び廻り歸樓したのであるが、その際幸一は六十一圓宗一は五十圓を所持し三百圓は鄕里の兩親の許に郵便爲替で送つてゐたと

東邊道匪賊討伐に 我自動車隊の活躍
野戰自動車隊長 落合中佐談

◇

扨て前に述べました問題の輸送の大任を命ぜられましたのが私達の自動車隊です、將兵一同は勇躍しまして奉天を出發し、私は眞中の輸送を擔任し東の方は北關少佐をして指揮せしめ、西は輸送縱隊をして之が任に當らせました、私の擔任した眞中の狀況について申上げますと第一回新賓進出まで約二十里、道路さへよければ半日行程ですが全然未知の地形で然も兵匪橫行の土地とて豫じめ道路を偵察するといふ事が出來ないのみならず前申した通りの雨と第一線諸隊が通つてコネ返した後なので我々は支那馬車や砲兵を追越して前進したにも拘らず三日間を要しました、然し難局に遭遇する毎に行かねば止まぬ將兵一同の凄ましい活動に自ら道路を修繕しつゝ時に車の後を押し、落ちた車を引上げながら携帶口糧のパンを噛ぢり、夜は夜通し暗夜の道を辿りつゝも旅團主力の出發したその日の午後には旣に新賓に到着しました

一部の人からは自動車の通過不能にして補給の道なしとまで悲觀報告せられました地形を突破しましたので聞くもの皆六輪自動車隊の威力に感嘆せられた樣な譯けでした、之を以て見ても私は總ては敢行といふ二字につきると思ひます、東の方北山城子から柳河を經て三源浦に輸送を命ぜられた北關部隊も私たちと同じ樣な狀態で殊に小城子南方の河が水深くして自動車の徒涉が出來ませぬので寒中を全員丸裸で橋をかけ通過した樣な始末もありましたが第一回の輸送は何れも無事任務を遂行して南雜木及北山城子に引返しました

◇

この第一回輸送の困難は雨に祟られ道路の惡かつたと渾水の增水に禍ひされた譯だが爾後は幸ひ天候に惠まれ非常に順調に第一線の任務を遂成するとが出來ました

軍用六輪自動車の山嶽地帶による威力は今回が最初の試みであつたがその結果絕大なる威力には全く驚きました、私達より一日も早く南雜木を出發した砲兵や大行李の支那馬車、四輪自動車隊などを第一日の夜旣に追付いたことによつて見てもその偉大なる力が想像されることゝ思ひます、以上は滿洲としては特異の地形である東邊道地方に於ける自動車行動の槪要を申述べましたがこの機會に於て自動車隊が全滿に亘る皇軍の活動に如何に活躍したかを申上げて置きたいと思ひます(つゞく)

姉は何處へ
別れた實姉を搜して 少年、徒步で奉天出發

【奉天】姉は何處へ……大分縣佐賀關町木賀鐵三(一九)は父母のなき後叔父の金子鐵次方の厄介となり家業の魚とりを手傳つてゐたが叔父の虐待に堪へかね二年前に別れた姉のきりえ(二三)戀しさに本月四日その家を飛び出し姉が奉天で女給として働いてゐることを聞きこみ門司から大連に渡りやつと目的地の奉天にたどりつき姉の住所を探し求めたが判らずやむなく再び叔父の許に歸らうと決心しても旣に懷中無一文となつたので大連の知人を頼りに十三日徒步で南行したがどう道を違へたのか虎石臺方面に迷ひ込み途中守備兵に誰何され同隊に引致された、併し事情を話して漸く釋り同隊の保護を受けて再び奉天につれ戻された、そして彼は再び奉天を探し求める元氣もなく十五日大連さして徒步で出發した

三勝の治安維持策研究

【鞍山】鞍山守備第六大隊では鞍山に歸順した三勝こと吳寶豐の治安維持指導に關して立案研究中であつたが、十六日午前九時から上田大隊長を始め守備隊幹部遼陽、海城の兩縣知事同本溪憲兵分遣隊長山本警察高等係主任其他奉天省の治安維持會員等臨席した、上田大隊長は三勝指導方針たる腹案を述べ種々協議の結果三勝をして理想的な治安維持を實現せしむる樣に指導することに決し農商聯合會ある鞍山に設置することに決した、なほ十八日午後一時から鐵道西支那劇場に於て鄉二堡、騰鰲堡、唐馬寨附近の有志多數を集合せしめ滿洲國王道政治の普及に努める筈であると

遼陽有段者會 近く組織せん

【遼陽】遼陽の武道界は近來頓に旺盛となり柔道部では驛長の關四段を初め地方事務所にも關屋地方事務所長、增田所員の有段者あり警察では榛山三段、辻中二段以下數名あり憲兵分遣所長の荒井氏が二段の猛者、滿紡の天野氏も臺灣で鳴らした腕前があつて十六名の多きに達して居るので近く有段者會を組織すべく計畫中である一方鐵道部でも電燈の西四段を初め十餘名の有段者あり近く大連で開催の有段者大會に遼陽は必勝を期し居る有樣で斯道の旺盛は滿蒙の第一線にある關係上誠に喜ばしき事だと讃へられて居る

旅順放送

◆熊本縣主催滿鮮視察團一行、縣立女子高等師範學校長澄田福松氏外九名は十六日來旅午後二時關東廳を訪問田邊學務課長栗林視學等と會談の上各戰跡を見學同午後五時から泰豐樓の歡迎宴に臨み同夜離旅した

◆大連逢阪町の殺人未遂犯人工藤喜太郎外一名及び公正證書僞造に關する森本伸七の控訴公判事實審理は十六日午後から旅順法院覆審部に於て開廷した

◆舞踊家高田せい子一行は來る二十二日一晚限り昭和園に於て公演する事となつた

◆驛前派出所開所式は愈々來る二十日正午落成式を兼ね開催する事となつた

會と催し

◆營口日滿商務聯合會【營口】旣報十五日開會せられたる第二回日滿商務聯合會は日本側今井會頭以下十名滿洲側于季樂氏以下十名出席、左の七項に就き協議した

一、滿鐵營口運賃問題に關する件、二、關稅制度改正に關する件、三、取引所設立に關する件、四、冬期間河北との連絡に關する件(以上日本側提案)五、遼河碎氷に關する件、六、遼河夜間航行に關する件、七、金融硬塞打解に關する件(以上滿洲側提案)

◆遼陽金光敎大祭【遼陽】遼陽金光敎々會所では十六日午後二時から秋季大祭を執行したが當日は撫順鞍山、奉天等からも敎會長列席あり閉式後敎會長の說敎があつた

◆遼陽の防火宣傳【遼陽】遼陽警察署と地方事務所消防隊は協力して十六日早朝から防火宣傳を開始し各戶に火の用心の心得書を配付し或は市內に宣傳ビラを撒布した

◆遼鞍聯華劍會【鞍山】滿洲事變勃發以前は每年遼陽華劍會と鞍山華劍會は交互に聯合華劍會を催して居たが昨年は事變の爲め休止して居たが兵匪も一段落を告げたので本年は鞍山側主催にて來る二十二日午後六時から柳町橘家に於て遼陽聯合華劍會を開催することに決定した

◆鞍山映畫と音樂の夕【鞍山】鞍山體育協會では經費捻出の爲め十八日午後六時より演藝館に於て映畫と音樂の夕を開催するが映畫は佛國二大特作たる巴里つ子、ロベルトを上映し製鐵所音樂團總員演奏し解說者は今名ある喜多流一氏が特に來鞍するとのことなれば定めし盛況を呈するであらうが一般は體育協會後援の意味を以て多數來場されたしと、入場料は夫婦券八十錢、大人券五十錢、子供學生券三十錢

◆鞍山の兵制發布記念日【鞍山】來る二十八日は兵制發布六十周年に相當するので鞍山憲兵分遣隊では守備隊六大隊並に在鄉軍人分會と協議の上兵制に關する講話を一般に聽講せしめ徵兵制度の意志を徹底せしむべく目下計畫中であると

◆撫順の阿部氏獨唱會【撫順】我社が嘗て大連にて主催し好評を博したジャズソング歌手阿部幸次氏の獨唱會は撫順新報社主催、炭礦庶務課、撫順音樂會後援の下に廿一日午後六時より公會堂に開催されることゝなつた、演奏曲目は大連に於けるそれと同じく「影を慕ひて」「若いマドロス」「リットン節」「大島節」等は早くも各方面から期待されてゐる

…對しては十分の考慮をなし相當な技師をして森林の調査をなし又

…拓務省其他からも專門家が出張して遂去の搾取的になつてゐた森林を開拓すべく目下各所に調査員が入り込んで今後大いに活氣を呈するものと見られて居るが、比較的吉林材は出産費が高く尚その上に運賃の多くかゝる處より廣く販路の擴張をする上に於て誠に不利なる關係にあり今後吉〇線の開通によつて幾分運賃及び經路もよくなり甦るものと觀られてゐる

リ報告反擊 決議文打電

【四平街】去る十日時局市民大會を開催し、リツトン報告反對決議文を作成した四平街在鄕軍人分會では、十五日齋藤首相以下、内田外相、荒木陸相、永井拓相、一木宮相、眞崎參謀次長、高橋軍令部次長、德川貴族院議長、秋田衆議院議長の十氏に對し夫れ〳〵決議文を打電し同時に諸府の全機部にも之が簡略せるものを送つた

滿洲國人の購買力增加
銀高と關稅獨立で 邦人商人福々

【新京】從來滿洲に於ける在留邦人の經營に成る商店は其の殆ど大部分が世界的不況と經費の少い支那商人の進出の爲に壓迫され苦境に陷つてゐたが最近の銀高と滿洲國關稅獨立に依る上海方面よりの輸入杜絕の爲め內地製品の輸入旺盛となり漸くその商況活氣を呈するに至つた、殊に奉天方面の商人は暫く杜絕してゐた奉開線の開通に依り銀高に伴ふ滿洲國人の購買力增加の爲大阪方面商品の奥地移入盛んとなつたがその中日常生活必需品、綿製品、雜貨等は殊に需要盛んにして奉天における綿製品工場は晝夜兼行その全能力を揚げて活動をなしてゐる、尚奉天のみならず地方に横暴を極めてゐた匪賊軍の皇軍の勇敢なる討伐に漸次平定し、奉海、吉長、奉山線奥地滿洲人商人との連絡も出來注文は殺到し、此の邊邦人商人福々もので滿洲景氣を謳歌してゐる狀態である

手取七十錢では期待も臺無し
枕木元請業早くも悲鳴

【吉林】赴運中の吉林滿鐵枕木元請業者からの去る十日午後入電に依れば、滿鐵本社との協議は略決定を見た模樣で枕木總數七十萬本吉林渡し單價一圓二十五錢中央銀行外の私有林一圓五十錢に決定の模樣で其の後大連より何等入電もなく最早確定的のものと見られて居るが、當地元請業者および下請業者の意見を聞けば昨今の如き銀高の上に山份も自分では造材並に出材地方税、管理費、運賃、金利保管料等加算する時は出産費合計吉林渡し約五十四、五錢位を見込まねばならず結局手取りは七十錢前後よりなくこれでは折角の期待をかけてゐた冬仕事も全く臺無しだと悲鳴を上げてゐるが、右に關しては當地木商側では斯かる安い單價につけられては枕木採算上の不利益は未だ忍ぶとしてもそれ以外の原木角材等に惡影響を齎す點が多大であらうと憂慮して居る、然し中央銀行側では山份は安過ぎたと語つて居り對滿鐵枕木の山份契約十八仙吉敦林場の利用價値から言つても事實今度の單價が自行の林場と他の私有林との間に二十五錢の開きを見せたのは此の事實を表すものにて滿鐵は夫丈の利益を生じた譯であると、尙之れに依つて木材界もたとへ安く共相當好況を來すものと見られ滿洲國中央又は吉林省公署でも林業といふものに

チチハル ダウリヤ間 七百粁翔破記
滿洲航空株式會社運航課長　河井義匡

撥麼か滿洲里監禁邦人救出の爲日滿委員が飛行機でチチハルより臚濱ダウリヤに飛行するの記事を見其の實行は我社に於て遂行すべき責任あるを自覺してゐたが、各種の事情に下に延期せざる可らざるの情況であつた、此の空輸は關東なやうで實施者責任者としては決して簡單な事でない、第一暖寒零下三十度前後の地に於ける發動機の運轉の困難、第二目下西風强く每時七十粁の向風で飛行しなければならぬ、機速百五十粁としても對地速度は實に八十粁に減じ、約十時間を飛行しなくてはならないからである、前に第一回の滿洲里飛行中不幸殉職した

板倉機 の遭難に鑑し、往復無着陸の飛行を實施すべき燃料を搭載するを要するのである、搭載量は限定せられてあり、空輸の人が相當多數な上に携行荷物が又甚しく程多いのだ、この外に種々な困難が伴つて實施者としては容易ならぬ苦心であつたが、何彼と多忙の中に愈々決定した出發當日たる十一月十一日を迎へたのである此の日日出前飛行場に行く、天運に惠まれ寒氣は零下十度微西風にして薄雲天空を被つてゐた、一號の準備終了、試運轉良好、發動機は腕白玉を弄するが如き響きを發す、準備全く終る時委員及見送の人々參集、搭乘者は委員長小松原大佐、委員橋本中佐、宮崎少佐、宮崎大尉、空輸會社河井田操縱士同技操縱士、石川機關士、早良の陳寂を破り轟音地を震る中に偵察の裝終り、多田少佐、林少佐、各新聞社の人々に送られ一同機上の人となる、時將に太陽を東天に仰がんとし一同の顏面自ら赧かだ機首を北にし愈々スタート、滿石四剃九百旺に近きフオツカー

旅客機 は滑るが如く地を離れ、全く明け切らぬ曉空を一路西の方ダウリヤ目ざして快翔した、時に午前六時四十分、五百乃至千粁の飛行は然の虞でないが全くの高山地帶と氣象不明な上に全航程皆敵地である、今迄萬全を盡した機體も神佛の加護を祈らない譯にゆかなかつた、旭光を勞いて機は靜空を滑る、チチハル西方の嫩江流域一帶は曇り家雨で氷倚去らず、今や寒氣に鎖され白氷と化し輝る美觀、此の景觀は軍集結の地なので漸次高度を採る、眼下一面枯野原に朝霞が靜かであ

る、發程三十分にして大

大興安 嶺山系東端に至る眼に映ずるは單調なる山地の端に蜒蜿長蛇の如き壘跡だ、これ七百餘年前英傑成吉思汗が作つた壘趾で延長四百粁、俯下しつゝそぞろに往時英傑の偉業を偲ぶ、時に旭光東天に昇らんとして機影を鮮かす、午前七時三十分間題の地札蘭屯を通過、次いで大興安嶺に到着山益々高く山頂一帶白雪を頂く、飛行高度一萬六千米、上空の溫度十五六度と推定された、眼下に顧瞰大斷嶺を俯瞰て、山又山に纏々たる雪が深い、アベトがその山地帶の中間に淋しく見へる午前九時ホト部落を越せば暫時にして蜿々

大蛇に 似たるハイラル河畔に出づ、午前九時十五分早くも機はハイラル上空に達した、蘇炳文此處に在り、客席を見れば今迄餘りの平靜に居眠りしてゐた人々もゆり起されて俯下しつゝあり、市の周圍特に西方に對し數線の散兵壕が圍らされてゐる、午前十時中滿洲里に達す、暫時にして更に一部邦人避難の地露領マツエフスカヤに到着、數回旋回せしも應答な認め得ず、機首を更に西北に向け約三十分にして目的地ダウリヤに到着した、飛行場は市の南にあり、旋回二回の後エンジンを休め着陸姿勢に移り五色旗を翼に彩れる我J・B・B・T・O機は滑るが如く始めて他國の地に車輪を停めたのである、時に十一日午前十一時十分であつた

滿洲神社を新京に建設
奉獻委員會を設け 第一回協議會開催

【新京】新京に滿洲神社建設の儀については去る十一日滿鐵地方事務所に時局後援會主催のもとにその幹事が集合第一回の協議會を開催したが席上愼重研究を要する事項とて、滿洲神社奉獻研究委員會を設け引續き研究することゝなつた、その委員は左の十五氏で更に五名の顧問を設けた

▲顧問 小山興、高山勝司、奥平廣敏、市川瀟、田中正一

▲委員 地方事務所長、田中善平、永原岩雄、井上香木、勸崎仙美、島名福十郎、北原廣、栗原重康、學校團代表、原口純元、四戶友太郎、田中卓二、下德直助、小澤績吉郎、小松兼紗

國防費に 三百圓寄附
宮崎啓吉氏が

【新京】新京城內自轉車販賣業宮崎洋行主宮崎啓吉氏は十五日城內憲兵分遣所に出頭國防費の一部にでも加へて戴きたいと金三百圓を寄附したが頗る奇篤な行爲として賞讃されてゐる

新京少年團 代表出發

【新京】長春健兒團は今回新京少年團と改稱されたが本月二十一日東京に於て開催の全日本少年團總會には竹下國雄君が新京少年團代表として十七日新京發鳩にて出席の途についた

四平街小學校 生徒增加

【四平街】四平街小學校に於ける十一月十四日現在の生徒總數は男生徒三五二名、女生徒三三三名合計六八五名にして家政女學校生徒一六名を加へると七〇一名の多きに達し、之を昨年同月に比すると約五〇名の增加を來してゐるが今學年男女別に列記すれば左の如し

學年	男	女
尋一	六二	六一
尋二	六四	五二
尋三	五三	六〇
尋四	四七	五一
尋五	四三	五三
尋六	三二	三四
高一	二八	二二
高二	二二	一八
合計	三五二	三三三

警察機に獻金

【鞍山】鞍山製鐵所に於ては從業員一般に對し關東廳警察機建造費獻金募集中であつたが此程締切り合計六百圓七十錢に達したので奥村庶務係主任が所員を代表し十日鞍山警察署を經て關東廳へ寄附した

日滿兩國軍が 匪賊團を擊退
剿滅を期し追擊中

【鐵嶺】開原縣東北部淸河溝に於て撫海線方面から討匪のため進出し來つた滿洲側討伐隊の一擊を喰つた匪賊隊は進路を轉じ南進し再び滿鐵線を突破西方に逃走せんと漸次中固を目指し西進しつゝあつたが十五日夜平頂堡の東北娘々廟部落に到着し滿鐵線の橫斷を期し十六日午前四時更に西進を開始平頂堡の北方杈木林子部落を通過せんとし同夜來警戒中の鐵嶺〇〇隊小松〇隊〇〇名、佐澤敎官指揮の鐵嶺保安隊〇〇〇名のため賊は谷間に追ひこめられ高地から保安隊の猛烈な挾擊を受け正面より山松〇隊の猛射を浴び大混亂に陷り潰走一時間で漸く東方に血路を開き大紅石三家子に向け總退却開始したが我が日滿軍は徹底的討伐を期し追擊中である、此の交戰にて賊は死體五、捕虜二名、銃一挺、槍一本、生馬四頭を遺棄したが我が軍に一名の死傷もなかつた

飛行場を覗く 怪漢を逮捕

【四平街】四洮鐵路局警務課巡警部文秀が十四日夜八時三十分頃四平街飛行場西方程高棚に於て飛行場警戒のため立哨中夜陰に乘じ我が飛行場を窺ふ怪しき人影を發見直にこれを逮捕し、四洮警務課にて目下憲兵指導の下に匪賊の容疑者として嚴重に取調中であるが、前記巡警部文秀は警戒勤務に感心なるものとして十六日飛行大隊長辻大佐より賞狀及び金一封贈與を受けた

傷病兵轉院

【鐵嶺】鐵嶺衞戍病院に入院中であつた傷病兵のうち五十四名は旅順同病院に轉院することゝなり十六日午後六時五十二分發列車で離鐵出發した、又十五日午後九時六分着急行にて北滿より十名の傷病兵來着鐵嶺衞戍病院に入院した

開校記念 學藝會

【新京】新京西廣場小學校では十六日が開校記念日に相當したので午後六時から同校講堂に於て學藝會を開催したが兒童の父兄その他多數の參觀人があり盛大を極めた

紅萬字會婦女 會員募集

【鐵嶺】鐵嶺紅萬字會では從來會員は男子のみに限られてゐたが今後婦女會員の募集をもなすことゝなり既に婦人同會の事務所を當地南門裡德順胡同に開設すべく決定目下準備中である

四平街洋樂會 演奏會
二十三日開催

【四平街】滿鐵倶樂部圖書館主任滯浩氏を主宰とする四平街洋樂會では來る廿三日倶樂部ホールに於て第十二回演奏會を開催することゝなりこれが準備に忙殺されてゐるが開催の曉は當地洋樂ファンをして熱狂せしめるであらう、尙當日の純益金は會の基本金にあて一部を警備隊に寄贈する由である

安東遊覽飛行

【安東】滿洲航空株式會社新義州出張所では開業記念として來る二十日安義兩市街及び鎭江山上空を一周五圓で遊覽飛行を行ふことゝなつた、初冬の國境風景を一瞬のうちに眺めることが出來る譯だ

全滿十六地方における 健康診斷の日割決定

恒例に依る第二回共同主催の全滿健康週間中沿線十六ヶ所の滿鐵醫院（奉天は滿洲醫科大學醫院、吉林は東洋醫院）に於ける健康診斷は左記の通り開催す

第二回全滿健康週間

◇瓦房店滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より三時まで」日曜日、祭日休み

◇大石橋滿鐵醫院（健康診斷）十一月十八日より一週間「每日午前九時半より正午まで」日曜日祭日休み

◇營口滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より三時まで」日曜日、祭日休み

◇鞍山滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午前九時より十時まで」日曜日、祭日休み

◇遼陽滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後零時半より二時まで」日曜日、祭日休み

◇公主嶺滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）同上

◇新京滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より二時半まで」日曜日、祭日休み

◇本溪湖滿鐵醫院（健康診斷）十一月十八日より一週間「午前九時より正午まで」日曜日、祭日休み

◇撫順滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）同上

◇奉天滿洲醫科大學醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より三時まで」日曜日、祭日は休み

◇吉林東洋醫院（健康診斷）十一月十八日より一週間「每日午後二時より四時まで」日曜日、祭日休み

◇ハルビン滿鐵醫院（健康診斷）十一月十八日より一週間「午後一時より三時まで」日曜日、祭日休み

◇鐵嶺滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）同上

◇開原滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八、二十一の兩日「午後一時より三時まで」

◇四平街滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より三時迄」日曜、祭日休み

◇安東滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八、十九、廿一、廿二の四日間「午後一時より二時まで」

十一月二十一、二十四の兩日「午後一時より三時まで」

主催 滿鐵地方部 滿洲日報社

巨人の横顔

衛生

細菌學の二大建設者

ロベルト・コッホ

エールリッヒ

放ッて置けば一大事 痔核は斯うして治せ

保存療法に依るのが最大安全 長町醫學博士の談

痔 痔疾の約八割を占めると云はれるのは、俗に云ふ疣痔、即ち痔核である。痔核には内痔核と外痔核の二種類あつて内痔核は、その症狀のものが、肛門括約筋の内部に出來るのが其れで、反對に括約筋の外部に生じたものが外痔核である。

疣 痔の起る原因は、種々あるが、就中大酒の後とか、刺戟の强烈な食物を過した後、或は冬の寒い風に吹かれて、冷え込んだ樣な時に浸され易い。炎症を起して局部が腫れ上ると、一寸の歩行さへかなはず、灼熱的痛みを感じるのが痔核である。單に痛味だけならよいが、往々痔核が破裂して出血或は粘液を分泌する事がある。痔に恐る可きは、

破 裂した時に、有毒菌が浸入すると、痔瘻などに變化する恐れがあるから、放任して置く事は極めて危險である。又此の痔核の破裂に依つて起る出血の恐ろしさは、極度の貧血から來る頭痛と、俄然腦貧血症狀を起して、卒倒人事不省に陷る事である。

手 痔核の惡性なのになると、大手術を行つて、患部を深く且つ大きく切り取る事もあるが、然し手術の結果が惡いと、一命をさへ奪はれる事も珍しくはない。だが近來は、手術と云ふ事よりも、保存療法と云つて、藥物療法に依る事が多い。勿論此の藥物と云ふのも、内服藥よりは外用藥即ち貼布藥と座藥に依る事が、最も安全であり、また迅速な效果を齎らすものである。

要 するに、その座藥なり貼布藥なりも、局部的鬱血症狀を消退し、炎消性、或は鎮痛作用を充分に具備した藥物でなければ理想的とは言へないが、兎もあれ、世人が痔疾と見ると輕視する傾向があるが、假へ輕症であるにせよ、決して放任して置く可き疾病ではない。

『記者附記』長町博士は、日本橋通三丁目に外科を御開業です。

痔の藥

灼熱的激痛も快速に止める 理想的自宅の治療藥

保存療法であつても患者自身が、自宅で手輕に治療の出來るものでなくてはなりません。而して貼布藥なり座藥なりを充分選擇する必要があります。座藥や貼布藥で、最も覿面に效く效かぬが分るのは、痔核に用ゐた時です。

◇◆◇

先づ其の第一條件としては、鬱血症狀を消退するか、灼熱的な痛みを迅速に鎮靜するか、收斂作用が充分であるか、止血作用があるか等々、嚴密に調べた上求む可きで、徒に宣傳誇大な廣告などに釣られて、何等效力の無い藥劑を求めて、より疾病を增惡する樣な事のない樣注意せねばなりません。

◇◆◇

その意味から申して、痔核に最も效果を有するのは「小松ぢの藥」で有ります。鬱血消退、疼痛鎮靜、止血、收斂作用等、迅速に效を奏し、急激に襲來した痔核等でも、使用後數時間にしてよく效果を發揮するのが特徴です。

◇◆◇

而かも「小松ぢの藥」は、單に痔核のみの妙藥ではありません。裂痔、痒痔、痔出血、脱肛、痔瘻等肛門一切に神秘的な效力を具備してゐます。説明は別として、現在痔疾に惱む方は、速時お求めの上御試用になれば、其效果の如何に迅速であるかゞお分りになります。

便秘が伴ひますから、それには矢張り小松ぢの藥の中に、痔快丸と稱する内服藥がありますから、それをお飲みになると、便通も自然便になつて、一層迅速に全治せしめる事が出來ます。

—此の元氣を見よ—(世界の最高峯アルプス山上に於ける裸體教育)

療病顧問

痔核の破裂が因で痔瘻に變化して、遂に一命を奪はれたと云ふ樣な話も數限りなくありますから然うした重症に陷らぬ中に適當な治療をなさる樣お薦めします。

出血して人事不省

問 私は、一勞働者ですが毎年冬場になると疣痔で閉口してゐるのです。もう四年にもなるのですが、勿論此の間には、醫者にもかゝり賣藥等も汎ゆる物を試用して見ましたが併し餘程惡性な痔疾と見えて、冬になるとやられるのです。然し此の間も、少し酒を飲んだのが惡るかつたのか、急に肛門部が腫れ上つて、歩くも何もならないのです。が折惡し忙しい仕事があつたので無理に苦痛を耐へて仕事場に出ると、突然患部から出血して卒倒して仕舞ひました。暫くして氣が附いて見ると、餘り出血が甚しかつたので腦貧血を起したのだそうです。それに最近では、汚ない話ですが大便の度毎に自分で肛門部を押込まないと、何うしても這入らないのです。何か眞實に能く效く、而して根治する樣な妙藥はないものでせうか、助けると思つて、何うぞ好い痔疾藥をお教へ下さい。

斯うして手當せよ

答 酒を飲んだり、疾病中に無理な働きをする樣な事は絶對に愼まねばなりません。疣痔が破裂した場合は、早く其の裂傷した部分を防ぐ療法を取らねばなりません。それには肛門部に集る惡血を速く消滅して、一方止血作用の敏速な貼布藥と座藥をお用ゐになるのが最も特策です。最近は、種々誇大な廣告で痔疾藥と稱するものが市場に出て居りますが、そんな物にまどわされない樣に、小松ぢの藥の痔退膏と痔退座藥と云ふのを一緒にお使ひなさい。然うすれば貴君の樣な惡性な痔疾でも、よく全治致します。どんな惡質の痔疾でも能く

滿洲國領事館開館し ブ市に新五色旗飜る

黒河の叛將は妻子を避難させ 反滿分子は逃げ仕度

滿洲國最初の在外領事として滿鹽經由ブラゴエスチエンスクへ赴任した黄鴻瑾氏は十月一日ブ市の中心地帶レニンスカヤ街セントラルホテルに領事館を開館し

正門 には大滿洲國旗を掲げ更に大ブ市にある滿洲國人に對する外交部總長の宣言文と領事の布告を掲出したところ通行人が門前に雲集する盛況を呈した、今まで中國領事館側の逆宣傳に迷はされてゐたブ市の内外人は滿洲國建國以來九ケ月の短時日に内外に使臣を派遣するまでに整備せられたるを初めて知り異常なセンセーションを捲き起してゐる、一方カリンスカヤ街にある中國領事館は反滿領事權世恩が依然として頑張り黒河を逃つて來た徐景德と

策動 しブ市の滿鮮人によつて組織されてゐる共産系の東方工人會を煽動して滿洲國領事館の布告文をはぎ取らせたり機關新聞東方工人に反滿記事を滿載せしめて盛に妨害を試みて滿支兩領事館は互に對立して宣傳戰を行ひ抗爭しつゝある、これは表面であつて裏面は權以下中國領事館員はびくくもので館員の中には早くも滿洲國領事館に鞍替へ交渉を密かに行つてゐるものもある狀態で一般の住民も何れ滿洲國軍が近く黒河を恢復すれば

中國 領事は逃出す外なしと觀てゐる、對岸黒河の情勢は數ケ月に亘る物資の缺乏と重税により住民は生色なく僅に四百の徐景德軍に支配せられてこの世の生地獄の町と化してゐる、住民の反滿分子に對する反感は馬占山の慘死に次ぐ北滿一帶の反動軍も日本軍のため掃蕩せられ今日ブ市に滿洲國領事館を開館されたが遠からず日本軍が黒河に入城することであらうと豫想してゐるものも頗る多く反滿要人に不安を與へてゐる、現に徐景德、韓樹業は妻子をブ市の中國領事館に避難せしめ彼等自身も何時でも

露領 に逃亡する準備を整へてゐる位非常な動搖を來してゐる、上海に引揚げることになつた黒河税關長ジヨリー氏は黒河では馬占山の死を今尚秘してゐるが徐景德の參謀長は余に（ジヨリー氏）馬將軍からは既に四ケ月他の通信もないと打明け話をした位である

討伐と共に 政治工作 影薄き黒河叛軍

【チチハル特電十七日發】大黒河の徐景德、馬占山殘黨、徐子鶴等反滿分子の組織する黒河獨立僞政權は軍票を發行し黒河官銀號の文字を記入北滿一帶の愚民を欺瞞、通用せしめて居たが過日高波部隊が訥河に入り多額の叛軍々票を手に入れその流通地區の大なることが判明した、卽ち彼等叛軍は資金難から該軍票を發行流通せしめ滿洲國の經濟を根柢から破壞せんと計畫しつゝ一方に於て軍資捻出してあつたもので北滿の反滿軍は悉くこれを使用して居た、我軍は無智なる農民を指導しこれに惑はされぬやう政治工作に努力しつゝあり

黒河叛軍歸順

【ハルビン特電十七日發】在黒河叛軍徐景德の麾下に屬する王硯胄は自發的に歸順の腹を決めその手土産に墨爾根の叛軍を殲滅すべく交戰中である、王が歸順すれば徐もこれに倣ふ形勢である

露領引揚げ婦女子は 全部、浦鹽に輸送

大谷副領事から希望

全權部十六日着電によればマツエフスカヤ避難民の浦鹽輸送に關しては既に本國よりマツエフスカヤ地方官憲にも通達あり大谷副領事の申出あり次第食堂車、衞生車連結のまゝ特別列車を編成して浦鹽に向け出發せしむるやう手配がなつてゐるが浦鹽領事館員の到着を待つて直に決定するはずのところ避難民一行中には臨月に迫つた姙婦や鮮人醜婦を含んで居りこれ等のものは滿洲里在留の夫又は主人と行動を共にするに非ざれば如何に身を處してよいか途方に暮れるものもあり、さりとて團體行動としての輸送であるため大谷副領事の希望としては一同を漏れなく浦鹽に輸送したき方針である、なほ避難民中より交渉委員側に於ては書類その他の整理監督として七名だけを殘して置き備入れたき希望を有してゐる【新京電話】

食糧空輸不能

大谷副領事發十三日着電によれば滿洲里に於ける日本人食糧難解決のため期待されてゐた飛行機輸送は積載量の關係上不可能なる旨小松原交渉委員一行より申出あつたためやむなく浦鹽經由マツエフスカヤに廻送することゝなつた【新京電話】

歸順を裝ふて 一齊に敵對

盤山で歸順の擧式中 反抗し監視隊が膺懲

十二日奉山線盤山にて歸順を申出た裴東閣配下の匪賊がわが監視兵に反抗したゝめ巳むを得ずこれを膺懲した事件があつた

卽ち盤山附近を荒し廻つてゐた裴東閣配下の匪賊三百は一般の形勢非なるを知つて正義團を通じて歸順を申出でたので盤山縣長はこれを許容し十二日正午盤山で歸順式を行ふことゝなつた在溝幇子のわが軍からは盤山縣長の要請によつて藤田中佐の指揮する監視部隊を派遣參列せしめた、縣長が訓示を行つた後歸順條件たる武器全部を一應日本軍の手を經て引渡し式後これを再び返して盤山自衞團に編入することになつてゐたので一先づ武器を渡すやう命じたところ拳銃を所持する兵匪の一部は銃を渡すことを拒み逃走を企てた、わが監視兵がこれを制止せんとしてこゝに端なくも一部の間に爭鬪が開始されたが、これを見た他の匪賊は一齊に起つて叉銃線に入り銃を執り敵對すると共に逃走を開始した、同時に後方の林中に隱れ計畫的に配置された約六十餘名の乘馬匪賊が現はれ急にわが軍に射撃を展開したので監視隊は逐々この歸順は僞歸順と認めて直にこれに應戰し匪賊を四散せしめた、匪賊の死傷は百餘名に上る見込である【新京電話】

……遺なき機有成（二）なることが判明署員一同期せずして喊聲を揚げた、なほ犯人は二日間の食糧と日本銀貨、小洋元を取混ぜて約五十圓を所持し犯行後……關係がないとか曖昧な態度を續けてゐる旅順署近來の御手柄である

吉長線下九臺附近 三千の匪賊殺到す

守備隊安否氣遣はる

吉林地區北方地區剿匪軍總司令吉興軍の討伐に敗退し西北方に向け逃走した匪賊團は吉長沿線方面に移動中であつたが十七日夕方突如として吉長線下九臺附近に現れ同七時頃下九臺の市街地に殺到侵入した、これがため下九臺の鐵道守備隊は同地公安隊と共同して目下これと激戰中である、賊は頭目三好江の率ゆる約三千でこの襲撃と同時に下九臺鐵道守備隊から新京に電話を以て報告中電信電話線を切斷せられ通信不能となりその後の狀況全く不明なるも取敢ず應援のため新京發午後九時二十分裝甲列車を急遽現地に向け出動せしめる一方樺皮廠に待機中であつた裝甲列車も出動した、因に同地には日本人も相當居住して居り賊の掠奪行爲が憂慮されてゐる【新京電話】

故利光正路氏 鐵道部葬

協和會館にて執行

齊克線泰安驛殉職社員故利光正路氏の鐵道部葬は十七日午後二時四十五分から協和會館で擧行された式場には故人の肖像を中央にして鐵道部長、滿鐵正副總裁、關東軍司令官、早大校友會、滿洲日報社をはじめ各方面からの花環が所狹いまでに並べられ悲壯な故人の死に對する各方面の弔意を如實に物語つてゐる

定刻一同着席すれば式は僧侶の讀經に始まり導師の香語あり弔辭に移つた、村上鐵道部長（羽田次長代讀）林滿鐵總裁、郡社員會幹事長の哀調に滿ちた弔辭に滿場寂として聲もなく靜かに涙をすゝる音のみが悲しく場内を流れ、殊に現場にあつて利光氏と苦樂を共にした秋田洮昂鐵路顧問の弔辭には讀む人までが涙聲となり、井上早大校友會代表また滿洲における今次事變の最初の校友犧牲者として故人に限りない追懷と感謝と哀悼の意を表して滿場の涙をそゝり、最後に郷友會代表の胸に迫る弔辭があつた

弔電朗讀も終れば再び起る讀經の裡に燒香となり鐵道部長代理羽田次長の燒香に次いで悲しみ深い白無垢姿の未亡人が幼兒を抱きながら亡夫君の前に額づいた時には滿場何れも唇を嚙みしめて思はず頭を垂れ限りない悲しみに堪えるのであつた、かくて遺族、親戚、林總裁、竹中理事をはじめ參列者一同の眞心こめた燒香あつて嚴肅裡に同三時四十五分式を閉ぢた

遺骨到着

故東野助役 昨夜大連驛へ

十家堡驛で殉職した滿鐵助役故東野善作氏の遺骨は十七日午後八時着「はと」にて夫人その他の家族に護られ淋しく大連驛についた、驛頭には竹中理事夫妻、白井鐵道部庶務課長をはじめその他鐵道關係者、親族、友人ら多數の出迎へあり、直に近江町三六竹島淺太郎氏……

手もなく 犯人逮捕

旅順署お手柄

十五日夜旅大南道路李家溝に於て傅東岡（二七）を手斧を以て慘殺した犯人に對して旅順署では内村、渡邊巡査は大々手配中十七日牧城驛派出所渡邊巡査はこの日早朝より壯丁を指揮しその歸途午後二時半頃南滿附近を自轉車にて通過中前方の一支那人が急に靴の紐を直す樣子にてしやがみかけたのを不審に思ひ取調べたところブルくく慄へながら曖昧なる言辭を吐き而も左頰に一寸位の擦過傷あり帽子着衣も手配通りなので直に本署へ通報身柄を送り一方被害者の隣人李新德を本署に呼び出し對面させた結果間

軍艦の通航自由な 大吊橋を架設

工費三千萬圓六ケ年繼續事業 愈よ關門をつなぐ

【東京十七日發】本州と九州とを連絡する鐵橋架設は多年の懸案であつたが内務省土木局では愈々鐵筋コンクリート橋造の大釣橋を架ける事に決し今月末永田内務技師を主任とする調査團を派し實地測量を行はしめ明年三、四月頃迄に調査を完成せしめることになつた、而して架橋は最短距離に當る早鞆海峽を選び長さ五百七十間（九丁半）幅員十二間に及ぶ吊橋式によるもので世界に冠絶するものである同所は艦船航行多く軍事施設としても要衝所であるから橋下は軍艦が自由に通行し得る樣海面の最高潮より六十尺とし橋の構造は二階建として一階は汽車二階には自動車及一般車道とし總工費三千萬圓を以て調査完了次第鐵道陸海關係各省會議を開き決定すれば昭和九年度より六ケ年繼續事業として實施の豫定である

血液型鑑定を却下 眞犯人と斷じ死刑

井關檢察官が痛烈に論告求刑 廿四日に判決言渡し

學生服の血痕が果して被害者の血痕であるか、大きい疑問符を投げかけ遂に竹田辯護人から血液型鑑定の申請あつた市內兒玉町人妻殺し公學堂生徒石本樅（一九）にかゝる續行公判は十七日午後二時から長島裁判長係り開廷、合議の結果申請にかゝる血液型の鑑定は必要なしと却下になり直に立會井關檢察官の論告に入つた

被告は警察の取調べ、檢察廷の陳述に於て犯行の總てを認めて置きながら公判廷で突如犯行を飜し否認の態度に出でたが、證據を擧げて被告が眞犯人である事を說明すると前提し檢察官が被告を犯罪現場に同行し

被告 が侵入したといふ臺所の網戶を外す方法を實地に行はしめたところ容易に網戶が外れたこと、被告が自供する庖丁の持ち方と被害者の傷口とが一致する點などを列擧し更に

一、被告の學生服の三番目のボタンが兇行現場に落ちてゐた

二、その學生服に生々しい血痕が附着してゐた

三、戶田方で窃取されたさいふに銀十圓券二枚が被告の本の間に挾まつてあつた

の有力な

三點 を擧げて……しても本件は被告以外に眞の犯人は無い、被告は父より買ひ與へられた學生服すら自分のものでないと白々しい否認を續けてゐる點より見て公判廷における全部の陳述が虛僞であることを立證するものである、被告は滿十五歲とはいへ公學堂高等二年生で相當の教育と常識を養つてゐる筈だ、その被告が顏見知りの戶田夫人に百數十ケ所の刺傷を與へかゝる慘虐を敢へてし、しかも兇行後果實を食ひながら群衆にまぎれ搜查官の活動を見物してゐたといふことであるが果して人間としての

良心 ありや、かゝる慘虐な犯行が白晝、しかも大連市內で行はれるといふに至つては社會上の不安を除く爲め嚴罰に處すべきである

と痛烈な論告の後被告に對し死刑の求刑を行つた、この時竹田辯護人は被告に對し「かうなつてからは眞實を云へ、お前はほんとうにやつたことがあるか」と最後の質問を試みたところ被告は「覺えがありません」と依然否認を續け竹田辯護人の辯論に移り京都の小……鑑定を却下したことに

遺憾 であると前提し檢察官が有力な證據として擧げてゐる三點、卽ち被告の學生服に血痕が附いてゐるといふ點は四月頃喧嘩の際頭部に負傷した事實がある、被害者は百數十ケ所の傷を負はされ、全身の三分二の血が流出してゐるとの醫師の鑑定であるが然るに證據の服には胸部の一部分に僅少の血が附着してゐるに過ぎぬ、あれだけの兇行を行へば上衣といはずズボンといはず多量の血痕が附着すべきである、故に服の血は被害者の血とは思はれない、ボタンが

兇行 現場に落ちてゐたといふ點、これも被告のものであるか、同一の他のボタンであるか疑問である、次に十圓紙幣二枚の出所……これも戶田家では二十五六圓あつた筈であるといつてゐるのに何故二十圓だけ拔き取つたか、窃盜の目的なれば全部盜む筈である、證據の何れもが疑問であり、これを斷罪の資料とされるとは考へものである、血痕鑑定が却下となつた以上裁判官も檢察官同樣本件を被告のなせるものと見られてゐると推察するに難からず第二審の裁判を俟つより仕方ないと結び午後三時二十分閉廷、興味ある判決言渡しは來る二十四日午……

暴行事件公判

檢察官の求刑

去る三月十八日午後十一時ころ露西亞街四十七番地醫師松井龍吉の妻ツユ子（二□）に暴行を加へ百十三圓を強奪した同家の見習助手鮮人朴道雲（一九）にかゝる強盜強姦事件の公判は十七日午後三時五十分より大連地方法院長島裁判長係で傍聽禁止裡に開廷された、事實審理の結果立會高井檢察官は被告に懲役十二年を求刑、これに對し渡久山官選辯護人は「暴行を拒めば拒める狀況にあつた」と減刑論を主張した、判決言渡しは來る廿四日

故于氏初七日

滿洲國建國の元勳于冲漢氏逝いて十七日は初七日に當るので午後三時より黒石礁同氏邸に於て令息于靜遠氏始め遺族その他品川主計氏等監察院官吏等參列靜やかに法要を執行された

慶應優勝

【東京十七日發】法政決勝戰は午後一時三十分から法政先攻にて開始結局法政得點無く三A對零で慶應勝つ閉戰午後三時十分

法 000000000
慶 010000002A

高田せい子

高田せい子舞踊團は僚紙大連新聞の招きで十八、十九兩日に亘り協和會館において舞臺に立つ事となつた

百圓を獻金

大連第一中學校職員生徒一同は十七日大連署を通じ警察機建造基金に百圓を獻金した

岡部氏母堂

岡部平太氏母堂キタ刀自はかねて鄕里福岡縣糸島郡芥屋村新町の自宅に於て療養中のところ十七日急に病革り死去した、尙葬儀は鄕里に於て營まれると

安樂椅子

職制改正、八年度豫算、鐵道問題と重要懸案も解決した今日このごろの滿鐵の長閑さつたらない、林總裁、山崎、村上兩理事は新京へ、大淵理事は東京へ、竹中理事は旅順へ、そして十七日の重役出勤ランプは總裁の分丈けを殘して全部、黑。

…◇…

わけて毎日夜おそく殘業までしてゐた經理部の豫算係や、鐵道部の石原參事室、總務部文書課などはいづれも重荷を降した恰好で、ノーノーくとして日向ぼつこしてゐる。

…◇…

この長閑を狙つたか、小盜兒が涉外課室へ入つて奥村課長の價格二百圓といふ素敵なオーバーを失敬した、盜まれた時刻は、午前九時から午後五時までの間とあるから、これまた恐ろしくのんびりしたものである。

さすらひの 踊り子群

鳴動して來る

上海から奉天に、またダンサーの群が十七日入港の大連丸で滿洲に渡つて來た、奉天に新設されたダンスホールオリンピツクで働くんだがフイリツピンのバンドが一緒に支配人丸山繁正氏に引率されて上海らしい香をたゞよはしてゐる「奉天の新しいホールでウンと儲けて今度こそ足を洗ふの、まじめに踊る氣で居るわ」と朱唇をほころばす十七日夜行で奉天に向つた

四温日和 ＝十七日電氣遊園にて撮す＝

父重平儀豫て病氣の處療養不相叶昨十七日午後一時十五分永眠致候間此段謹告候也
葬儀は途中行列を廢し來十九日午後三時於常安寺執行可仕候尙故人の遺志に依り故島供花等の儀は堅く御辭退申上候
昭和七年十一月十八日
男 中村宗二郎
孫 中村莞爾
親族總代 山村寛
友人總代 高野茂義
森泉米吉

海と空と（30）

高杉晋一郎作　橋本清史畫

手紙（二）

「……裏切の只中にあつて、僕が僕等の受持つてゐた仕事と役割の完全な混亂、又官憲に依つて切斷されたあらゆる連絡の途絶の中に茫然座つてゐた時、僕の中に思ひもよらなかつた僕自身の眞のみぢめな姿が見えて來たのだ。その時そこに現れた思索の新らしい芽は次第に僕を苛めつゝ成長して行つた。さうして今は僕は僕の僞善から脱却して眞の僕に歸らうとしてゐる事が感ぜられる。一切は僞善であつた。さうして今僕は僕が小市民層意識以上の何物をも僕の中に獲り得てゐなかつた事が解る。否それ以上である必要はなく又それ以上であり得る筈もなかつたのだ。今は一切の僞善を棄やう。僕は個我に歸る。僕はスチルネルに歸らなければならないのだ。そこに少くも僕と云ふ人間の眞はあるのだ。

「勞働者にパンを與へよ」と血で以て叫ぶ聲は、勞働者以外から出て來るものではない、又勞働者が叫ぶだけで充分だと思ふ。そこには力があるだらう。僕等小市民が同情を寄せるに及ばないのだ。同情、その嘘を僕は今憎んでも憎んでも飽き足らないと思ふ。小市民層はまだ飯は食へるからだ。人間は正直に利己的である方がどんなに厭味がなくてよいか知れない。利己的な諸觀念は成程、私有財産的諸社會制度が人間に植えつけたものであつて人間本來のものではないかも知れない。然しそんなものが頭の中だけで清算されるならさうした理窟を説くマルキシズムそれ自身の自殺になるだらう。プロレタリアさへ彼等が勇敢に鬪爭し得るのは階級の爲よりもむしろ自分の爲なのだ「やれ、やれつ」と手を振りあげて叫ぶ時の無産大衆の意識は將來の社會意識からと云ふよりむしろ資本主義的な色彩たつぷりの意識からなのだ敢て云へば彼等は彼等のエゴイズムを勇敢に押し通して行けばよいのだ。

獨斷かも知れない。然し僕に今獨斷は何の痛痒でもあり得ない。どうせ正確な理論など云ふもののあり得ない世の中なのだ。甲と乙とが[illegible]

折衷した兩論が果して正統であり得やうか。絶對的な何の理論も結局はあり得てゐない古今東西の歴史の中で、ドグマだけが素晴らしい切味を持つてゐたと敢て云へるだらう。循環する思索の混沌の中で、精密な觀察を以て、物の兩面をとみかうみして精一杯の客觀を貴んで出來上つた理論が何の絶對的眞を傳へ得たらう。長をとり短を取ると云ふ風な氣取つた態度ででつちあげた正確な理論とやらの生ぬるい取澄ました顔よりも、僕は切味のよい獨斷を取らう……」

かう云ふ事は殆ど毎回の手紙の中で襄が繰返してゐる事だつた。言葉こそ違へ、つまり結局人間と云ふものは利己主義者であり、それを正直に表してゐる事が最も眞であるのだと云ふ風な事だつた。時には社會科學的に學理的に種々と理論つくめでそれを云つて來た。谷はこれを靜かに讀んで、苦惱の中にゐる襄が批判ばかりしてゐる樣で案外批判以内に混迷そのものゝ中にもがいてゐる點を明確に指摘してやつた。その返事に對して襄は挑戰するやうに再び谷の言葉を一々取りあげながら議論を持ち込んで來るのだつた。然し襄の[illegible]からの谷へ對する敬愛だけは決して失はない、と云ふよりもむしろ、かうして自分の苦悩を一々訴へて來ると云ふ事が谷へ對する敬愛を最もよく説明してゐると云つてよかつた。谷は飽くまでも冷徹にだが友愛を以て此の激しい襄の論に明晰な答辯をして遣るのだつた。襄の手紙はまだ續いてゐる。

「……友愛にした所でさうだ。土屋の懐しげな顔がいや味に見えた事を君はひねくれだと云ふが、ひねくれと云ふ事は少しも僕にとつてやつつけられた事にならぬ。ひねくれてゐなければ物の眞實は見えないのだ。僕が君にかうして手紙を書く事も決して友愛ではない。僕は僕にとつてかうした態度を吐きつける事が快よいからやつてゐるのだ。つまり僕自身のためにだ……」

滿日特選碁戰

第十二回　先相先先番　四段 長谷川章氏　三段 渡邊英夫氏

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

●四一タの十五　●四三ヨの十五　●四五レの十四　●四七タの十三　●四九ヨの十四　●五一リの三　●五三リの五　●五五ルの五　●五七チの七　●五九チの二

○四二タの十七　○四四レの十五　○四六ソの十五　○四八ソの十四　○五〇レの十二　○五二トの五　○五四ルの三　○五六ワの三　○五八リの二　○六〇チの三

—【3】—

對局者の感想

黑曰く　征がよいので白の模樣にそなへて上を粘ぐ定石を取りました

白曰く　四八で（ワの十七）に飛ぶのが定石ですが右方面に望みがないので廣い方へ出る策に出たのです

黑曰く　五三は如何でしたか（チの三）に打つてゐればおだやかなのですが

滿日柳壇課題

▽題　「新京」「腰」「當選」
▽句　各五句住所氏名明記の事
▽期　十一月二十日締切
▽賞　秀逸薄謝を呈す
▽宛　大連市能登町十高橋月宿

新刊紹介

▲國際知識（第十一號）リットン報告書（卷頭言）日滿議定書の解剖（信夫淳平）リットン報告書に就て（山川端夫）リットン報告書對策（末廣重雄）リットン報告書の法律的形式論（板倉卓造）リットン報告書と日本（西澤英一）一般軍縮會議に就て（永野修身）ソウエート對外經濟政策（鹽宮谷清松）國際聯盟展望、國際關係記事（編輯部）聯盟の活動（聯盟事務局東京支局）新刊紹介さして大熊眞氏の信夫淳平博士の「上海戰と國際法」の紹介があり、資料には軍備平等權に關する獨逸政府の對佛覺書及びフランス政府の對獨回答を掲げて讀者の研究の便に資することにした（定價四十錢、發行所東京丸の内二ノ十二國際聯盟協會）

▲性（十一月號）性的表情性的技巧の研究（澤田順次郎）性交と姙娠及び月經との關係（阿部喜一郎）夫は妻の性を啓發すべし（青柳有美）性慾減退と性的神經衰弱の療法（佐多芳久）子供から大人に至る性的變化（秋山尚男）少年少女不良化の實情（飯島三安）神經衰弱と誤り易い麻痺性痴呆との鑑別（前田珍男子）性的夜話（松本秀一）少年少女の犯罪と家庭への注意（保美勝藏）藝娼妓私娼の遊興調べ（草間八十雄）パリーの夜を彩る女（高木白羊）生殖器機能障害に對するホルモン注射に就いて（朝岡稻太郎）定價三十錢、東京市本郷東竹町三六日本體性學會發行

▲同仁（十一月號）支那を毒し列國を病ましむる國家思想（無平學人）滿洲國承認檄言（岩田英治）支那硯石文獻解題（飯島茂三）十年前（生島精渠）王韜基の怪火（松村雄藏）珍秘譚（岩本正樹）張天師拜訪記（桃谷文治）王道實踐論に對する質疑者に答ふ（野滿四郎）青島醫院研究學見聞記（中島義雄）この外、外紙上のリットン報告批判、生阿片に關する各種統計、英文「中國醫史」紹介（調査部）長髮賊（梅外山人譯）の小説等がある（定價二十錢、發行所東京市神田區北神保町三十番地同仁會）

▲農業の滿洲（十一月號）作物の收量に及ぼす灌漑試驗成績（村越信夫）日本農業の將來と滿洲の養蠶（湯川秀夫）滿洲に於ける稻イモチ病の發生とその防除（高杉英男）世界に於ける滿洲産（對大野美治、村越信夫）營口地方に於ける蕎高粱の栽培（下見雄造）農談集（水野薫）滿洲特用作物の栽培―亞麻の卷（稻留帶刀）緬羊の飼育（伏見覺）定價三十五錢、發行所大連市紀伊町八十五番地滿洲農事協會

▲キング（十二月號）附録の一「昭和イソップ」は現代人の生活から、イソップ式寓話を發見したもの十八篇、どの篇も頗る氣が利いてゐて、寓意、諷刺の鋭さは天下一品、雜誌讀物の面目さも、こゝいらが本當の親ひであらうと思はせる、附録の二「各種職業成功繁榮實際談」新載物では短篇傑作が五篇、加藤武雄の芝居小説は「野崎村」中間物だが「馬賊の監禁、脱出實記」「兵隊婆さん涙の手記」「冒險實話大熊と組打つ」などどれも捨て難い味に富むものだ

けふの放送

大連　JQAK

十八日自午後六時

健康週間の夕

▲ニュース
▲挨拶　大連市長小川順之助
▲講演「乳幽に就ての母の注意」關齒科醫院長關利重
▲同「豫防の出來る眼病」大連醫院醫長醫學博士船川尤三
▲合唱「文部省體育運動歌」（保健に關する音樂）（イ）榮えゆく（ロ）高鳴る血潮（ハ）若き者、滿鐵音樂會演奏部員、伴奏マンドリンオーケストラ、指揮高津敏
▲講演「扁桃腺炎の症候と手當」醫學博士森本辨之助
▲同「梅毒の話」大連醫院醫長醫學博士柳原英
▲ラヂオドラマ「青空」木村正作（小島章）同フサ子（澤見薫）中尾實（伴太郎）外に子供大勢、效果水島玲子、放送指揮志野羊吉
▲挨拶　滿洲日報社營業局長佐賀秀雄
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

東京　JOAK

十八日自午後六時三十分

▲講演「滿洲の金融と經濟事情に就て」滿洲中央銀行副總裁山成喬六
▲新絃樂（七時）高峰バンド
▲ピアノ獨奏（七時三十分）一、ロマンス（諸木三郎作）二、前奏曲第二（服部清作々）三、即興的樂詩曲（山本直忠作）四、自翁の唄（宮原明朗作）五、たそがれの端緒（伊達昇作）六、濱の踊り（清瀬保二作）出演者未定
▲獨唱と二重唱（七時五分）湯淺永年、櫻井京、ピアノ伴奏吉原規
▲獨唱（湯淺永年）濱の入江（吉原規作）二獨唱と二重唱（湯淺永年、櫻井京）雨の日（吉原規作）
▲管絃樂（八時五分）（新交響樂團練習所より）ロウマン組曲（御厨庄吉作）（一）マヅルカ（二）夜奏曲（三）假想曲（四）タランテラ、日本放送交響樂團、指揮山本直忠

雜誌

現代（十二月號）
◆「議會主義に依るファッショ」（五來欣造）「リットン報告書を吟味する」（町田梓樓）「松岡洋右氏を語る」（三名士）「當面するジエネバの問題」（淸澤洌）其他、論説に相當センセーショナルなものを集めた「非常時日本の百人物」「發明工夫自力更生金儲け體驗實話集」
◆「ユーモア傑作集」（五篇）「漫文漫畫歳末悲喜劇」（八篇）「新作落語初戀打明け座談會」など特に面白い

幼年倶樂部（十二月號）
組立ての「四十七士の討入り」を附録とした「俵星玄蕃と杉野十平次」「拳骨和尚」「ナポレオン」など幼年讀者向が多い、口繪、寫眞、其他編輯ぶり、子供雜誌として評判がよい

少年倶樂部（十二月號）
「空の快男兒號」として飛行機と鳥人を中心としたもの、附録には「動く高射砲セット」がある「我が陸軍の大威力」「空の二勇士物語」「世界飛行グラフ」など空に關する記事、寫眞、繪畫が見事だ「大東の鐵人」「青空に歌ふ」「エミリアンの旅」「わんぱく時代」「萬歳栗毛」「地底の都」など連載もの

少女倶樂部（十二月號）
新年號豫告で仲々賑はつてゐる附録は「筆立セット」一組其他に美しいクリスマスシールもある「鬼子母解脱」「早く來い／＼お正月」連載讀物以外「孝行馬子唄」「三人主税」「サンタロース」「さはらぬ板」「大石「愛犬エリ」などの面白い讀物が多い

講談倶樂部（十二月號）
「海妖傳」「不破數右衛門」「呪の假面」「魔の列車」「清風莊事件」「心中背庚申」「心の太陽」「妖異」「人生初年兵」「名聲病む」
◇中間讀物には「勤王藝者君尾」「明治逸話集」「人氣作家趣味くらべ」「新進花形評判グラフ」

雄辯（十二月號）
◆「日本若し孤立せば」さいふ表題を掲げた座談會がまつ先に眼立つ
◆リットン報告に報ずる列國の論調と日本の決意（八滿不泥）重任を負うて壽附に使する辯の人・腕の人・腹の人（北公治）次々に起る大問題（千葉龜雄）等々の時局ものに次で「人を見て法をさくコツ座談會」「雄辯軌範人生は一場の劇」加藤咄堂）（誌上公會演説會）其他本社獨特の辯論記事も捨難い妙味がある

富士（十二月號）
「きさらぎ九平」や「禍國定忠次」は大團圓「晴曇」は更に曲折波瀾を生んで來年號へ繰越し「東京哀歌」「伊達事變」「薔薇色の道」と見逃せぬものは依然多い、師走の蔵拂いでもあるまいが、讀切ものがドッサリ、その中で幹彥の「夜の酒屋」上海事變實話、飛行將校と女間諜物語といふ光彩陸離たるもの、愛國の「暁の黎明」「默禪の「義士と紀文の男競へ」も結構だが、探偵實話「尼僧寺の怪異」の凄味、村松梢風の「浮世草紙」のいなせ共に擬らな、面白い

(夕刊)　明治卅八年十二月十五日 第三種郵便物認可　昭和七年十一月十八日　夕刊　(金曜日)　第九千五百四十七號　(一)

滿洲日報

十一月十七日發行

支那當局の要人間に滿洲放棄論有力
たゞ面目の保持を考慮

最近聯盟自體も日本側の拔くべからざる固き決心と滿洲國の次第に鞏固になりゆく基礎および、如何にしても原狀回復の望みなく、加ふるにアメリカ大統領の選擧によりルーズヴエルト氏の當選を見、その東洋政策の變更も想像されて來た、この世界各國の空氣を觀得した支那要人中には滿洲の放棄說を唱へるもの次第に多くなつたが、たゞ支那從來の面目の保持のみが現在の問題になつてゐるとの報あり、一方蔣介石は藍衣社運動に熱中し事實上滿洲を張學良に任せ切りにしてゐるのを併せ見れば支那の對滿方策に變革を來したのでないかと見られ注視されてゐる【新京電話】

わが松岡代表一行は愈よ十八日壽府入り
直ちに訪問、聲明、會合

【ジユネーヴ十六日發】パリで我全權團と聯盟對策につき重要打合せを遂げた松岡代表一行は愈々十八日午前七時晴れのジユネーヴ入りを行ふので、之に對し留守役の帝國事務局長伊藤述史氏等は早くも諸般の準備を整へてゐるが、松岡代表は旅裝を解く間もなく十八日中に聯盟事務總長ドラモンド氏を始めイギリスのサイモン外相、アメリカのデーヴイス氏其他各國代表を訪問し、次いで午後五時よりメトロポール、ホテルでパリと同樣の形式で外人記者團と會見し同時に聲明書も發表する豫定である、十九、二十兩日は內部の打合會議が頻繁に開かれるが、十九日午後は會議關係の日本人全體に記者團も加へ七、八十名が一堂に會しお茶の會を開き日本人全體の內部的協議を行ひ結束を固める筈でジユネーヴの空氣は著しく緊張して來た

審議手續に關する日支意見相違
理事會で激論を見ん

【ジユネーヴ十六日發】聯盟理事會は二十一日より開會されるが、開會と同時に忽ち日支兩國代表の間に紛爭審議の手續き問題につき一大激論が闘はされるだらうと見られてゐる、卽ち支那側が「理事會は日支紛爭事件を取扱ひ報告書を審議すべき權限なし」との疑義を有してゐる事は前回の理事會でも屢々主張聲明した所で支那側は依然この見解を奉ず日支問題は十九ケ國委員會乃至特別聯盟總會でなさるべきだとし、その實現に努むべく、一方日本代表は臨時總會の日支問題審議を認めぬ立場から十九ケ國委員會による審議も認めず飽く迄理事會で問題の目鼻をつけしめやうと奮闘するだらう

支那代表部の陣容
既に各方面と接觸努力

【ジユネーヴ十六日發】聯盟支那代表顧維鈞、顏惠慶、郭泰祺は既にジユネーヴに到着し、各方面との接觸に努めてゐるが、支那側では理事會に顧維鈞が出席し、總會には顏惠慶が出席するに決定してゐる、而して三代表何れもホテル住居を避け家を借りバラ〳〵なのも支那式で事務所は設けてゐるが內部では頻繁に會合を開いてゐないのも面白い現象だ、三名の外主なる顏觸れは外交部參事金問泗、前亞細亞司長沈觀鼎である

佛首相も出席する
長岡大使招宴に

【パリ十六日發】フランス首相エリオ氏は我長岡大使主催の明日午後一時の大使官邸の午餐會に出席の旨回答して來た、都合つけば陸相ボンクール氏その他二、三閣僚も出席する模樣である、しかしエリオ首相目下の立場は松岡代表との積極的懇談を困難ならしめてゐるとは各方面の認むるところで結局日佛關係に更に大なる何ものかを加ふべしとは豫想されてゐない

擧國一致的聲援を送る
わが各政黨總裁放送

【東京十七日發】來る二十一日は滿洲問題に關する國際聯盟理事會が開會される第一日なので、放送局ではその日を期し遠く內地より擧國一致的聲援を送るべく各黨總裁の演說を放送する計畫を立て鈴木政友會總裁にも出演を申込んで來た、總裁は山口幹事長にも相談の上何分の回答をなすこととなつてゐるが、大體承諾することとなるであらう

考查部案は不徹底
更に權威ある機關設置が必要
樞府委員會の方針

【東京十六日發】考查部設置に關する樞府審查委員會は十六日午後一時再開、政府原案修正につき協議の結果、今日の如く國際關係重大の際外交の刷新、外交機關の改善は緊要なるを以て樞府としては政府の考查部設置には同感だが政府案では不徹底でその目的を貫徹し得ぬ、故に政府は右の如きものでなく權威ある機關を設け外交刷新を圖るべきだと云ふに意見一致し右を政府側に傳達し政府自ら同案を撤回し政府の意思に基き之に代る新案を改めて再御諮詢の手續を執られたい旨今明日中に交涉、その結果を俟つ事とし午後二時四十分散會した、樞府の權威ある機關とは寺內內閣當時の外交調查會の如き民間よりも權威者を入れた機關といふ意味も含まれてゐるやうである

【東京十七日發】外務省の考查部案に對して樞府側の意向は原案は外交の刷新を期するためには小規模に過ぎると爲し、寺內內閣時代の外交調查會の如き機關の設置を要望してゐるが、右に對して外務當局は

一、今回の考查部案は外務省の事務的缺陷を補ふ目的に出たものに過ぎぬ
一、寺內內閣時代の外交調查會の如き屋上屋を重ねる外交政策決定機關の設置の必要を認めない

との建前により右立案の趣旨は樞府側にも諒解されてゐるから原案は多少の修正を免れずとするも通過し得るものと樂觀してゐる、しかし萬一樞府側が外交調查會案を固執する時は原案撤回の已むなきに致り、外務當局の責任問題を生ずるのでその場合には文部省における文政審議會の如き諮問機關の設置を考慮すべしとの意見も一部に行はれてゐる

選擧法改正成案
十八日に審議會總會

【東京十七日發】選擧法改正に關する法制審議會主查委員會は十六日小委員會において決定した選擧肅正委員會設置の件を最後として比例代表制及び選擧區制改正を除く全項目の審議を終了し選擧法改正に關する要綱の答申案を作成したので、愈々來る十八日午後一時より首相官邸に法制審議會總會を開き平沼總裁以下全委員出席して審查委員會の決議を報告し審議が決すれば直に政府に答申することゝなつたが、主查委員會案の內には問題の選擧公營案、連座罰の擴張を始め其他の重要案件を含んで居り、これには各委員會に贊否兩論あるため議論は相當に紛糾し到底十八日一日では議了に至らぬものと見られる、而して內務當局としては選擧公營案に對しては反對の意向を抱いて居るも强[illegible]說を主張せず總會において多數を以て可決すれば答申に從ひ改正案を立案することに方針決定し居り、若し本案が通過すれば我國選擧界に大變革を來すので總會の成行き注目さる

丸山、鈴木兩氏中心の「時局座談會」
(6)

▲我社主催、十一日午後三時より、大連ヤマトホテルにて▲出席者、貴族院議員丸山鶴吉氏▲元代議士鈴木梅四郎氏▲高田友吉氏、上島慶篤氏、千葉豊治氏▲入江正太郎氏▲寶性大連新聞社長、西片滿洲報社長、伊藤滿鮮社長、高橋滿蒙評論社長、石谷滿洲公論主幹、篠崎奉天新聞支局長、由井ケ濱滿洲タイムス社長、杉山奉每副社長、名村大每支局長▲石村ジヤパンタイムス支局長▲高見成氏▲松山本社長、細野編輯局長その他本社員(順序不同)

鈴木氏 私はそれに對してお答へする資格はありませんが、假にお答へする資格あるものとしてお話しすれば、これは國を憂ひ國を愛して居る者の立場として我々同志の間の意見であるが在滿の日本人諸君は「日本の政治家實業家の間にはこの對滿問題をどう考へて居る」かといはれる。これは成程御尤もであります、が併し先づ實業家の側から考へて見ますると、元來資本といふものは一番臆病なもので……凡そ世の中で臆病の大將はこの資本といふ奴でありまして、資本が外に出るやうになりますにはどうしても「安全」といふことが第一の條件になります

◇

次に國民全體の考へをいひますと、日本が滿洲と共同して所謂共存共榮により大陸に根據を得て、日本の足りないものはこれを滿洲に仰ぎ、また一方餘りあるもの、卽ち學問なり技術なりを滿洲に持つて來て、此處で一つ歐米に劣らざる立派なものを仕上げやうといふ希望を持つてゐる、これは日本の志ある者は皆考へてゐる處である、資本あるものも決してその考へには反對してはゐないのであります。併しながら愈々現實に金を出して仕事を始めるといふことになれば過去の歷史に徵しても今までの滿洲にインヴエストした仕事が殘らず成功して居ない。

その前例からすると成績は寧ろ惡い例が多いのである。故に未だ治安維持が充分出來ない間に內地から資本を續々抱へて來て仕事をするといふことは、無論これは躊躇するのが當然であります、去りながら冷淡であるかといへば冷淡では決してない、日本だけの物資では歐米と對抗して何をするにも面白くいかぬと考へてゐる。例へば紡織業の如きについて見てもその技術の點においては殆ど世界一であつて何處と比べても決して敗ません、そこで現在英國へ對しても米國へ對しても日本の商品が相當出てゐますが、しかも所謂關稅問題でこれが阻止されつゝある、そして各國のその政策がだん〳〵辛辣になつて居る。

◇

さればこれは矢張り滿洲が早く安定を得て、そして此處に日本の餘れる商品を送り出すのは無論の話、一方滿洲から原料の供給をうける事にする。更に進んで一般外國投資も誘致しやうさいふ希望があるがこれも尤もである

かういふ次第で內地の資本家は滿洲につき元來は決して冷淡ではないと思ひます。只日本內地から見ると現在の狀勢は未だ〳〵投資上危險だといふ懸念が充分にある。かゝる懸念は單に投資方面ばかりのことではありませぬ、一般的にも未だ非常なもので、現に私が新京まで行くといつても友人たちの中には「どうか用心して行くやうに……」と異々もいつて與れる。

內地ではその位に思つてゐるのです。いづれにせよ、私は現在日本內地の實業家乃至資本家が滿洲に對していろ〳〵の期待若しくは希望を持つてゐることは事實だとお答へして差支ないと思つてゐます

◇

次に政治家の方面では私はまあ……しかし今日は一つ立場を換へて政黨政治の立場とは別な意見をもつて居るのですが……いづれにせよ滿洲といふものに對しては日本が此處まで踏み出して來た以上はこれを飽まで徹底せしむるより外はない、と百パーセントの熱情を持つて滿洲問題を考へて居る者が尠くない、殊に政治を理解して居る人は誰でも完全に滿洲國と共に攻守同盟の實を擧げるといふことに强い熱情を皆有つてゐるのである。吾々同志の感情を代表していひましてもまアさうお考へ下すつて差支へないと思ひます。

海外支拂節約
節約協議會で決定

【東京十七日發】十六日の政府の海外拂節約協議會は國債利拂、滅債基金撥還の如き義務支出は已むを得ぬが、物品購入は出來る限り國產品によつて爲替低落の損失を避けることに決定、その品目をも定めたが、それでも本年度政府海外拂豫定總額は二億六千九百九十萬圓と昨年度より六割五分八厘を增加してゐる

懸案審議
技術局關係
滿鐵重役會議

滿蒙資源開發を目標として滿鐵が着々計畫を進めてゐる製鋼、硫安、大豆油工業、石炭液化等各方面の代表者である斯波顧問(硫安、製鋼)水谷顧問(石炭液化)佐藤正典(大豆油工業)の諸氏は期せずして十八日入港のうらゝ丸で同伴歸連するが技術局では直にこれ等の諸氏を中心にして懸案問題について種々今後の打合せを遂げる筈であり、なほ八田副總裁の歸連とともに斯波顧問、富永製鐵部次長を加へて昭和製鋼所、硫安工場問題について重役會議が催されるべく、佐藤正典博士は關稅問題その他についての內地との交涉結果を、水谷顧問は德山燃料廠における石炭液化の試驗結果をそれ〴〵正副總裁に報告することゝなつてゐる

かくて八田副總裁はその上京にこれ等の問題についての滿鐵としての態度を決定し、東京での資金調達に大活躍を開始する筈で鐵道問題、職制、豫算も一段落を告げて一息の滿鐵重役會議もこれ等諸代表の歸連と共に再び副總裁上京まで活氣を呈することゝなつた

滿鐵豫算案說明
滿鐵幹部全權部訪問

滿鐵村上理事穗積技師一行は十六日朝八田副總裁は十六日夜、山崎理事、市川經理部次長等は十七日朝何れも新京着、ヤマトホテルにおいて打合せの上午前九時八田副總裁、山崎理事、市川次長等は全權部に赴き來年度豫算及び近く發表を見んとする職制改正その他重要案件につき說明報告するところあつた、なほ村上理事、穗積技師等は主として鐵道の經營組織變更等新職制案について詳細說明したが滿鐵幹部一行は何れも一兩日滯在引續き全權部と協議する模樣である、なほ滿鐵理事公館は西公園內に來年解氷期をまつて宏壯なる建築をなす筈だが、新築全權部と隣合せの場所が選定されてゐる、因に八田副總裁、山崎理事一行はヤマトホテルに、村上理事、穗積技師一行は中央旅館に投宿中である【新京電話】

張學良再び漢口へ

【上海十七日發】十六日張學良が密かに來滬したとの說が各方面で喧傳されたが、右は全く事實無根で確實な筋の消息によると學良は昨日午前十一時何應欽、葛敬恩、宋賓清等要人の歡送裡に飛行機にて漢口へ向つたと、同地で蔣介石と再會見した上直に歸平する筈である

佛主力艦を建造
イタリーも之に對抗

【ロンドン十五日發】デーリテレグラフの海軍記者は本日同紙においてフランスの主力艦ダンケルク號建造につき左の如く報道した

フランスは國際主力艦休日を終了するに決し本日巡洋戰鬪艦ダンケル號の建造を命じた、右は二萬六千五百噸、十三吋砲十八門を備へこゝ二十年來初めて造られたフランスの主力艦であるなほイタリーも之を凌ぐ戰鬪艦を建造するはずである

滿洲の農業經營に努力
大谷光瑞氏談

【門司十六日發】滿洲農業經營を研究中の大谷光瑞氏は十六日朝商船うすりい丸で門司に入港したが語る

滿洲には將來大石橋以北の小麥奉天以南の棉花栽培が有望で、小麥はカナダの品質に匹敵する自分は來年早々本據を滿洲に移し大いに農業經營開拓に努力する積りだ

フランスの新銳驅逐艦進水

【フランスデユンケルキユー發】かねてフランスのデユンケルキユー造船所において建造中の新銳フランス驅逐艦「ボークラン」號は過般略ぼその艤裝も終つて盛大な進水式を行つた、速力において攻擊力、防禦力において最新最大の裝置をなしたと言はれてゐる【寫眞は「ボークラン」號の進水式】

再復活要求最後決定
けふの大藏省議

【東京十七日發】大藏省主稅局と各省との間に交涉中であつた明年度豫算再復活は略細目の纏まりを見たので十七日午前十一時から藏相官邸に豫算省議を開き

一、陸海軍省に割當てられた九千五百萬圓の復活の內容
一、他の九省に割當てられた二千二百萬圓の復活承認の費目及びこれに追加された約二百萬圓の承認費目

等につき最後の決定を行ひ十八日の閣議に提出すべき大藏省の豫算原案全部を決定することとなつた

幼年學校の生徒增員
兵備改善手段

【東京十七日發】陸軍では兵備改善は優秀幹部の養成にありとの觀念よりその方法につき鋭意研究しその第一手段として陸軍幼年學校生徒募集人員を現在の七十名を百名に增加するの案を練り近く省議に附議、關係方面の承認を得れば直に實施し得る手筈を定めてゐる

練習艦隊兩艦

司令長官百武少將麾下の練習艦隊「磐手」「八雲」の兩艦は來る十二月十日大連入港、十四日旅順に出航の豫定であるが乘組員は約千五百名である

人事

うらる丸 十八日午前八時二十分大連港外着豫定

▲淸水本之助氏(關東廳土木課長)十七日午前九時發新京へ
▲森本勝巳氏(關東廳[illegible]課長)十七日午前八時着新京より來連
▲寺崎英雄氏(監察院審計部長)同上來連遼東ホテル投宿
▲寺坂亮一氏(四洮鐵路管理局車務處長)同上
▲友松退藏氏(臨時呼海鐵路建設事務所工務課長)同上
▲マイヤース氏(奉天アメリカ總領事)十七日出帆長平丸にて北平へ
▲チゲス氏(同獨逸總領事)同上

蛇角

全滿官民定期懇談會、第一回の試み成功。

◇

邦人の滿洲議會ともいふべく、健全な發達を期待す。

◇

席上、武藤全權は「人の和」を小磯參謀長また「軍民融和」の要を說く、共に體すべし。

◇

政府立案の考查部が樞府のお氣に召さぬ、その理由は老人連の繩張がないから……?

◇

但し、考查部不徹底說は贊成。

◇

松岡代表ジユネーヴ入り、千兩役者は檜舞臺へ。

◇

イヨー滿洲屋ア……といふ程國民の氣分に餘裕はないが。

◇

大連醫院給血者不足に困る、何なら高利貸をお雇ひなさい。

滿蒙の戰慄 (156)

直木三十五作
淺枝次朗畫

再生 (八ノ三)

「ふむ」
「それで、泣いてたの」
「ふむ」
「何うしたらいゝでせう」
中手は次の新聞をとつて
「そうだな」
と、氣のない返事をしてゐたが新聞をよみつゝ、煙草をつまんで
「ふむ」
麗は、マッチをつける力もなく
(中手さんにも、矢張り、智惠が出ないらしい、誰だつて、お父さんが惡うて、罪になるときまつてゐる事なんだから)

と、思つて、うつむいてゐた。
「お母さんに話した」
「いゝえ」
「ぢやよかつた。暫く、默つてゐた方がいゝよ」
「えゝ」
「僕は」
と、いふと中手は、新聞を離して、麗をぢつと見て
「執行猶豫になると思ふが」
「なるでせうか」
「そりや、斷言はできん。斷言は出來んが、お父さんが、決死の觀ひをして、自殺をしたりだね、叉その覺悟がだ。明かに、自分の犯した罪を懺悔するためにやつてゐることだし、叉だ。その犯した罪だつて、決して、自ら進み、自ら企てた事でなく、たま〳〵さういふ家へ行つて、やむなくやつた事なんだから、本人が十分に、悔悟してゐる以上、案外に輕くはないのかね。それに、軍部の人々が、相當有利な證言をしてくれてゐるらしいからね」
「えゝ」
さう聞くと、少しづゝ、麗は、父の周圍が、明るくなつて行くやうにおもへた。父の周圍が明るくなると、自分の心も、輕く、明るくなつて行つた。
(矢張り、中手さんを起してよかつたわ)
と、思ひながら
「本當に、さうだつたら」
「大底、さういふ事になるとおもふね」
「妾、執行猶豫にでもなつたら、何うしやうかしら、本當に救はれるわ」
麗は、心の中で、父がさうなつた時には、自分の體も幸福になれる、と思ふと
(きつとさうなるわ。いゝお父さんだもの)
と、神に呼びかけたくなつてきた。
「お父さんも、お父さんだね」
と、中手が呟いて
「手紙一つくれないとおもつてたら、相當に、苦勞をして」
そう聞くと、麗は、父の事が叉戀しくなつてきた。
「妾、滿洲へ行つて來やうかしら」
中手は、それに答へないで
「心配しない方がいゝよ、お母さんにも、默つてれ――僕はきつとそうなると信じるが――」
と、云つて、中手は、うつむいて、しづかに煙草を喫つた。

非戰闘員の引揚げは近く蘇から回答
滿洲里の露國領事から督促中
マ市で日露領事會見

十三日發大谷副領事電によれば在滿洲里ソ聯領事スミルノフ氏は小松原交渉員一行の需めに應じ書記生を帶同しマツエフスカヤに行き會見を行つた、その際大谷副領事は交渉員の資格で臨席した本會見において大谷副領事は蘇炳文がスミルノフ領事に約束した戰鬪員の引揚が一部のみに行はれ、殘餘の者は今なほ停頓してゐるのは如何なる理由なりやとの質問をスミルノフ領事に發したるに同領事はこれに對し「本問題については十一日蘇炳文側に督促したところ二三日中に確答すべき旨答へた」ついで大谷副領事は殘餘の邦人食料品補給のため自分の手許に食料品が到達すべしこれを貴官あて送付するにつき然るべく山崎領事に届くるやう依頼するところがあつたスミルノフ領事は日本側の依頼がありしため昨日在バイカルのコペラチイブより米砂糖などとりよせ山崎領事に送りたる例もあり喜んで御希望に添ふ意思を有して居り蘇炳文の諒解を得て食料補給の事に關しては及ばずながら盡力する旨傳へ無事散會した【新京電話】

死刑か無罪か岐路に立つ石少年
證人の喚問から血液檢査申請
兒玉町殺人事件公判

眞犯人か、冤罪か、幾多の探偵小説的材料を提供して興味を集めてゐる西崗子公學堂生徒石本棍(一九)……長島裁判長係り開廷された、傍聽者は早朝から詰めかけ定刻法廷傍聽席は超滿員前回公判で

被告

が警察、檢察局の陳述を覆し徹頭徹尾犯行を否認し滅茶以て冤罪を主張するに至つたので遂に證人として被告父石珍玉(四九)被害者の夫滿鐵社員戸田政人氏被告を逮捕せる大連署刑事吉岡銀三氏等の喚問を見裁判長は先づ慘殺されたマス子(三)の夫戸田氏から訊問に入り

戸田方の家計狀態被害者の金錢使途等を尋ね「妻が死後朝鮮銀行券で二十圓紛失してゐることを發見しました」と被告の書籍の中から發見された二十圓券の疑問に對し解決を與へた

次いで被告の父石珍玉の訊問

事件

のあつた當日息子(被告)は病氣で公學堂を休んでゐました私も驛の勤務の非番であつたので家で寢てゐたところ午後一時三十分頃と思ひます、附近の坪井さんの奧さんが戸田さんの奧さんが殺されてゐると知らせて來たので驚いて駈付けて見ると無慘な殺され方をしてをり私は戸田さんに急報すべく大連驛へ行きました二十分ほど經て歸つて來た時は息子は母親に起されて附近の人々と一緒に戸田さんの前で警察官の活動などを眺めてゐました

この時裁判長は被告が自分のものでないと主張してゐる問題の血痕附着の學生服を示し「これは

誰の

服か」との問ひに對し證人は

私が息子に買つて與へた服であります

と被告に不利な證言をなし、更に犯罪現場附近の共同風呂の前に落ちてゐたといふ鮮血附着の壓紙及び二十圓紙幣とを示し「これを知つてゐるか」との問ひに對し壓紙は自分の家で使用するものでない二十圓紙幣は自分の關知せぬものであると答へた、裁判長は更に被告が服の血痕は本年四月頃喧嘩した際頭部を負傷しその際附着した血痕であると申開きしてゐる事實に對し證人は

服の

血痕がその際附着したものであるかどうかは知らぬが張榮德といふ男と喧嘩し頭部を負傷した事實はあります

この點被告に有利に證言、最後に吉岡刑事の喚問に移つたが事件發生から犯人逮捕に至るまでの經過を述べ事件解決の鍵を握る壓紙、ハンカチ、學生服に附着してゐる血痕に對し押收した當時は何れも生々しいものであつたと最も被告に不利な證言を與へ更に被告が捕へられた時右手に被害者から抵抗されて負傷した

生傷

があつたと寫眞を提示して眞犯人説を主張した、この時竹田辯護人は

本件は一件記録を通じて見ても證人の證言によつても疑問の節々が多々ある、死刑か無罪かの重大な岐路に立つてゐる被告のため充分防衞の策を講ずる必要がある

と學生服、壓紙に附着してゐる血液型と兇行に使用した刺身庖丁に附着してゐる血液型との鑑定及び刺身庖丁の指紋と被告の指紋照合とを申請した、これに對し立會井關檢察官は

本件は充分證據が具備してをり殊に被告の學生服の二ツ目ボタンが夫人慘殺の部屋に落ちてゐた點から見て一點疑問の點なしと證人申請の却下を希望し合議のため午後一時休憩、午後二時から續行の筈

滿倶球場物置に不良が巣喰ふ
昨夜五名を一網打盡

最近市内中央公園町滿倶球場音樂堂裏物置き小屋に得體の知れぬ邦人數名が寢泊りしてゐるのを沙河口署員が發見十六日午後十一時ごろ同署の阿部刑事の一隊が音樂堂を襲つて就寢中の五名の邦人を引致して取調べた結果その内かれて奉天署より手配のあつた奉天稻葉町六番地小谷健吉の依頼で去る八月十七日關東軍炊事請負大矢組より書類及び現金五十圓を受取つて姿を晦ました神奈川縣生れ府川正雄(二〇)等何れも札付き連中と判明留置引續き取調中

國境出動隊
原隊歸還
滿期除隊

【京城十七日發】去る六月國境の不安に驅られて出動以來新義州守備隊に配屬し勳功輝かしき龍山歩兵第七八聯隊○○○名及工兵二○大隊○○名は滿期除隊のため十八日午前七時四十五分龍山驛著原隊に歸還することゝなつた

水上署の留置場で不逞鮮人縊死
去る五日上海から英船で入港
浮浪罪で取調べ中

殿軍監視のうちにある水上署留置場において奇怪な不逞鮮人の縊死事件が惹起し十七日朝來、水上署内は緊張した慌だしい空氣に滿されてゐる、去る五日上海より入港の英國船南昌號臨檢の際、高等係床島特務は擧動不審の四等客を認めその姓名住所をたゞしたところ山東省濟南の支那人楊と答へたが言語の發音に不審な點を認め、かれてより上海天津方面の不逞鮮人の策動を警戒中だつたことゝて有無を云はせず本署に連行、嚴重取調た結果、同人は朝鮮京城府生れ李換光と稱し支那各地を轉々とし此の間獨立青年黨その他不逞鮮人仲間と來往してゐた事もあるらしくテッキリ大物だと同署では六日浮浪罪として拘留引續き取調を繼續してゐたが、たゞ奧地の友人を訪れるとのみ稱し頑として口を割らなかつた、十六日夜、折柄福田高等主任が當直なので午後十一時迄取調た上、一先づ二號留置場に還したが十七日午前五時二十分頃同人が廁の二尺位のひもで場内の窓の鐵棒に縊死を遂げてゐるのを見廻りの高橋、中村兩巡査が發見大騷ぎとなつたものである

横柄な態度で手古摺らす
相當の人物らしい

縊死を遂げた李換光(二七)はまた李會光とも稱し取調べの係官に對する態度も頗る横柄でいまだに朝鮮獨立を夢み、大言壯語をし、たとれてゐる、自殺の原因については全然思ひ當るところはないが、かなり年齡も行つてゐるし萬一の事を慮り遂に自決したものらしく使用の廁ひもの出所は未だに不明で何れかにひそかにかくしてゐたものらしい、なほ水上署よりの急報に接し檢察局より井關檢察官、香取醫師が十七日午前九時半來署、詳細當時の事情聽取の上檢證した

申譯がない
三澤署長談

右につき三澤署長は語る

殘念な事をしました、取調中色々しても濟みません、世間に對し報告を聞いてかなりしたゝか者であり鮮人不逞ルンペンと目星をつけたので福田主任にも氣をつけて充分調査する樣に命じてあつたのです、縊死の時間は判然としないが午前五時頃でそのです、發見と共に人口呼吸その他で大いにつさめたんでしたがそのまゝ縡切れたらしいです、時節柄さくに鮮人に對しては注意をしてゐたのでした、同人の所持品はトランク一個と所持金五、六圓位でした

……へば取調べに對しても急所々々に至ると口をつぐんで決して實を吐かず手古ずらせ不逞鮮人のルンペンで、どの程度の連絡があるか不明だが或ひは相當な人物ではなからうかと云はれ從つて同人がすべてを自白する前にしかも留置場において縊死さするが如きは警察界としてもすこぶる遺憾の極みとさ

盛大な鐵道部葬
故中山敏樹氏の葬儀

齊克線殉職社員故中山敏樹氏の鐵道部葬は十七日午後一時から神式を以て協和會館で執行されたが、定刻故人の肖像を前にして遺族、林滿鐵總裁、羽田鐵道部長代理以下各部次長、鐵道部各課長初め參列社員一同着席、定刻齋主の祓詞あり、大麻行事、獻湯行事、降神の獻饌と式は靜かな裡に進められ齋主縣島出雲大社中幹教の祭詞あり弔辭に移つた

先づ鐵道部長代理として羽田鐵道部次長靜々と靈前に進み哀調を帶びた弔辭を述ぶれば早くも參列者の席にすゝり泣の聲さへあり次いで林總裁、猪子大連鐵道事務所長、鄭社員會幹事長、矢野齊克線路派遣員代表、中川鐵道現業員代表、小野寺瓦房店地方事務所長、吉田鐵友會代表と何れも誠心を捧げた弔辭を述べて靈を弔ひ、弔電を報告この時齋主先づ玉串を奉奠し、羽田鐵道部長代理、遺族、滿鐵一般會葬者と順次玉串を奉奠し式を閉じたが哀しみと弔鐘の嚴かな氣分は終始場に滿ち鐵道部葬としてふさわしい式であつた(寫眞は式場)

遺族に護られ
けさ遺骨到着

去る十月二十日齊克線泰安驛附近において兇暴なる匪賊の襲撃を受けて壯烈なる殉職をなした滿鐵社員中山政樹、利光正路兩氏の葬儀は十七日午後一時より協和會館において鐵道部葬により執行せられ故中山敏樹氏の遺骨は白無垢の雪江未亡人遺兒長雄君(一〇)らを始め故人舍弟中山直樹、義弟石田義雄兩氏等親族及び田家驛まで出迎への猪子大連鐵道事務所長其他佐藤瓦房店署長等知人五十餘名に護られて十七日午前十一時二十五分大連驛着列車で到着した驛頭には羽田鐵道部次長、白井庶務、土肥人事兩課長始め稻川大連驛長齋藤知諸氏並びに鐵友會員等多數出迎へ遺兒長雄君にしつかり抱かれた今は悼しき人の姿に一入の涙を催さしめたが驛ホームで記念撮影の後滿鐵差し廻しの自動車で直ちに齋場協和會館に向つた

けさ傷病兵大連通過
旅順へ移る

鐵嶺衞戍病院にて治療中の鐵嶺病兵小尾大尉以下五十四名は今度旅順衞戍病院に移されることとなり鐵嶺衞戍病院一等看護官大仁一氏以下五名の手厚い看護を受けつゝ十七日午前七時大連驛に官民多數の出迎へを受けて到着した一同は直に驛集會室に於て在連婦人團聯合會の人々の優しい手で溫い朝食の饗應を受け特に十六名の重傷病患者は收容の寢臺車中に一人々々食膳を運ばれて懇な給仕を受け一同大喜びで同四十五分發列車にて旅順に向つたが午前九時十分旅順驛着直に旅順衞戍病院に無事收容された

天井から女の片腕

押箱から現はれた女の生首、死體の紛失、美倫の行方不明等、怪奇を極めた千葉縣下、尼僧寺事件の眞相が、雜誌「犯罪公論」十二月號に發表、實話だけに何處でも大騷ぎ。

家達公金婚式

【東京十七日發】貴族院議長德川家達公が泰子夫人と結婚の典禮を擧げて滿五十年十六日千駄ケ谷公邸では午後六時から金婚祝賀晩餐會が開かれた秩父宮兩殿下の高松宮同妃、伏見宮妃、久邇宮同妃五殿下を始め奉り德川一門の近親五十三名參集盛會であつたが、公は金婚式を記念し日本赤十字社濟生會東京慈惠會に各一萬圓、靜岡育英會千駄ケ谷町五小學校に各五千圓を寄附した

露碎氷船遭難

【モスクワ十六日發】十月廿四日他の僚艦と共にアルハンゲル港を出帆したソウエート碎氷船第九號は突然行方不明となり乘組員二十五名の安否氣遣はれてゐたが、十一月卅一日同船乘組員八名が死體となつたまゝ漂ふ救命艇を發見され死體は十一月九日アルハンゲルに埋葬されたが他の十四名も全部死亡したものと見られてゐる

野球場の主
土井氏が死去

野球場の主として知られて居た「いよ組」主人土井丈太郎氏はかねて聖愛病院に入院加療中十七日午前七時四十分急性肺炎を併發して突如死去した、葬儀は來る十九日午後四時より西本願寺に於いて執行する

東支時間を改正
南滿時間で列車運轉

東支鐵道では滿洲國政府の命に依り十七日から全線に亘り旅客貨物の運行時間を總て南滿時間に改正する旨十七日滿鐵々道部に入電あつた、なほこの結果東支南部線の旅客列車運轉時間は左の如く改正される

▲三列車　ハルビン發八時三五分新京着一五時三五分
▲十一列車　ハルビン發九時四五分新京着一八時三〇分
▲十二列車　新京發六時四〇分ハルビン着一五時一〇分
▲四列車　新京發九時三〇分、ハルビン着一六時一五分

市内映畫館、晝間解放
廿日に事變映畫上映と講演

二十日開催する全滿日本人時局大會實行委員が交渉の結果市内各映畫常設館では貸與提供を快諾したので當日は正午より午後五時までの間各館一齊に滿洲事變並に上海事件等の時局映畫を上映し左記委員が……それぞれ分擔して挨拶並に講演を行ひ氣勢を揚げる手筈である

▲中央館田中、今中▲映樂館小野、岡野▲日活館石田(貞)武田▲常盤座高塚、濱本▲寶館笠原、石田(榮)▲沙河口劇場鍋島、山葉

なほ各館とも夜間は平常興行に復すると

警察の自動車奉拜席に突入

【大阪十七日發】十七日午前六時五十五分大阪高津署交通巡査岡本知孝(三〇)が大二六〇〇號空車を運轉して大阪驛より府廳に歸る途中御道筋市電信濃橋交叉點日清ビル前で右カアーブを多く切り左廻りせんとした際急速度であつた爲め街路の打水でスリップし八尾高等小學校奉拜席に突入し同校四年生黑川イサ子外十三名の重輕傷者を出した

天氣豫報

十八日

北西の風晴一時曇、溫度降る

滿潮	午前零時四十分 午後零時四十五分
干潮	午前七時二十分 午後六時三十分

各地氣溫 十七日午前十一時

大連	一二	奉天	八
旅順	一一	新京	〇
營口	九		

けふの小洋相場(九時)

金百圓は 一一九圓三〇錢

聖上陛下還幸
大阪御發輦

【大阪十七日發】天皇陛下には陸軍特別大演習御統監並に地方行幸をこゝに御恙なく終へさせられ御機嫌麗はしく十七日還幸仰せ出され午前七時五十分行在所御出門大阪驛に向はせられたこの日御道筋は御名殘りを惜み奉り前夜より跪坐奉拜の民草を以て埋まり軍隊學童各種團員など嚴然として堵列する裡を自動車御簾にて本町筋を西へ午前八時大阪驛御着皇族各宮殿下をはじめ奉り奉送の文武高官に御會釋を賜ひつゝ御召列車に乘御、午前八時十分皇禮砲轟くなかを一路東京に還御遊ばされた

にかゝる人妻殺しの第二回公判は十七日午前十時から大連地方法院

第二回全滿健康週間

期間　十一月十八日より十一月二十四日まで七日間

旅大兩市の各種催し

全市民の健康診斷
日時　十一月十八日より一週間(毎日正午より二時まで、日曜日祭日午前十時より正午まで)
場所　旅大市内各醫院

市内各醫院の健康診斷

關東廳旅順醫院の健康診斷
日時　十一月十八日より一週間(毎日午後二時より三時まで、土曜日午後一時より二時まで、日曜日祭日は休み)

大連醫院の健康診斷
日時　十一月十八日より一週間(毎日午後二時より三時まで、眼科に限り午後三時半より四時迄、日曜日祭日は休み)

大連赤十字醫院の健康診斷
日時　十一月十八日より一週間(毎日午後二時より三時半まで日曜日祭日は午前九時より十一時まで)

大連聖愛醫院の健康診斷
日時　十一月十八日より一週間(毎日正午より二時まで、日曜日祭日休み)

全市民の齒科診斷
日時　十一月十八日より一週間(毎日正午より二時まで、日曜日祭日午前十時より正午まで)
場所　旅大市内各齒科醫院

患者無料投藥
日時　十一月十八日より一週間
場所　關東州藥劑師會及大連實業藥劑師會參加藥局

放送の夕
日時　十一月十八日(午後六時十分より)
場所　大連放送局

戸外デー
日時　十一月二十三日
場所　於旅大兩市

屋外宣傳
日時　十一月十八日及二十三日
場所　旅大兩市

けふ、第一日の幕開く
全滿一齊に健康、齒科診斷
旅大では患者に無料投藥

國家の重大時に當り、社會的重要なる意義を持つ本社の第二回「全滿健康週間」は十八日をもつていよ〳〵第一日の幕を開くこと〻なつた、旅大兩市始め滿鐵沿線、全滿在住邦人の健康診斷、無料投藥、屋外宣傳、戸外デー、專門權威者の放送等々…各關係機關總動員の後援のもとに本社の全機能を盡して企てたる健康週間である、この機會に全滿邦人は醫師の診斷をうけて自己の體質を充分知つていたゞきたい、國家の第一線に立つて活躍する我々は自分の體をよく知つて居なければならない、病を抱へて始めて醫師の門を叩くより平常醫師を通じて體質を知つておくことは保健法の最も根本なることは醫學權威の齊しく唱ふるところである、健康週間!この週間に邦人の一人でも多く健康診斷を受けられることを主催者側一同は切に希望して止まぬ次第である

何故の健康診斷?
大連醫院長 守中清

無病の 者、無病の藥を知らずといふ、本當に[illegible]である人は、また保健の[illegible]を馬耳東風に聞流すかも知れぬが、自己又は家族の一人が病氣にかゝると[illegible]く〳〵その[illegible]では居られない、否大した病氣はしなくても例へば現今のやうに就職の困難につれて何處の官廳でも、どの會社でも先づ健康の上にも健康の者といふ事で身體の強壯といふ事が採用の第一資格になつて居つては、單に自己一身のみならず、子女の保健に多大の思慮を致さなければならぬ體格檢査で自分は[illegible]まで病氣なした事はないと[illegible]した醫師に理窟を申出でられる人もあるが、他にもつと

強健な 人があるといふ事であれば選に洩れても致方はない、學問も技術も健康あつての上の事である、あたら英才も抱負も入學や就職の關門で堰止められては實に持腐れである、體が弱くて未來の光明が認められないとなると失望は自暴自棄となり思想の轉向はあらぬ方へと向き易いのであらう、そうした例は尠くないと曰れて居る、人は自ら健康と信じて居ても何時の間にか肺の病氣にかゝつて居る事がしば〳〵である、運動の選手と雖も油斷はならぬ、體の頑健と精力の絶倫を誇つて居る矍鑠の活動家で早くも卒中の用意が出來上がつて居る事もある、折角よいボーイや女中を雇入れたと喜んで居ても「トラホーム」の持主であつたりする、癩病は必ずしも常に自覺を伴はない、若し又現在病氣はなくてもこれにかゝり易い素質があり得る、病は體質と氣候とか[illegible]生活とかの樣な外的原因の他に體自己に內因即ち或病氣にかゝり易い先天的又は後天的の素質があつて起るのである、又現在の生活が後日疾病の

遠因を なしつゝある事もある、凡てこれらを知るにはどうしても時々の身體檢査、健康相談が必要である、醫學は病氣の治療ばかりが目的ではない、潜伏せる病原を探れ、發病の前徴を認めて適當の豫防を講ずること、進んでは常體の更に健康増進に勉める事が亦重要なる目的である、古人既に言ふ「聖人は已病を治せず、未だ病まざるを治す、已亂を治めず、未だ亂れざるを治む」と、願はくば健康診斷は眞面目に此の目的の爲めに利用せられむ事を

ラヂオの夕

プログラム
十八日午後六時四十五分開始

一、開會の辭 大連市長 小川順之助
二、乳齒に就ての母の注意 關齒科醫院長 關利重
三、豫防の出來る眼病 大連醫院醫長 船川尤三
四、保健に關する音樂 滿鐵音樂會マンドリン部員 滿鐵音樂會合唱部員 指揮 高津敏
(A)榮えゆく 文部省體育運動歌
(B)高鳴る血潮
(C)若き者
五、扁桃腺炎の症狀と手當 森本耳鼻咽喉科院長 森本辨之助
六、梅毒の話 大連醫院醫長 柳原英
七、ラヂオドラマ「青空」 志野半吉作
八、閉會の辭 本社營業局長 佐賀秀雄

開會の辭
強きこゝろと丈夫な體
小川順之助

國家の非常時に際し又自力更生が盛に叫ばれてゐる時に際して、日本の最も要求するところは強いといふことであります、強いためには健康保持が必要であり、健康保持には身體を丈夫にすることと精神の修養をすることが必要であります、即ち精神修養によつて常に潑剌たる元氣を保持し保健衞生によつて偉大なる體軀と長き生命とを保持し得るなれば如何なる生活如何なる事業にも邁進することが出來ます、この新興國の沃野を[illegible]發し日滿共存共榮の實を擧げるのも一つに強いといふことにかゝつてゐるものと思ひます、強きこゝろと丈夫な體……この一週間の健康週間を全滿的に有意義なる催しとして成功させたいと願つてをります、健康週間放送の夕に當り主催者側を代表し開會の辭にかへて一寸御挨拶を致したわけであります

乳齒に就ての母の注意
關利重

一般に衞生講話と名のつくものは堅苦しくてそのうへ解りにくゝて聽衆にはあまり歡迎されませんので私は次の項目に從つて肩の凝らぬ程度でお話して見るつもりです
一、乳齒の出齦時期と永久齒との交換
二、乳齒のムシ齒と顎骨の發育及び永久齒交換に及ぼす影響
三、齒列不正と顏貌
四、以上に對する母としての注意等
最後に小兒の齒牙清掃法に就いて述べて見たいと思ひます

豫防の出來る眼の病氣
船川尤三

トラホームは昨年之をトラコーマと譯すことに決定し大正六年來豫防法が決定してゐる、これは結膜がサラ〳〵する慢性結膜炎の一種で結膜結核、結膜癩、風眼等と同樣結局結膜に瘢痕を殘して癒する接觸傳染病である、而して放置するときは續發症を起して遂には盲となる例もかなりある、この病氣の自覺症は大體次の二つがある
一、所謂急性トラホームは急に眼がゴロ〳〵して眼脂が出て赤くなる(併し本當のトラホームでないと云はれてゐる)
二、時々眼がゴロ〳〵し或は眼脂が時々出る程度で極慢性に始まる
前者は直に氣づいて治療されるが後者は發見され難い、これ等の家庭に於ける豫防法は
一、使用人を雇傭する場合專門家につきトラホームの有無につき診察せしめて家庭に入れしめぬこと
二、家庭にトラホームの有無に拘らず手拭の混用をせぬこと
三、手拭は一週二三回熱湯を通じて洗濯すること
四、外出先より歸宅の場合就寢前必ず手の平手の甲を洗ふ習慣をつけること
五、洗面には必ず流れ出る水道を直接受けて目を洗ふこと
以上の注意が充分なれば傳染を免れる
近視眼については最近その原因に遺傳說が行はれてゐるが發育盛りの時期に細い近き仕事を過度にするとか眼球發育期にある子供が薄暗き所で本を過讀し腰ばひとなつて讀書したりすることは二十年前ドイツの或る學者の說を用ひてなした經驗に徵して〻素質ある者には一層注意を要する、今晩は更に老眼、遠視の區別及遠視による眼精疲勞の豫防法についても述べたいと思つてゐる

保健に關する音樂
滿鐵音樂會演奏部員出演 指揮 高津敏

滿鐵音樂會演奏部員によつて演奏される今夜の體育運動歌は文部大臣官房體育課が選定したものである、その主旨はまことに體育運動に伴ふ純眞なる精神、剛健なる氣宇を高調し、併せて我國民の意氣を宣揚せんとするにあり、廣く體育運動に關する集合行進並に海外遠征などの場合歌はれてゐる

體育運動歌
(A) 榮えゆく

一

榮えゆく
天つ御空の光をうけて
集へる我等の心は躍る
いざや、わが友
我等が身と魂
鍛へ磨かむいざ〳〵共に
皇御國の力となるまで

二

東海に
輝く日本の使命をうけて
伸びゆく我等の心は躍る

(B) 高鳴る血潮

一

高鳴る血潮
たぎりたつ力
おゝ、われら日の本の若人
競技の使命心に銘じ
日頃の鍛へこゝに試さん
潔きいのち、強きをほまれ
いざ戰はん、正しく雄々しく

二

かゞやく瞳
ふるひたつこゝろ
おゝ、われ等日の本の若人
榮あるその名、心にしめて
名に負ふ力こゝに示さん
潔きいのち、強きをほまれ
いざ戰はん、正しく雄々しく

(C) 若き者

一

若き者、いさましき者
地にさけび
地になごる
たゝかひのあらしのなかに
かゞやけりわれらのいのち
若き者、われら
いさましき者、われら

二

若き者、うるはしき者
地にたちて
地にかける
たゝかひのうづまくなかに
かゞやけりわれらのちから
若き者、われら
うるはしき者、われら

ラヂオドラマ 青空
志野半吉作

【配役】木村正作(會社員)……小島章 フサ子(正作の妻)……澤見薰 中尾實(木村の友人)…伴太郎 その他子供大勢 效果 水島玲子 放送指揮 志野半吉

【梗概】會社員木村正作の家は、妻のフサ子と娘兒の三人暮し……豐な生活ではないが、三人とも元氣で暮してゐる朗かな家庭です。

ある日曜日の朝、にぎやかな蓄音機の音樂がやむと、正作の新聞を讀む聲が聞えてきます。
フサ子「行つて來ますからお願ひしますわ、坊やはよく寢てゐますから……」
正作「早く歸つて來いよ、坊やは俺にがてなんだから……」
買物にフサ子が出ると間もなく坊やが目を覺まして、火のつくやうに泣き出します。正作は「仕樣の空は晴れてもホンなしだ、それにお前にがう泣かれては……」等と困りきつてゐるところへ、友人の中尾が訪れてきます。
中尾「俺の家庭はまるで穴倉のやうなものだ、俺達の人生は、夕暮れる秋の野道を行くやうなものだよ……」と正作の家庭の明るさをしみじみうらやみます。
買物に出てゐたフサ子も歸つてきて、友人久保田の家の事など話してゐるうち、中尾の悲觀の原因が、妻君の病弱にある事が木村夫婦にわかつて同情します。
正作「君の細君のやうだと少々體も弱いだらうが、そいつはまあ美人の妻を持つてゐる稅金だと思つてあきらめるさ……」
等とひやかしたりしますが、お互に「先づ健康」が人生の何より幸福である事を話合ひします。
フサ子「おそくなりました、何もありませんがお晝食などうぞ……」
坊やも目を覺まして家は又にぎやかになります。
中尾「いゝなあー、家庭の明るさが僕の目には、いたい程しみるよ……」
晝食をすまして皆で中尾の家に細君を訪問し、大いに元氣をつけてやらうと言ふ事を正作が云ひ出します。フサ子も賛成し、中尾は喜びます。
飛行機の爆音が聞えてます。
フサ子「あら……飛行機が飛んでますわ」
中尾「いゝ天氣ですなあ」
正作「さあ俺達も早く外に出やう我々はいつも太陽に向いて手をあげるのだ、うす暗い影に小さくなつてゐてはいけない、太陽をもとめる者は、いつも健康なんだ……」
どこからか「外へ外へ」の歌が可愛い少女の聲で聞えてきます

【寫眞右から志野、伴、水島、澤見の諸氏】

扁桃腺炎の症狀とその手當
森本辨之助

咽喉が惡いといへば直「扁桃腺だらう」と云はれるほど扁桃腺の疾患は一般的なもので殆ど咽喉の病氣の代名詞とされてゐる位です、冬の寒い季節、ことに寒氣の酷しい滿洲の冬季には特にこの扁桃腺が多いのでその症狀と手當法に就いて述べるつもりです、先づその前提として扁桃腺は何のために人間の體にくつゝいてゐるか又何の役に立つものであるかの問題から說き起し、次に扁桃腺炎の種類と個々の症狀に就て說明し、これに對する素人の處置と心得を具體的に述べるつもりです、小兒や學童に多い扁桃腺肥大も勿論扁桃腺炎の一症狀ですがこれは慢性のものですから今回はこれから酷寒期に向つてかゝり易い、例へば風邪引から來るもの、ヂフテリーに起因するもの、單なる扁桃腺の炎症など、主として急性の扁桃腺炎について申上げたいと思つてゐます

梅毒の話
柳原英

梅毒はスピロヘーターパリダと云ふ螺旋菌から惹起される前身の病氣であり花柳病中最も恐るべき、又有害なものである、梅毒はその感染の時期により種々區別するが梅毒病源菌に感染後約三週間に表れるを第一期梅毒と云ひ、約九週間にして第二期梅毒に移行し、約三年で第三期梅毒に入る更に十五年と經過する內に神經系統に特殊の變化が起る變性梅毒即ち脊髓癆と麻痺性癡呆とがこれである、これが梅毒中最も恐るべきものである、次に病狀の表れぬ潜伏梅毒、親から子に遺傳する先天梅毒と云ふ、梅毒に一度罹ると病毒は前身に蔓延し治療せずとも症狀が消失し恰も全治を思はすることがあるが決して安心してはならぬ次に血液檢査は梅毒に特異なものではあるが之が陽性に表れても梅毒でないとは云へぬ、一般に梅毒の療法は六〇六號即ちサルバルサン、水銀劑、蒼鉛劑等の注射大度加里の內服及びマラリヤ療法等を適宜に用ゐる、要するに梅毒は早期に完全なる治療を加ふれば左程恐るべきではないが一度時期を失すれば容易に治癒せぬ、血液檢査が陰性でも尚一年二三回の檢査を二三年續けることを要する、故に最も肝要なるは梅毒に罹らぬ注意をすることである、それに關して感染の機會を作り易い飲酒を禁止したいと思ふ

閉會の辭
佐賀秀雄

我滿洲日報社が、始めて昨年健康週間を開催しますや、各關係方面の絶大なる御支援の下に非常なる好成績を舉げ、在滿邦人の保健衞生に將又體質改善に寄與あらしめたのみならず、社會政策的觀念よりしても甚だ有意義な事業でありましたので、更に今回第二回を開催しました次第であります。

◇

而して斯くの如き事業は、勿論新聞社獨自の力のみでは到底目的を達成することは不可能で、どうしても關係各方面の御支援と御指導を仰がねばなりません、斯くしてこそ始めて最も優秀な成績を齎すものであると信じます、そこで、我社は此事業を計畫するや各關係方面に御支援なり御協力なりを御願ひしましたところ、其の趣旨を御諒解下さつて欣然御快諾を得た次第で、誠に感謝に堪へないのであります。

◇

どうか諸任におかれては、この意味に於て我社の事業を御諒解下さいまして充分の御支援を望して止まない次第であります、そして今回の健康週間に於ても充分に此の機會を御利用下さいまして、保健衞生に關する此の事業の目的達成に御協力下されん事を望する次第であります。

健康週間診斷券
住所
氏名
年齡 歲

第二回健康週間奉仕の
大連醫師會
關東州齒科醫師會
旅順醫師會
關東州藥劑師會
大連實業藥劑師會

本健康週間の趣旨に賛同して犧牲的に直接診斷に從事せらるる旅大各醫師會及無料投藥に應ずる各藥劑師會員の住所氏名は左の如くである

大連醫師會々員
三河町 內科 近藤醫院
吉野町 外皮梅肛門 弘濟醫院
信濃町 內小 桐原醫院
信濃町 內科 三好醫院
濱速町 皮花泌 井上醫院
日出町 神經科精神 脇屋醫院(大山通)
仲町 耳鼻咽 森本醫院
紀伊町 內科 竹澤醫院
西公園 內小花 光畑醫院
宏濟街 內科 應崎醫院
兒玉町 外內花 博愛醫院
佐渡町 內小 中村醫院
吉野町 產婦 小坂醫院
西通 泌花皮 野中醫院
信濃町 耳鼻咽 西卷醫院
但馬町 眼科 三根醫院
仲町 內小 山嶺醫院
越後町 內小 長濱醫院
大正通 小兒科 梶田醫院
大正通 內外皮 中田醫院
西公園町 外產婦 比企醫院
三河町 內小皮 內田肛門病院
若松町 產婦 岩男醫院
宏濟街博愛醫院內 內科 廣海醫院
聖德 內科 日沖ひな
西公園町 內外 高橋醫院
敷島町 內科 小澤醫院
愛宕町 內產婦 佐志醫院
西通 內科 櫻井內科醫院
西通 小兒科 池田醫院
西通 耳鼻咽 中西醫院
佐渡町 耳鼻咽 澤田醫院
黃金町 泌花皮 阪本醫院
西通 小兒科 梅森醫院
紀伊町 泌皮梅 重富醫院
濱速町 小兒科 今井醫院
[illegible]町 內科 安富醫院
山縣通 小兒科 永原醫院
外科 唐澤醫院
駿河町 內科 志摩醫院
入船町 眼科 馬場醫院
聖德街 外科 田邊醫院
西崗街 內外花 白十字醫院
萬歲街 內外 天心醫院
信濃町 小兒科 幡井醫院
岩代町 皮梅 仁壽堂醫院
三河町 淋梅皮 鳴尾醫院
連鎖商店街廣小路河G區 內科 島根醫院
奧町 外 仁和醫院
若狹町 外 永井醫院
吉野町 外 內 堀江醫院
黃金町 產婦 木村醫院
若狹町 內科 西田醫院
西公園町 小兒科 河島醫院
大黑町 內外花 長壽醫院
光風臺 內小婦 柴田醫院
敷島町 耳鼻咽 民生醫院
西通 小兒科 金子醫院
西通 眼科 王仁醫院
敷島町 內小婦 荒井醫院
西崗街 內外 陳章哲醫院
東公園町 內小 伊藤醫院
信濃町 耳鼻咽小 渡邊醫院
黃金町 耳鼻咽 井波醫院
平順街 揚鳳鳴醫院
東鄉町 外科 大森醫院
三河町 外科 佐藤醫院
西公園町 內小 澁谷醫院
若狹町 內婦 尾形醫院
春日町 內科 平原肛門醫院
吉野町 外科 堀江醫院
奧町 內外 博愛分院
宏濟街 內科 博愛醫院
磐城町 外內婦 田邊醫院
磐城町 內科 田邊醫院
信濃町 眼科 安富眼科醫院

旅順醫師會々員
新市街鎭遠町 成田醫院
八島町 竹森醫院

關東州齒科醫師會々員(不順序同)
東公園町 和田齒科醫院
朝日町 田口齒科醫院
山縣通 岡崎齒科醫院
山縣通 白仁田齒科醫院
紀伊町 安永齒科醫院
監部通 千葉齒科醫院
大山通 久保田齒科醫院
北大山通 田中齒科醫院
伊勢町 白仁田齒科醫院
伊勢町 川越齒科醫院
但馬町 高原齒科醫院
西通 藤富齒科醫院
西通 山浦齒科醫院
三河町 日下齒科醫院
信濃町 關齒科醫院
濱速町 森齒科醫院
西通 早川齒科醫院
西通 犬塚齒科醫院
若狹町 藤森齒科醫院
西公園町 田中齒科醫院
西公園町 今泉齒科醫院
西公園町 鶴見齒科醫院
八幡町 岸田齒科醫院
若狹町 平岡齒科醫院
春日町 小山齒科醫院
青雲臺 土井齒科醫院
桃源臺 芳賀齒科醫院
西公園町 大津齒科醫院
信濃町 日野齒科醫院
常盤町通 鹿野齒科醫院
伏見町 板東齒科醫院
惠比須町 鍵山齒科醫院
水仙町 小室齒科醫院
聖德街 中山齒科醫院
聖德街 的場齒科醫院
山縣通 下重齒科醫院
松林町 吉田齒科醫院
元町 合大齒科醫院
黃金町 寶來齒科醫院
大正通 出口齒科醫院
聖德街 西原齒科醫院
菖蒲町 今村齒科醫院
伊勢町 大島齒科醫院
聖德街 門上齒科醫院
宏濟街 飯塚齒科醫院
敷島町 塚澤齒科醫院
大正通 加藤齒科醫院
大正通 小田齒科醫院
播磨町 田上齒科醫院
信濃町 松田齒科醫院
信濃町 相馬齒科醫院
朝日町 木村齒科醫院
奧町 盧清齒科醫院

旅順市
敦賀町 塚澤齒科醫院
名古屋町 深川齒科醫院
青葉町 仲野齒科醫院
松村町 岡野齒科醫院
鎭遠町 小梨齒科醫院
乃木町 忽那齒科醫院
鯖江町 菊地齒科醫院

大連實業藥劑師會
濱速町 赤誠堂藥局
岩代町 松井藥局
壹岐町 根本藥局
伊勢町 溝上藥局
信濃町 大洋堂藥局
連鎖商店街本町通 日新堂藥局
濱速町 明治堂藥局
信濃町 日本橋藥局
淡路町 菱川大昌堂藥局
濱速町 日本賣藥株式會社大連支店
大山通遼東百貨店內 遼東藥局
若狹町 ワカサ藥局
山縣通 松井衞生堂藥局
大山通 大連洋行藥房

關東州藥劑師會々員
山縣通 アイフ藥局
仲町 緒方藥局
敷島町 大原藥局
大黑町 東陽堂藥局
吉野町 大正堂商店
監部通 天然堂藥局
聖德街 上野藥局
但馬町 上阪藥局
大正通 天祐堂藥局
伊勢町 伊勢町藥局
但馬町 小寺藥局
濱速町 ナニワ藥房
伊勢町 松內楠陽堂
旅順市青葉町 宮竹藥局

滿日各地版

極く質素を旨とし森嚴な聖地に奉建
奉天の滿洲神宮奉建の企て
漸く具體化し來る

【奉天】滿洲國建國の精神を緯とし滿洲在住邦人のみならず現住民を經として滿洲神宮を奉天に奉建することは在奉天人士の總意ばかりでなく全滿同胞の結願とするところであるが、奉天としては其の神域を崇めることのできる地域を選定するため寄り〳〵協議中である、然し最近から尨大なる豫算支出を計上せず、眞に滿洲の神のしづめとして崇拜の中心點となり、事變と建國滿洲國の王道樂土を大精神とした合體として建設されるとが最も意義あるものとされ寧ろ建國早々の際におけるものとして極めて質素を旨とした森嚴なる神域であることが總ての人の氣もちであるらしく、社殿、本殿の如き建築物にたいしても滿洲の氣候風土其他各方面につい て研究を要する問題あり、近く荒木地方課長、倉橋地方係長、山内神官、藤牧町内會長、地方委員、樋口民會理事、其他關係者會合し具體的の最後案を決定することになつたが、軍部、滿洲國側においても奉天に滿洲神宮を築くことは贊成してゐると

撫順七條小學校分離式擧行
誇るべき堂々たる設備

【撫順】東七條小學校分離式は豫定の如く午前九時永安小學校講堂に於て擧行されたが、この日分離校側の父兄三百餘名出席し父兄代表寺西圭之氏の挨拶あり非常な盛會裡に終了した、式終了後兒童は校前に整列し永安校及分離校兒童共萬歳を交歡して式は全く終了した尚東七條小學校に於ては杵淵校長學校を代表して父兄に挨拶をなし兒童に懇切なる訓示を與へたる後各自の教室に歸り擔當の下級生徒のみを歸宅せしめた、職員及三、四年高等科生徒は明日の授業準備のため新築の香高き教室を右往左往し微笑を交して教室を整理してゐる狀景は見るも喜ばしきの限りである

尤も近代的な樣式と輪奐の美を誇る東七條小學校は工費十七萬圓を投じ細川組の手に六月一日着手起工され十一月十日引渡され、新校舍の施設は特に採光換氣教室の配置講堂の體育設備等は斷然滿洲一の堂々たるもので ある、卽ち第一校舍二、四七六坪八、第二校舍五九〇坪一、工業堂三三二坪一五、講堂八五四坪、計四、二五二坪〇五で職員室、衞生室、理科教室、裁縫室標本室等に至るまで完備されゐるものにして尚分離學級は永安小學校より尋一乃至四年八學級、千金校より高等科五學級、計十三學級、職員は永安校八名千金校八名外に事務員裁縫教師一名の分離を見る筈であるがこれが正式落成式は二十日前後盛大に擧行されることになつた

新築成れる撫順東七條校

大奉天建設案
第二回委員會

【奉天】奉天市政公署で計畫中の大奉天建設案は第一回委員會に於て大體計畫の大綱を決定したが更に十二月中第二回委員會を開き具體的協議をなすこととなつてゐるが明春の解氷期を待つて大小西邊門、大南門、大東門から着手される樣である

撫順炭礦の罹災民救濟着手
救濟資金各戸に下附

【撫順】栗家溝、千金堡方面の罹災民に對しては撫順炭礦は二萬五千元を救濟のため寄贈しその內約一萬五千元をもつて礦區內の罹災者の救濟に着手することゝなり炭礦土地係を中心に詳細なる調査を進めつゝあつたがこの程完了し愈々十七日から救濟資金を罹災者たる百三十七戸に對して下附される事となつた、而してその方法としては

一、家屋建設資金　瓦房一軒房子二十元、草房同十元、家具費（一人宛）五元

二、死亡者に對しては一人あたり五元

三、生存罹災者補助金▲緣邊なきもの五十歲以上十九歲以下男子には二十元、年齡を不問婦女子には二十元▲緣邊あるもの五十歲以下十九歲以下の婦女子には十元、四十九歲より二十歲迄の男子には十元

斯くて礦區內の罹災者に對しては完全なる救濟がなされるのであるが礦區外も夫々縣に於て救濟の方法が進められてゐる

奉天の無料宿泊所

【奉天】奉天居留民會では無料宿泊所設置と授產事業の擴張をなすこととなり無料宿泊所設置の豫算借家賃二百四十圓、蒲團六百圓、煖房設備三百圓、家屋修繕費二百五十圓、電燈二百六十圓、豫備費百七十圓、番人費百二十圓、合計二千圓を以て近く十間房附近に開所することゝなつてゐるが百六十人を收容し得られると同授產所は家屋新築費共豫算六千九百四十五圓を計上し近く開會される評議員會に提案決定の筈である

鮮農に農資金融通

【鐵嶺】目下開原附屬地に避難生活中の開原縣八棵樹一帶在住の鮮人農民六十一家族は農資金に困窮し居り之が借入れ方を鐵嶺民會、領事館に斡旋請願中であつたところ此の程認可され鐵嶺金融組合より三百七十餘圓の貸與を受けることゝなつたので鮮農は大いに喜んでゐる

二重結婚がバレて現職の巡捕捕はる
金州に起つた不祥事

【金州】頻々と起る警察官の不行跡に世間の耳目は一齊に此の方に集中されてゐるこの頃これは現職の巡捕が有妻を秘して二重結婚を爲すべく祝儀の日取まで決めたがその前日からくりがバレて取調べの係官をゴマ化し逃走したと言ふ金州に起つた不祥事

幟子窩財神廟街の巡捕佐(二三)は今年四月巡捕として金州署に奉職され八里庄派出所勤務を命ぜられたものであるが、董家溝會に居住する某女を見てからすつかりのぼせ上り、さては妻のある身も顧みず無妻だと欺つて結婚を申込み承諾を受けて十六日祝儀をするばかりになつてゐた處に幟子窩の親許から息子にはちやんと立派な妻があると すつかり出雲の神樣に見放されて仕舞つた、しかも皮肉にその前日であつたので逸早く派出所巡查に同巡捕を拘束本署より係官の出張を求めて取調べ本署に連行せんとする時一寸便所に行つて來るとゴマ化しまんまと逃亡してしまつたが惡運盡きて十七日逮捕された

合辦事業を記念
闞氏等新阜の有志が
小林氏の頌德碑建設

【奉天】闞鐸、張金純、湯玉麟氏等の新舊熱河都統を始め阜新縣の軍警紳學商農工各界の名士百五十三名が發起となりかれて中日合辦大新礦業合資公司の日本側代表として同炭礦開發當初よりその衝に當つてゐた前滿鐵地方部參事小林幹生氏が今回その職を退くことになつたので炭礦山元において礎と同時に右の各界名士等は銀製の大盃と一扁額とを小林氏に贈り記念とした遂で氏の頌德碑を建設し氏の德をたゝへると共に合辦事業の永き記念とすることになつた、なほこれ

少年團代表

【奉天】來る廿一日から二日間明治神宮に於て擧行される少年團日本聯盟創立十周年記念式に奉天少年團を代表とし春日尋常高等小學校の笠原熊一氏が出席することゝなつたが同氏は十七日午後三時廿五分發安奉線急行にて出發した

上級校志望者激減
中等學校だけで打切つて實務へ
鞍山中學校の新傾向

【鞍山】鞍山中學校では十四、五の兩日に亘つて第五學年生の父兄懇談會を開催し卒業後の進路に就いて懇談したが今日まで生徒の進路將來の志望等を綜合して見るに上級學校志望者が著るしく減退し學業は中等程度にて打ち切り實務に就くと云ふ生徒の希望が激增した傾向があると

盗みはすれど……兩親は忘れず？
盗んだ金でこんだ孝行

【奉天】盗んだ金で親孝行やら遊興やらして遂に御用……市內加茂町五番地八幡樓一から十五日正午頃自分の正金銀行預金帳と印鑑を盜まれ四百八十圓を引出され盜難に掛つたとの屆出により奉天署から係官が現場に赴き取調べた處人相とが酷似してゐるので犯人は先づ鬼頭であると嫌疑をかけ取調中彼は名古屋市西區長者町加藤幸一(二三)と自稱して去る廿七日から本月二日まで市內平安通り東亞旅館に投宿しその間主人に對し金五百圓の保管方を依頼し之を二百圓と三百圓の二回に亘つて受取つたこと彼は十五日突然家出し姿を晦ましてゐる事等により鬼頭の嫌疑は益々濃厚となつて來た

そこで彼の所在を搜査中彼の實兄愛知縣八開村生れ千代田通り十七番地菊屋旅館に投宿してゐる無職鬼頭宗一(二六)が加藤宗一と自稱し去る六日幸一の投宿してゐた旅館に來り投宿し十五日午前十一時頃幸一と共に大連に行くと稱して出て行つたまゝ姿を晦ましたと判明眞犯人は愈々鬼頭幸一に相違なく更に之に力を得て嚴探中彼は十五日午後三時頃柳町料理店いろは樓に來り幸一は同樓酌婦若香(二三)をあげ宗一は牡丹(二〇)をあげ散財し同夜八時頃揃つて自動車で市內に出て行つた事實をつきとめ係官は同樓に張りこみ待ち構へてゐると果して夜の十一時頃酔拂ひ機嫌で歸樓しこれからお樂しみの就寢といふ處を「こら！」とばかり兩名とも取押へ直ちに奉天署に引致し嚴重取調中である

このしたゝかもの係官の峻烈な取調べに包み切れず犯行を逐一自白するに至つた、彼は宗一と共に大連に行くと稱して旅館を出たがその足で驛前大丸旅館に偽名して泊りタンセン姿でいろはに上り込み飲めや唄への大散財後揃つて自動車で出かけ市內千代田カフェー、東食堂で遊び廻り歸樓したのであるが、その際幸一は六十一圓宗一は五十圓を所持し三百圓は鄉里の兩親の許に郵便爲替で送つてゐたと

三勝の治安維持策研究

【鞍山】鞍山守備第六大隊では鞍山に歸順した三勝こと吳賓豐の治安維持指導に關して立案研究中であつたが、十六日午前九時から上田大隊長を始め守備隊幹部遼陽、海城の兩縣知事岡本憲兵分遣隊長山本警察高等係主任其他奉天省の治安維持會長等臨席した、上田大隊長は三勝指導方針たる腹案を述べ種々協議の結果三勝をして理想的な治安維持を實現せしむる樣に指導することに決し農商聯合會あるを幸ひに奉天治安維持會の分會を鞍山に設置することに決した、なほ十八日午後一時から鐵道西支那劇場に於て劉二堅、臧式毅、唐馬寨附近の有志多數を集合せしめ滿洲國天道政治の普及に努める筈であると

東邊道匪賊討伐に我自動車隊の活躍
野戰自動車隊長　落合中佐談

◇

扨て前に述べました問題の續稿彈藥輸送の大任を命ぜられましたのが私達の自動車隊です、特兵一同は勇躍しまして奉天を出發し、私は眞中の輸送を擔任し東の方は北園少佐をして指揮せしめ、西は輸送監視隊をして之が任に當らせ十月十二日からその輸送を開始しました、私の擔任した眞中の狀況について申上げますと第一回新賓進出まで約二十里、道路さへよければ半日行程ですが全然未知の地形で然も兵匪橫行の土地とて豫じめ道路を偵察するといふ事が出來ないのみならず前申した通りの險と第一線諸隊が通つてゴネ廻した後なので我々は支那馬車や砲兵を追越して前進したにも拘らず三日間を要しました、然し戰局に遭遇する每に行かねば止まぬ特兵一同の涙ぐましい活動に自ら道路を修補しつゝ時に車の後を押し、落ちた車を引上げながら攜帶口糧のパンを嚙ぢり、夜は夜通し暗夜の道を辿りつゝも旅團主力の出發した日の午後には既に新賓に到着しました

一部の人からは自動車の通過不能にして補給の道なしとまで悲觀報告せられました地形を突破しましたので聞くもの皆六輪自動車隊の威力に感嘆せられた樣な譯けでした、之を以て見ても私は總ては敢行といふ二字につきると思ひます、東の方北山城子から柳河を經て三源浦に輸送を命ぜられた北園部隊も私たちと同じ樣な狀態で殊に小城子南方の河が水深くして自動車の徒渉が出來ませぬので寒中を全員丸裸で橋をかけ通過した樣な始末もありましたが第一回の輸送は何れも無事任務を遂行して南雜木及北山城子に引返しました

この第一回輸送の困難は雨に祟られ道路の惡かつたと河水の增水に禍ひされた譯だが爾後は幸ひ天候に惠まれ非常に順調に第一線の任務を達成するとが出來ました

◇

軍用六輪自動の山嶽地帶による威力は今回が最初の試みであつたがその結果絕大なる威力には全く驚きました、私達より一日も早く南雜木を出發した砲兵や大行李の支那馬車、四輪自動車隊などを第一日の夜既に追付いたことによつて見てもその偉大なる力が想像されることゝ思ひます、以上は滿洲としては特異の地形である東邊道地方に於ける自動車行動の概要を申述べましたがこの機會に於て自動車隊が全滿に亘る皇軍の活動に如何に活躍したかを申上げて置きたいと思ひます（つゞく）

姉は何處へ
別れた實姉を搜して
少年、徒歩で奉天出發

【奉天】姉は何處へ……大分縣佐賀關町木賀鐵三(一九)は父母のなき後叔父の金子鐵次方の厄介となり家業の魚とりを手傳つてゐたが叔父の虐待に堪へかね二年前に別れた姉のきりえ(二二)戀しさに本月四日その家を飛び出し姉が奉天で女給として働いてゐることを聞きこみ門司から大連に渡りやつと目的地の奉天にたどりつき姉の住所を搜し求めたが知らずやむなく再び叔父の許に歸らうと決心しても既に懷中無一文となつたので大連の知人を賴りに十三日徒歩で南行したがどう道を違へたのか虎石臺方面に迷ひ込み途中守備兵に誰何され同隊に引致された、併し事情を話して漸く知り同隊の保護を受けて再び奉天につれ戾された、そして彼は再び奉天を搜し求める元氣もなく十五日大連さして徒歩で出發した

遼陽有段者會
近く組織せん

【遼陽】遼陽の武道界は近來頓に旺盛となり柔道部では驛長の關四段を初め地方事務所にも關屋地方事務所長、增田所員の有段者あり警察では橫山三段、辻甲二段以下數名あり憲兵分遣所長の荒井氏が二段の猛者、滿紡の天野氏も驚嘆で鳴らした腕前があつて十六名の多きに達して居るので近く有段者會を組織すべく計畫中である一方劍道部でも電燈の西四段を初め十餘名の有段者あり近く大連で開催の有段者大會に遼陽は必勝を期し居る有樣で斯道の旺盛は滿蒙の第一線にある關係上誠に喜ばしき事だと讃へられて居る

旅順放送

▲熊本縣主催滿鮮視察團一行、縣立女子高等師範學校長滑田福松氏外九名は十六日來旅午後二時關東廳を訪問田邊學務課長案内で視學等と會談の上各戰跡を見學同午後五時から泰豐樓の歡迎宴に臨み同夜離旅した

▲大連逢阪町の殺人未遂犯人工藤喜太郎外一名及び公正證書偽造に關する森本仲七の控訴公判審理は十六日午後から旅順法院覆審部に於て開廷した

▲舞踊家高田せい子一行は來る二十二日一晚限り昭和園に於て公演する事となつた

▲鹽廠派出所開所式は愈々來る二十日正午落成式を兼ね開催する事となつた

會と催し

●營口日滿商務聯合會●【營口】既報十五日開會せられたる第二回日滿商務聯合會は日本側今井會頭以下十名滿洲側王季璞氏以下十名出席、左の七項に就き協議した、一、滿鐵營口運賃問題に關する件、二、關稅制度改正に關する件、三、取引所設立に關する件、四、冬期間河北との連絡に關する件（以上日本側提案）五、遼河碎氷に關する件、六、遼河我克復開航行に關する件、七、金融硬塞打解に關する件（以上滿洲側提案）

●遼陽金光教大祭●【遼陽】遼陽金光教々會所では十六日午後二時から秋季大祭を執行したが當日は撫順鞍山、奉天等からも教會長列席あり閉式後教會長の說教があつた

●遼陽の防火宣傳●【遼陽】遼陽警察署と地方事務所消防隊は協力して十六日早朝から防火宣傳を開始し各戶に火の用心の心得書を配付し或は市內に宣傳ビラを撒布した

●遼鞍聯筆劍會●【鞍山】滿洲事變勃發以前は每年遼陽筆劍會と鞍山筆劍會は交互に聯合筆劍會を催して居たが昨年は事變の爲め休止して居たが兵匪も一段落を告げたので本年は鞍山側主催にて來る二十二日午後六時から柳町楓家に於て遼陽聯合筆劍會を開催することに決定した

●鞍山映畫と音樂の夕●【鞍山】鞍山體育協會では經費捻出の爲め十八日午後六時より演藝館に於て映畫と音樂の夕を開催するが映畫は佛國二大特作たる巴里っ子、ロベルトを上映し製鐵所音樂團總員演奏し解說者は令名ある喜多流一氏が特に來鞍するとのことなれば定めし盛況を呈するであらうが一般は體育協會後援の意味を以て多數來場されたしと、入場料は大人券八十錢、大人券五十錢、子供學生券三十錢

●鞍山の兵制發布記念日●【鞍山】來る二十八日は兵制發布六十周年に相當するので鞍山在鄉軍人會では守備第六大隊並に在鄉軍人分會と協議の上兵制に關する講話を一般に聽講せしめ徵兵制度の意志を徹底せしむべく目下計畫中であると

●旅順の阿部氏獨唱會●【撫順】我社が嘗て大連にて主催し好評を博したジャズソング歌手阿部幸次氏の獨唱會は撫順新報社主催、炭礦庶務課、撫順音樂會後援の下に廿一日午後六時より公會堂に開催されることゝなつた、演奏曲目は大連に於けるそれと同じく「影を慕ひて」「若いマドロス」「リットン節」「大島節」等は早くも方面から期待されてゐる

社説

全滿官民懇談會
官憲の坦懐 民間の無私

十六日新京に於て、全滿官民懇談會が開かれた。抑も日本が滿洲經營に努力せねばならぬといふ事は必然の勢であつた、何等かの筋途か、何等かの形式で結局其處に到らねばならぬのが東洋の情勢であつた。然るに端なくも、去年九月十八日の事件が契機となつて、軍權の打破となり滿洲人の自省を促進して新國家の創立となつた。是に於て情勢は自然の筋途を經て、自然の落處に向つた。而して此の滿洲人の意思を扶助して、其の事業を支援するのが、日本の人類的義務となつたのである。云ふまでもなく、之れが日本の爲め滿洲の爲め、支那の爲め、東洋の爲め、世界の爲めなのである此目的の爲めに、我國官民一致全力を擧げて努力せねばならぬのであつて、之れを法律的に規定したのが日滿議定書である。わけて現地在住の邦人にありては、此全日本の意思を體して、此目的の爲めに一意協力せねばならぬ。

◇

武藤大將は軍司令官であるが帝國全權大使として外交的全權を賦與せられ關東長官として行政全權限の首腦に任じてゐる。されば武藤大將は日本の全意を代表し、其全權を代行するものである。隨つて在滿邦人は擧つて武藤全權に協力して其の職務の遂行を便ならしめねばならぬ官民共に十分に此心得がなくてはならぬ。而して軍事官界の方面はすべて大將の統率する所で其職權の及ぶ所であるが、民間方面にありては自由意思發動の餘地あり、大將の職權も尚及ばざる領域がある。しかも官憲にありても、民間の意思を尊重し斟酌するにあらざれば、その協力を期し難く、隨つて職權の遂行に完全なる能はざる點を生ずる。之れ官民意思疏通の必要ある所以、今度全滿官民懇親會の開かれた如きも、全く此の意味に出づるものと推察す。是れ極めて機宜を得た會合であるとして、吾人の賛同措く能はざる所である。

◇

武藤大將が來任以來常に說く所が「人の和」にあるは吾人の最も注意す可き點である。大將は先づ日滿兩國人に對して協和の必要を說き、更に邦人官民の協和が最も大切なことを臨時臨處に說述してゐる。十六日の懇談會席上に於ける挨拶にも「人の和こそは天時地利に勝る大事成就の根源である」と說いて、此の「和を圖る一助として」此會合を開いたのだと陳べてゐる故に官の意のある所を說きて民間に不理解なからしめ、民間の隱さゞる意向を聞いて其經營施設に資せんとするのが其目的であるに相違ない。小磯參謀長の挨拶の中には「軍人、官吏は國民の附託によつて國民と共に事に當るもので、決して國民を度外視し輕率な事を爲すものでない」と其眞意を陳べ「然るに、私共の此氣持が未だよく世間に理解されて居らず、我軍の將兵にさへ徹底してゐない憾がある」と告白してゐる。又「傳へらるゝ如く軍民意思の疏通を缺き正論熱伏の慮みがあるならば、それこそ國家の不祥事である」とも道破してゐる。此の事實があるかどうかは吾人の知悉せざる所であるが、左樣な事が世に有り勝の事であることは疑ひがない。由來官尊民卑官憲獨擅の弊が我國に多い。立憲制の今日にありても尚此弊は全部拔け切らない。

◇

特に軍部に對しては、我國民が極めて敬愛の念を懷くものである事は、日清、日露役の當時は昔の事として今更之れを說かざるも、今次事變發生以來の國民の態度が遺憾なく之れを表示してゐる。之れ我國民は、我軍隊が至尊陛下の股肱と宣はせらるゝ所のものであるを、衷心より理解するからである。國民が陛下を仰ぎ奉る事父母の如きが故に其心事を軍隊に移して、又之れを視る事父母の如くなるのである。然るに其一部に對しては尚之れを畏怖するの念あるを免れない。是れ恐くは小磯參謀長の言にある樣に、軍の眞意が「將兵に徹底してゐない點があり無分別な一、二の者の行爲、二三の者の言葉が世間の誤解を招く」が故であらうか。畏怖すれば萎縮し、思ふ事も陳べられない。隨つて敬愛の念を妨ぐるに至り、之れが大きくなると軍民又は官民の完全な一致を缺くことにもなる。實に「國家の不祥事」である。小磯參謀長が率直に之れを開陳して、民間畏怖の念を去らしめ、專ら敬愛の念を啓かしめんとしたのは、誠に國家の慶事として吾人の欣快之れに過ぐる所なきものである。蓋し此の方針貫徹によりて、官民の完全な一致を進め、帝國の滿洲經營は完全の域に達するを期し得ると信ぜらるゝからである。

◇

されば十六日の會合にても、民間代表もよく官邊の意を體して忌憚なく其の意見を開陳し、官邊にても充分に其意向を披瀝して、官民懇談の實を充分に擧げ得た如く見受けられるが、此會合は二回三回と引續き開催さるゝといふ事で、回を重ねるに隨ひて其効果の見るべきものが漸次擧揚さるゝであらうを信ずる。只民間にありて注意す可きは、猥りに我利に基づく要求を持出してはならぬとである。施設は全般の利益の爲でなくてはならぬ。政治は大局によりて按配されねばならぬ。各人又は各團體が、大局の利害を顧みずして、交々利を征するといふ考へ方によりて要求を持ち出すと、其處に人和を害することになり官民の懇談も其利を見ることが出來ないやうになる。

近く方針を宣明して 内地産業の進出促進
内地資本家の認識を是正すべく 關東軍當局の意嚮

內地資本家の滿洲進出は徒らに聲のみ大で實際においては何等新規產業計畫の具體化したものを見ないがそれには種々の理由があらうが就中最も大きな原因は事業及び居住に要する土地を取得することを非常に困難視し

進出を 躊躇してゐることに在るやうである、卽ち土地問題に對する軍部の方針と商租權問題解決等の事實に對する認識を缺ぎ若くは誤解して逡巡してゐるのである事變當初においては軍部は惡辣不信用なる土地利權屋を排擊し且つ統制を圖る必要上一定の方針を立て移民に要する土地は東亞勸業公司をして、工業に要する土地は滿鐵をしてそれ〴〵斡旋せしめ需要者に分割移讓せしむることとしたもので內地資本家は必要に應じてこれ等の土地を公正な價格で移讓を受け得られるのであるまた右の土地以外においても領事館、滿洲國當局の

諒解を 得て土地を得ることは毫も差支へないことになつてゐる、關東軍當局においては內地資本家がこれ等の事情を知らず土地の取得を困難視し或は絶望視してゐる者が少くないことを遺憾とし近く事情を詳細に說明し誤解を一掃する方法を講ずることになつてゐる、同時に統制經濟と自由企業に關しても軍の方針を宣明し內地產業の進出を促進する筈でこれに關し十五日晩新京より歸奉した奉天特務機關長板垣少將は語る土地問題に對する軍の方針も決定し商租權問題や奉天都市計畫關係のこともすつかり解決してゐるのだから一定の範圍內で土地は自由に手に入れるやうになつてゐるのだが內地の企業家がこれ等の事情を知らず奉天進出を躊躇してゐるのは

遺憾で あるといふので軍では近く一切の事情を發表說明することになつてゐる、奉天省は人口、產業、文化、富の程度等あらゆる方面に亘つて滿洲國全國の三分の二以上の重要性を持つて居り、軍としても奉天を最も重視し「治安の恢復は奉天から」をモットーとして過般來匪賊の大討伐を續けてゐるやうな次第であつて治安もほゞ恢復した今日は內地產業が續々奉天に進出するとを希望してゐるのである【奉天電話】

保税倉庫制度 明春實現か
財政部近く研究に着手

滿洲國財政部が保税倉庫を設置することは既に時日の問題となつて居り滿鐵においても何時から保税輸送を開始するも差支へない用意……を整へてゐる、一方奉天にある滿鐵、國際運輸、南滿倉庫、實業倉庫の四倉庫業者は各々指定倉庫たるべく運動を進めてをり財政部局も過般庵谷奉天商議、徐奉天實業廳長等の說明によつて保税倉庫設置が奉天を始め沿線の繁榮一般消費者に利益あることを認め近く具體的研究に着手することになつてゐるから案外早く來春は實現するものと期待されるに……

勞農、滿洲國に 航行權問題交渉
アムール航務局が材料提出

【ハルビン特電十七日發】ソウエート政府は一九二九年以來舊奉天政府を相手に再三松花江航行權に關して交渉を重ねてゐたが、舊奉天政府の反對に會ひ實現するに至らなかつたので、滿洲國に對し黑龍江航行權を交換條件に再提議する意向にてアムール航務局に對し交渉材料提出を命じた

奉天省の鑛區整理

奉天省管內の鑛區については實業廳鑛務科において目下整理調查中であるが、既に採掘權を許可したもの三百六十四件あるも、規定による鑛區料金を納入してゐるものは僅に十分の一にも足らぬ卅七件に過ぎず、最近鑛區料未納者に注意を促し若し一定の期限內に納付せぬ場合は沒收する方針である旨再三警告を發したが、未だに回答又は申請し來るもののないため自然政府の手に回收されるものとみられてゐる、なほ新鑛業條例は政府としてはできるだけ早く公布する希望を有してゐるが、各機關の意見を徵し法制局の審議を經ればならぬので多分來年度の初め頃に公布施行する意嚮である、新京において全國鑛務會議を開催する計畫は研究中であつて、或は各省實業廳首腦者會議とするか、純然たる鑛務會議とするかも決定せず、實業部鑛務長は目下鶴立崗炭礦の視察中であれば鑛務長の歸京を俟ち再協議の上決定するやうである【奉天電話】

鹽務警備隊を設置

新京財政部では鹽務行政助長の目的を以て今回遊擊性を有する鹽務警備隊を設置することになり、近く軍政部の斡旋を得て武器を購入し二三百名の警備員を募集する筈【奉天電話】

滿洲國の外交方針
建國以來の經過概要 （1）
滿洲國外交部總務司長 朱之正

滿 洲國は建國以來、僅か半歲に過ぎず、現在國を擧げて國力充實に邁進してゐる現狀であるが今日までの經過を回顧するに目覺ましき躍進の經緯である、主として外交方面の問題について見れば先づ建國宣言に始まる、大同元年三月一日を以て成立した滿洲國政府は同日宣言を發し、先づ滿洲の歷史を明かにし、軍閥の暴政による民衆の苦患と百業の凋落の經過を說き、幸ひにして天賦の好機に遇ひ惡勢力は驅逐されたるも、之を治むべき爲政者なく庶民その歸趨に迷ふに至れるため數ケ月……り奉天、吉林、黑龍江、熱河、東省特別區及び蒙古各旗盟官紳士民の意見を纏め、三千萬民衆の意向に應じて中國との關係を脫離し新に滿洲國を創立せることを宣告し順天安民を政治の大本として民族協和の主義により王道政治の實現を期すこと、對外政策においては國際信義を尊重し親睦を念とする旨を明かにし、利源の開拓を希ふものに對しては何國の論なく一律に門戶を開放して均等の機會に浴せしめることを宣布した

こ の建國宣言に次いで對外的に發せられたものが、同月十二日附で發せられた謝外交總長の對外通牒である、この通告において我滿洲國政府は英、米、日、佛、獨、蘇聯、墺、白、丁、エストニヤ、伊、ラトビヤ、リスアニヤ、和、波蘭、葡、チエツコ、スロバキヤ等十七ケ國の外交總長に對し滿洲國の建國を正式に通告し政府の施政方針を明示し特に外交政策に關しては

一、信義を尊重し和睦親善主義に依つて國際平和に貢獻せんとすること

二、國際間の信義を重んじ國際法規及び慣例を遵守すること

三、中華民國の各國に對して有する條約上の義務中、國際法及び國際慣例に照し新國家において當然繼承すべきものは之を繼承し誠意を以て之を履行すること

四、滿洲國內在住外人の既得權並に生命財產を保護すること

五、外國人の來住は之を歡迎し各民族に對し平等公平な待遇を與ふること

六、各國との通商貿易は力めて之を容易ならしめ以て世界經濟の發展に貢獻すること

七、門戶開放主義により滿洲國における外人の經濟活動に對し便宜を與ふること

等七項に亘る原則を明示し、列國の諒解並に正式承認を要望したものである

對 外通牒後先づ第一に着手された重要案は郵務の接收である大同元年三月二十日我滿洲國政府は丁鑑修交通部總長の名を以て三月一日滿洲國成立と共に郵務及び電信業務は中華民國の羈絆を脫離し四月一日以降滿洲國政府において管理を開始する旨の命令を發した、この問題は事務引繼その他に關し地方的に多少の經緯はあつたが、その後幾何もなく完全に解決を見たのである、越えて六月二十七日我政府は熙洽財政部總長及び謝外交部總長の名を以て關稅接收に關する聲明を發表した

こ の聲明において、滿洲國政府は建國以來當然接收し稅收を取得する權利あるにも拘らず、獨立宣言及び對外通牒の趣旨を尊重し支那海關制度の保全並に外債擔保部分の負擔を原則とした提議をなし合法的手段によつて問題を圓滿に解決するため數ケ月間隱忍自重したことを述べ、これに對して南京政府が全滿海關收入の大半を占める大連及び其他海關收入の三分の一を要求して讓らず、事實上我滿洲國の財政的基礎を薄弱ならしめる一方、その餘剰利得によつて我國の治安擾亂を繼續し來れる事實並に南京政府が支那海關制度保全のため全力を盡してその職務を遂行し來れる福本大連稅關長を懲戒免職し自らその制度を破壞せんとせる暴戾を指摘し事態止むなく國內各海關の接收を斷行すると共に、大連において徵稅事務を開始するに至つた經過を詳述し、右は全く南京政府の責任なることを聲明し、事態右の如くなるも滿洲國としては建國宣言及び對外通牒の趣旨により、外債擔保部分を負擔すべきこと並に外國が海關に對して有する權益は飽くまで之れを尊重擁護すべき當初の方針には何等變更なきことを附言したものである

海 關接收に關しては局部的に當時相當の波瀾を免れなかつたが、既に周知の如くその後漸を逐つて解決を見今日においては一、二特殊的部分を除いて殆ど全部我滿洲國の完全なる管理統制の下に置かれることになつたのである

聖愛醫院長の後任岩島博士か
院內の革新を斷行

院內の暗鬪、外部からの策動等々市內播磨町財團法人聖愛醫院をめぐる暗流は同院顧問日疋信亮氏の急逝來遂によつて尖銳化し去る十二日の理事會席上、同じく顧問柴田博陽氏と日疋氏とが大論爭を演じ理事會を有耶無耶の裡に終らせ久しく低迷せる院內の暗雲は遂に表面化するに至り、成り行きを注目されてゐたが、十六日開かれた理事會では日疋顧問の關東廳方面の運動效を奏したるか別項の如く院長の權限を擴張し、理事長、事務長共に院長の支配下に置くといふ定款改正に伴ふ院內の大革新を斷行するに至つた、而して後任院長には去る九月まで同院々長たりし現在磐城町三九番地で開業してゐる岩島豐三博士を再び起用するに內決してゐると傳へられてゐる

定款の一部改正
事務長を院長支配下に置く

十六日午後二時から開會の聖愛醫院理事會では定款の一部改正について審議したが改正された定款の要點は事務長に對する院長の權限擴張で、從來同醫院の院長及び事務長の任免は理事會の決議で理事長これを行ふこととなつてゐたが、今後これらの任免に理事長の承認を得て院長行ひ得るやう改正したこと、その他規定にあつた事務長は理事長および病院經營に關する理事長の承認を得て院長これを行ふ……

市會議員日本各地へ
出品勸誘に出張

大連市主催滿洲大博覽會より內地各府縣に對し特設館設置並に出品勸誘のため派遣する市會議員は大內議長の手に於て詮衡中であつたが十六日左の如く決定一行は十八日出帆のあめりか丸で出發の豫定である

▲中國、四國方面　田中議員
▲近畿、東海方面　今村議員
▲北陸、信越方面　有馬議員、品田博覽會事務長
▲九州方面　相川議員、松田區長

滿鐵經濟調査會
一時首腦を缺く
人事異動までは疑問

大連憲兵隊 分隊長
岸大尉の赴任

新たに大連憲兵隊分隊長に榮轉の岸武夫大尉は十六日午後四時五十分着列車にて着任した、驛頭には分隊員並に石井大連、三浦沙河口、大塲小崗子、三澤水上各署長をはじめ森本法院長、高見大連憲兵隊長……

八相
利害の利　A讀書子

市況（十七日）

株式
特産
錢鈔
商品
奧地市況
市場電報

滿洲國領事館開館し ブ市に新五色旗飜る

黒河の叛將は妻子を避難させ 反滿分子は逃げ仕度

滿洲國最初の在外領事として浦鹽經由ブラゴエスチエンスクへ赴任した峰澄雅氏は十月一日ブ市の中心地帶レニンスカヤ街セントラルホテルに領事館を開館し

正門 には大滿洲國旗を掲げ更に大ブ市にある滿洲國人に對する外交部總長の宣言文と領事の布告を掲出したところ通行人が門前に雲集する盛況を呈した、今まで中國領事館側の逆宣傳に迷はされてゐたブ市の内外人は滿洲國建國以來十ケ月の短時日に内外に使臣を派遣するまでに整備せられたるとを初めて知り異常なセンセーションを捲き起してゐる、一方カリンスカヤ街にある中國領事館は反滿領事權世恩が依然として頑張り黒河を追つて來た徐景德と

策動 しブ市の滿鮮人によつて組織されてゐる共産系の東方工人會を煽動して滿洲國領事館の布告文をはぎ取らせたり機關新聞東方工人に反滿記事を滿載せしめて盛に妨害を試みて滿支兩領事館は互に對立して宣傳戰を行ひ抗爭しつゝある、これは表面であつて裏面は權以下中國領事館員はびく〳〵もので館員の中には早くも滿洲國領事館に鞍替へ交渉を密かに行つてゐるものもある狀態で一般の住民も何れ滿洲國軍が近く黒河を恢復すれば

中國 領事は逃出す外なしと觀てゐる、對岸黒河の情勢は數ケ月に亘る物資の缺乏と重税により住民は生色なく僅に四百の徐景德軍に支配せられてこの世の生地獄の町と化してゐる、住民の反滿分子に對する反感は馬占山の慘死に次ぐ北滿一帶の反動軍も日本軍のため掃蕩せられ今日ブ市に滿洲國領事館を開館されたが遠からず日本軍が黒河に入城することであらうと豫想してゐるものも頗る多く反滿要人に不安を與へてゐる、

現に徐景德、韓樹業は妻子をブ市の中國領事館に避難せしめ彼等自身も何時でも

露領 に逃亡する準備を整へてゐる位非常な動搖を來してゐる、上海に引揚げることになつた黒河稅關長ジヨリー氏は黒河では馬占山の死を今尚秘してゐるが徐景德の參謀長は余に(ジヨリー氏)馬將軍からは既に四ケ月何の通信もないと打明け話をした位であるから馬占山の死は疑ひないと語つてゐたブ市方面の形勢は實領事以下の活動で日一日と滿洲國を認識し來り加へてソウエート當局の滿洲國援助も濃厚となりつゝあるから反動分子の逃出すのも遠くあるまいと觀測されてゐる【新京電話】

露領引揚げ婦女子は 全部、浦鹽に輸送

大谷副領事から希望

全權部十六日着電によればマッエフスカヤ避難民の浦鹽輸送に關しては既に本國よりマッエフスカヤ地方官憲にも通達あり大谷副領事の申出あり次第食堂車、衞生車連結のまゝ特別列車を編成して浦鹽に向け出發せしむるやう手配がなつてゐるが浦鹽領事館員の到着を待つて直に決定するはずのところ避難民一行中には臨月に迫つた妊婦や鮮人醜婦を含んで居りこれ等のものは滿洲里在留の夫又は主人と行動を共にするに非ざれば如何に身を處してよいか途方に暮れるものもあり、さりとて團體行動としての輸送であるため大谷副領事の希望としては一同を漏れなく浦鹽に輸送したき方針である、なほ避難民中より交渉委員側に於ては書類その他の整理監督として七名だけを殘して置き傭入れたき希望を有してゐる【新京電話】

食糧空輸不能

大谷副領事發十三日着電によれば滿洲里に於ける日本人食糧難解決のため期待されてゐた飛行機輸送は積載量の關係上不可能なる旨小松原交渉委員一行より申出あつたためやむなく浦鹽經由マッエフスカヤに廻送することゝなつた【新京電話】

樸殘留部隊に 歸順を勸む

買炳統チチハル歸來談

【ハルビン特電十六日發】拜泉に於ける下枝少佐救出及樸炳珊殘留部隊を歸順さすため拜泉に潛入した買炳統は十三日夜チチハルに歸つたがその語るところによれば八日夜六時拜泉に到着劉團長に會見したが彼のいふところによると樸炳珊は十月十九日劉の部下をもつれて泰安に向つたがその後自分の部下は全部逃げ歸つて來た、自分は樸の寢返りに反對したので敬遠され殘された、樸が出るとその日に拜泉は鄧文部隊に占領され下枝少佐はそれまで法院に監禁されてゐたが鄧文の强硬な要求があつたので二十日引渡した、鄧文は少佐を殺そうとしたが日本軍がどんな復讐をするかも知れぬと自分が說いたので思ひ止まり軍警督務所に監禁してゐる、鄧文の部下約二千で手が出せぬが援軍が來れば自分は何時でも加勢する準備がある

開原附近で 兵匪を撃退

中央地區の宮本部隊主力は十四日夜開原東方約二里の〇〇溝南方に蟠踞の率ゆる兵匪侵入しつゝありとの報を得たので二隊に分れ前進して主力部隊は十五日午前二時紹皮屯西方約三里の所にて五百の兵匪と遭遇し交戰約二時間の後西方に撃退せしめ一部は同時刻ころ紹皮屯西端を前進中の匪賊二百を發見しこれに攻撃を加へたので賊團は非常に狼狽抵抗したが交戰約一時間敵は潰走した、わが軍はこれを西方大平溝方面に追撃中で敵の遺棄死體は目下判明したもの六十にして小銃五十六挺、紅槍三十六本を鹵獲した【新京電話】

安東附近で匪賊を撃破

安東憲兵分隊梅木曹長は下士官以下〇〇名及公安隊第一旅の一部を率ゐて十六日午後出動安東西南方約三里半の地點で匪賊の前衞部隊約二百と遭遇戰を演じこれを撃退したが賊は附近の主力部隊と合し約七百が三方の高地より反撃し來り日滿軍は一時苦戰に陷つたが少數部隊を以てよく敵の大部隊に對抗激戰三時間半にして北方に敵を潰走せしめた、敵の死傷約五十、我に被害少し、なほ日滿軍は同夜八時半一先づ歸安した【安東電話】

歸順を装ふて 一齊に敵對

盤山で歸順の擧式中 反抗し監視隊が膺懲

十二日奉山線盤山にて歸順を申出た裴東關配下の匪賊がわが監視兵に反抗したゝめ已むを得ずこれを膺懲した事件があつた

卽ち盤山附近を荒し廻つてゐた裴東關配下の匪賊三百は一般の形勢非なるを知つて正義團を通じて歸順を申出でたので盤山縣長はこれを許容し十二日正午盤山で歸順式を行ふことゝなつた在滿部子のわが軍からは盤山縣長の要請によつて藤田中佐の指揮する監視部隊を派遣參列せしめた、縣長が訓示を行つた後歸順條件たる武器全部を一應日本軍の手を經て引渡し式後これを再び交付して盤山自衞團に編入することになつてゐたので一先づ武器を渡すやう命じたところ拳銃を所持する兵匪の一部は銃を渡すことを拒み逃走を企てた、わが監視兵がこれを制止せんとしてこゝに端なくも一部の間に爭鬪が開始されたが、これを見た他の匪賊は一齊に起つて叉銃線に入り銃を執り敵對すると共に逃走を開始した、同時に後方の林中に豫じめ計畫的に配置された約六十餘名の乘馬匪賊が現はれ急にわが軍に射撃を展開したので監視隊は愈々この歸順は僞歸順と認めて直にこれに應戰し匪賊を四散せしめた、敵匪の死傷は百餘名に上る見込である【新京電話】

唐聚五重傷

學良に代表を派して 救を求めて拒絶さる

十五日北平から奉天に歸來した一滿洲國人の談によると目下北平に唐聚五の代表と稱するものが入込み張學良の參謀榮臻と會見し唐軍は日本軍のため打破られ三萬の部下も逃亡或は滿洲國に歸順したので現在二千位に減少しそれ等も武器なく衣食に窮し目も當てられぬ慘狀にあるので何分の援助を願出でた模樣であるが、張學良は實力を失つた唐聚五に何んの補助をさ拒絶したと、尙右代表者の談話によると唐が通化を逃走の際日本軍のため右の目と右足に重傷を負ひ目下樺甸附近の小部落百姓家で治療中であるが足の傷は非常に重く若し恢復しても一人前の歩行は不能だらうと【新京電話】

血液型鑑定を却下 眞犯人と斷じ死刑

井關檢察官が痛烈に論告求刑 廿四日に判決言渡し

學生服の血痕が果して被害者の血痕であるか、大きい疑問符を投げかけ遂に竹田辯護人から血液型鑑定の申請あつた市内泉玉町人妻殺し公學堂生徒不本稀(一七)にかゝる續行公判は十七日午後二時から長島裁判長係り開廷、合議の結果申請にかゝる血液型の鑑定は必要なしと却下になり直に立會井關檢察官の論告に入つた

被告は警察の取調べ、檢察廷の陳述に於て犯行の總てを認めて置きながら公判廷で突如犯行を飜し否認の態度に出でたが、證據を擧げて被告が眞犯人であることを說明すると前提し檢察官が被告を犯罪現場に同行し

被告 が侵入したといふ臺所の網戸を外する方法を實地に行はしめたところ容易に網戸が外れたこと、被告が自供する庖丁の持ち方と被害者の傷口とが一致する點などを列擧し更に

一、被告の學生服の三番目のボタンが兇行現物に落ちてゐた

二、その學生服に生々しい血痕が附着してゐた

三、戸田方で竊取されたといふ鮮銀十圓券二枚が被告の本の間に挾まつてあつた

の有力な

三點 を擧げて

たとへ被告の自白がなかつたとしても本件は被告以外に眞の犯人は無い、被告は父より買ひ與へられた學生服すら自分のものでないと白々しい否認を續けてゐる點より見て公判廷における全部の陳述が嘘僞であることを立證するものである、被告は滿十五歲といへど公學堂高等二年生で相當の教育と常識を養つてゐる筈だ、その被告が顏見知り越しの戸田夫人に百數十ケ所の刺傷を與へかゝる慘虐を敢へてし、しかも兇行後果實を食ひながら群衆にまぎれ捜查官の活動を見物してゐたといふことであるが果して人間としての

良心 ありや、かゝる慘虐な犯行が白晝、しかも大連市内で行はれるといふに至つては社會上の不安を除く爲め嚴罰に處すべきである

と痛烈な論告の後被告に對し死刑の求刑を行つた、この時竹田辯護人は被告に對し「かうなつてから眞實と云へお前はほんとうにやつたとがあるか」と最後の質問を試みたところ被告は「覺えがありません」と依然否認を續け竹内辯護人の辯論に移り、京都の小笛殺しの例など引き裁判長から血痕鑑定の申請を却下したことは

遺憾 であると前提し

檢察官が有力な證據として擧げてゐる三點、卽ち被告の學生服に血痕が着いてゐるといふ點は四月頃喧嘩の際頭部に負傷した事實がある、被害者は百數十ケ所の傷を負はされ、全身の三分二の血が流出してゐるとの醫師の鑑定であるが然るに證據の服には胸部の一部分に僅少の血が附着してゐるに過ぎぬ、あれだけの兇行を行へば上衣といはずズボンといはず多量の血痕が附着すべきである、故に服の血は被害者の血とは思はれない、ボタンが

兇行 現場に落ちてゐたといふ點、これも被告のものであるか、同一の他のボタンであるか疑問である、次に十圓紙幣二枚の出所……これも戸田家では二十五六圓あつた筈であるといつてゐるのに何故二十圓だけ拔き取つたか、竊盜の目的なれば全部盜む筈である、證據の何れもが疑問であり、これを斷罪の資料とされるとは考へものである、血痕鑑定が却下となつた以上裁判官も檢察官同樣本件を被告のなせるものと見られてゐると推察するに難からず第二審の裁判を俟つより仕方ないと結び午後三時二十分閉廷、興味ある判決言渡しは來る二十四日午前九時と決定した

軍艦の通航自由な 大吊橋を架設

工費三千萬圓六ケ年繼續事業 愈よ關門をつなぐ

【東京十七日發】本州と九州とを連絡する鐵橋建設は多年の懸案であつたが内務省土木局では愈々鐵筋コンクリート構造の大釣橋を架けるに決し今月末永田内務技師を主任とする調査班を派し實施測量を爲さしめ明年三、四月頃迄に調査を完成せしめることになつた、而して架橋は最短距離に當る早鞆海峽を選び長さ五百七十間(九丁半)幅員十二間に及ぶ吊橋式によるもので世界に冠絶するものである同所は船舶航行多く軍事施設としても重要箇所であるから橋下は軍艦が自由に通行し得る樣橋の高さは海面の最高潮よりも六十尺とし橋の構造は二階建として一階は汽車二階には自動車及一般車道とし總工費三千萬圓を以て調査完了次第鐵道陸海關係各省會議を開き決定すれば昭和九年度より六ケ年繼續事業として實施の豫定である

ラグビー戰(十六日大連運動場にてうつす)

花

われ等の旅大を 花もて飾れ

杏、桃、櫻などの大量移植 風雅もの、土木課

旅順大連間に於ける[illegible]案は各方面共に研究され諸計畫中の一、二は已に實現されたものもあるがこれに關係を有する關東廳土木課方面では旅大を「花の都」となす事が最も當を得た事なりとし已に第一着手として全滿から支那の杏、桃の種子を多數取寄せ來春は約八萬本の花樹を王家屯水源地の廣大なる官有地に植ゑ更に櫻、桃等約五十萬本の移植を、尙又此の外に滿蒙植物中の新發見に係る珍樹妙花をも加へ眞の花の旅大と化せしめることとなつた、更に土木課ではこれによつて滿鐵を始め一般希望者には考慮の上無料配布を行ひ各自夫れ〴〵植樹思想を普及し以て一層その目的を達成せしめる方針であると

生血饑饉に 大連醫院よわる

奉仕的の給血者募集

大連醫院では以前より同院宣療患者に輸血する給血者を募集してゐるが現在同院の給血者四名しかなく血液供給の不足に惱んでゐる十五日も引續き二名の重症患者瀕死に陷つたので輸血の必要に迫られたが給血者不足のため漸く院内看護婦にて間に合した程であつた、同院ではこの際奉仕的厚意によつて給血者の申出を極力要望してゐる、なほ給血は普通健康體であれば本人に差支へないもので給血者には百五十圓の謝禮をなすことになつてゐる

對旅中優勝戰 育成大勝

戰前既に敵を壓す

全州グラビー大會 州内豫選

全國中等學校ラグビー大會滿洲一次州内豫選滿鐵育成對旅順中學の優勝戰は十六日午後三時より大連運動場に於いて桂(主審)橋口、芹澤(線審)三氏審判の下に開始したが27—3で育成大勝した

育成 6—3 旅中
　　 21—0

經過……◇前半◇ 育成トスに勝ちプール側(無風)に陣し旅中キックオフ、センタースクラムさなし、しばし小競合後一分育成陣十碼線上ルーズの球育成に出で左に流れて松岡進んだがFB井川好タックル後二分二十秒育成曾根突進したがこれまた成らず漸く十三分中央線上ルーズの球育成に出で森嗣—濱口—永見と渡りポスト右にトライ最初の得點を擧ぐノウゴール(育成3)▲十六分旅中TBパスで敵陣深く攻入り育成軍を脅したが二度の反則でもり返され反つて十八分育成陣二十五碼線附近より永見長驅四十碼更に好パンドして突進したが吉田背後より好タックルして危機を脫し二十四分また中央線より中村好防、二十五分中央ルーズの球またも森嗣—永見と渡り右中間にトライ、ノウゴール(育成6)▲旅中力鬪を續け二十七分左二十五碼内に攻入り小沼バンドの球羽入田、小沼を追ひかけたが羽入田ミスしその間小沼飛び込んでトライ、ノウゴール(育成6、旅中3)▲旅中攻勢裡に前半を終る

◇後半◇ 二分敵陣二十五碼中央ルーズの球育成羽入田—永見と渡り永見ハイパンド、球左フラッグ近くに轉々さするを濱口よく取つてトライ、ノウゴール(育成9旅中3)▲六分旅中陣十碼線のルーズより球育成に出で永見に渡つたが左フラック寄りにタッチ、——ルーズさなり永見—濱口—松岡と渡つてポスト直下にトライ、羽入田コンバート(育成14旅中3)▲十分旅中FWドリブルで二十五碼内に攻入るも成らず十四分旅中陣中央ルーズの球羽入田—濱口と渡り濱口好ダズル後左中間にトライ、ノウゴール(育成17旅中3)▲更に十七分中央タイトの球濱口さつて突進したがルーズさなり永見—曾根と渡り曾根タッチに沿ふて突進ポスト直下にトライ、羽入田コンバート(育成22旅中3)▲二十四分中央線ルーズの球を旅中FB井川受けてキックしたが突進中の濱口の身體にあたつてはね返されるを松岡飛び込んでトライ、羽入田コンバート(育成27旅中3)▲後旅中大いに奮戰したが遂に成らず敗る

(旅中)
藤森西中代田井多沼岡村村田村川
遠大前田田松金渡小米能川吉中井
FW　HB　TB　FB
森岡莊卷村元尾島田福岡口根見桑
濱小中岩西大羽森松濱曾永高
(育成)

安樂椅子

滿鐵々道部の若手參事のうち男らしい好男子として、また愛妻家として有名な石原重高氏は新設局の庶務課長に内定、日の出の勢ひを示してゐるが、最近この石原參事の部屋に續々として女文字の艶かしい手紙が舞込むとの情報が飛んだ。

これを聞いて憤慨したのが、その方面の猛將次將軍江崎重吉參事(近き未來の經理課長)「現場を押へてトッチメてやる」と意氣込みながら石原參事の部屋に入つて來ると案の定机の上に女文字の手紙。

何も知らぬ石原參事忙しい身體を部屋に運んで來ると江崎參事が憤慨してゐる、石原參事「そうか」と笑ひながら封を切ると二通の中から出たのはこれなんと二通の履歴書、石原參事は謹つて曰く「新聞に大募集をやるなんて書くから履歴書の山だ、それも舊友の奥さん連から夫の失職をなんとかして下さいと頼まれると僕は實際心苦しくなつてくるよ」成程抽斗の中は履歴書の山憾に塊い江崎參事「そりや君は苦しかろう」と到頭その晩石原參事に夕飯を御馳走してしまつた、後で江崎參事「俺はいつもこれで損をしとる」

父重平儀豫て病氣の處療養不相叶十七日午後一時十五分永眠致候間此段謹告候也　男 中村宗二郎

海と空と (30)

高杉晋一郎作
橋本清史畫

手紙 (二)

「……斐切の只中にあつて、僕が僕等の受持つてゐた仕事と役割の完全な混亂、又官憲に依つて切斷されたあらゆる連絡の途絶の中に凝然座つてゐた時、僕の中に思ひもよらなかつた僕自身の眞のみぢめな姿が見えて來たのだ。その時そこに現れた思索の新らしい芽は次第に僕を苛めつゝ成長して行つた。さうして今は僕は僕の僞善から脱却して眞の僕に還らうとしてゐる事が感ぜられる。一切は僞善であつた。さうして今僕は僕が小市民層意識以上の何物をも僕の中に樋り得てゐなかつた事が解る。否それ以上である必要はなく又それ以上であり得る筈もなかつたのだ。今は一切の僞善を棄てやう。僕は個我に還る。僕はスチルネルに還らなければならないのだ。そこに少くも僕を云ふ人間の眞はあるのだ。

「勞働者にパンを與へよ」と血で以て叫ぶ聲は、勞働者以外から出て來るものではない、又勞働者が叫ぶだけで充分だと思ふ。そこには力があるだらう。僕等小市民が同情を寄せるに及ばないのだ。同情、その嘘を僕は今は憎んでも憎んでも飽き足らないと思ふ。小市民層はまだ飯は食へるからね。人間は正直に利己的である方がどんなに厭味がなくてよいか知れない。利己的な諸觀念は成程、私有財産的諸社會制度が人間に植えつけたものであつて人間本來のものではないかも知れない。然しそんなものが頭の中だけで淸算されるならさうした理窟を說くマルキシズムそれ自身の自殺になるだらう。プロレタリアさへ彼等が勇敢に鬪爭し得るのは階級の爲よりもむしろ自分の爲なのだ「やれ、やれつ」と手を振りあげて叫ぶ時の無産大衆の意識は將來の社會意識からと云ふよりむしろ資本主義的な色彩たつぷりの意識からなのだ敢て云へば彼等は彼等のエゴイズムを勇敢に押し通して行けばよいのだ。

獨斷かも知れない。然し僕に今獨斷は何の痛痒でもあり得ない。どうせ正觸な理論など云ふもののあり得ない世の中なのだ。甲乙と端だからと云つて甲乙を折衷した兩論が果して正鵠であり得やうか。絶對的な何の理論も結局はあり得てゐない古今東西の歷史の中で、ドグマだけが素晴らしい切味を持つてゐたと敢て云へるだらう。循環する思索の混沌の中で、精密な觀察を以て、物の兩面をとみかうみして精一杯の客觀を貴んで出來上つた理論が何の絶對的眞を傳へ得たらう。長をとり短を棄ると云ふ風な氣取つた態度ででつちあげた正鵠な理論とやらの生ぬるい取澄ました顏よりも、僕は切味のよい獨斷を取らう……」

かう云ふ事は殆ど毎回の手紙の中で裏が繰返してゐる事だつた。言葉こそ違へ、つまり結局人間と云ふものは利己主義者であり、それを正直に表してゐる事が最も眞であるのだと云ふ風な事だつた。時には社會科學的に學理的に種々と理論づくめでそれを云つて來た。谷はこれを讀んで、裏の中にゐる事が批判ばかりしてゐる樣で案外批判以内に混迷そのものの中にもがいてゐる點を明確に指摘してやつた。その返事に對して裏は挑戰するやうに再び谷の言葉を一々取りあげながら議論を持ち込んで來るのだつた。然し裏の昔からの谷へ對する敬愛だけは決して失はない、と云ふよりむしろ、かうして自分の苦惱を一々訴へて來ると云ふ事が谷へ對する敬愛を最もよく說明してゐると云つてよかつた。谷は飽くまでも冷徹にだに明晰な答辯をして遣るのだつた。裏の手紙はまだ續いてゐる。

「……友愛にした所でさうだ。土屋の懷しげな顏がいや味に見えた事を君はひねくれだと云ふが、ひねくれと云ふ事は少しも僕にとつてやつつけられた事にならぬ。ひねくれてゐなければ物の眞實は見えないのだ。僕が君にかうして手紙を書く事も決して友愛ではない。僕は僕にとつてかうした感懷を吐きつける事が快よいからやつてゐるのだ。つまり僕自身のためにだ……」

滿日特選碁戰

第十二回 先相先先番 三段 渡邊英夫氏 / 四段 長谷川章氏

—【3】—

黑	白
●四一タの十五	○四二ダの十七
●四三ヨの十五	○四四レの十五
●四五レの十四	○四六ソの十五
●四七タの十三	○四八ソの十四
●四九ヨの十四	○五〇レの十二
●五一リの三	○五二トの五
●五三リの五	○五四ルの三
●五五ルの五	○五六ワの三
●五七チの七	○五八リの二
●五九チの二	○六〇チの三

對局者の感想

黑曰く 征がよいので白の模樣にそなへて上を粘ぐ定石を取りました

白曰く 四八で(ワの十七)に飛ぶのが定石ですが右方面に望みがないので廣い方へ出る策に出たのです

黑曰く 五三は如何でしたか(チの三)に打つてゐればおだやかなのですが

新刊紹介

▲國際知識(第十一號) リットン報告書(卷頭言)日滿議定書の解剖(信夫淳平)リットン報告書に就て(山川端夫)リットン報告書對策(末廣重雄)リットン報告書の法律的形式論(板倉卓造)リットン報告書と日本(西澤英一)一般軍縮會議に就て(永野修身)ソウエート對外經濟政策(龍宮谷淸松)國際聯盟展望、國際關係記事(編輯部)聯盟の活動(聯盟事務局東京支局)新刊紹介さして大熊眞氏の信夫淳平博士の「上海戰と國際法」の紹介があり、資料には軍備平等權に關する獨逸政府の對佛覺書及びフランス政府の對獨回答を揭げて讀者の研究の便に資することにした(定價四十錢、發行所東京丸の內二ノ十二國際聯盟協會)

▲性(十一月號) 性的表情性的技巧の研究(澤田順次郎)性交と妊娠及び月經との關係(阿部喜一郎)夫は妻の性を啓發すべし(靑柳有美)性慾減退と性的神經衰弱の療法(佐多芳久)子供から大人に至る性的變化(秋山尚男)少年少女不良化の實情(飯島三安)神經衰弱と誤り易い癲癇性痴呆との鑑別(前田珍男子)性的犯罪夜話(松木秀一)少年少女の犯罪と家庭への注意(保美勝藏)藝娼妓私娼の遊興調べ(草間八十雄)パリーの夜を彩る女(高木白羊)生殖器機能障害に對するホルモン注射に就いて(朝岡稻太郎)定價三十錢、東京市本鄕東竹町三六日本體性學會發行

▲同仁(十一月號) 支那を壽し列國を衍まる國家思想(無平學人)滿洲國承認感言(岩田英治)支那現行文獻所觀(飯島茂三)十年前(牛島清造)王畿基の怪火(松村紳之)珍儀譚(岩本正樹)張天師拜訪記(桃谷文治)王道實踐論に對する質疑者に答ふ(野滿四郎)南島醫院研究學見聞記(中島義雄)この外、外紙上のリットン報告批判、生阿片に關する各種統計、英文「中國醫史」紹介(調査部)長髮賊(梅外山人譯)の小說等がある(定價二十錢、發行所東京市神田區北神保町二十番地同仁會)

▲農業の滿洲(十一月號) 作物の收量に及ぼす灌漑試驗成績(村越信夫)日本蠶業の將來と滿洲の養蠶(湯川秀夫)滿洲に於ける稻イモチ病の發生とその防除(高杉英男)世界に於ける忽布產(野美治、村越信夫)營口地方に於ける罌高粱の栽培(下見雄造)農談集(水野薫)滿洲特用作物の栽培—亞麻の巻(稻留帶刀)緬羊の飼育(伏見覺)定價三十五錢、發行所大連市紀伊町八十五番地滿洲農事協會

滿日柳壇課題

▽題 「新京」「腰」「當選」
▽句 各五句住所氏名明記の事
▽期 十一月二十日締切
▽賞 秀逸薄賞を呈す
▽宛 大連市能登町十高橋月府

けふの放送

大連 JQAK

十八日自午後六時 健康週間の夕

▲ニュース ▲挨拶 大連市長小川順之助 ▲講演「乳幽に就ての母の注意」 齒科醫院長關利重 ▲同「豫防の出來る眼病」大連醫院醫長醫學博士船川尤三 ▲合唱「文部省體育運動歌」(保健に關する音樂)(イ)榮えゆく(ロ)高鳴る血潮(ハ)若き者、滿鐵音樂會演奏部員、伴奏マンドリンオーケストラ、指揮高津敏 ▲講演「扁桃腺炎の症候と手當」醫學博士森本辨之助 ▲同「梅毒の話」大連醫院醫長醫學博士柳原英 ▲ラヂオドラマ「青空」木村正作(小島章)同フサ子(澤見薫)中尾實(伴太郎)外に子供大勢、效果水島玲子、放送指揮志野羊吉 ▲挨拶 滿洲日報社營業局長佐賀秀雄 ▲職業紹介事項 ▲ニュース ▲氣象通報

東京 JOAK

十八日自午後六時三十分

▲講演「滿洲の金融と經濟事情に就て」滿洲中央銀行副總裁山成喬六 ▲新絃樂(七時)高峰バンド ▲ピアノ獨奏(七時三十分)(一)ロマンス(諸木三郎作)(二)前奏曲第二(服部滿作々)(三)即興的樂詩曲(山本直忠作)(四)白翁の唄(宮原明朗作)(五)たそがれの端緒(伊達昇作)(六)濱の踊り(淸瀨保二作)出演者未定 ▲獨唱と二重唱(七時五分)湯淺永年、櫻井京、ピアノ伴奏吉原規 ▲獨唱(湯淺永年)濱の入江(吉原規作)二獨唱と二重唱(湯淺永年、櫻井京)雨の日(吉原規作) ▲管絃樂(八時五分)(新交響樂團練習所より)ロウマン組曲(御厨庄吉作)(一)マヅルカ(二)夜奏曲(三)假想曲(四)タランテラ、日本放送交響樂團、指揮山本直忠

雜誌

講談倶樂部(十二月號)「海妖傳」「不破數右衛門」「呪の假面」「魔の列車」「淸風莊事件」「心中青庚申」「心の太陽」「妖麗」「人生初年兵」「女難病む」
◇中間讀物には「動干戈・百君尾」「明治逸話集」「人氣作家趣味くらべ」「新進花形評判グラフ」

雄辯(十二月號)
●「日本若し孤立せば」といふ表題を揭げた座談會がまつ先に眼立つ●リットン報告に報ずる列國の論調と日本の決意(八瀨不泥)重任を負うて壽府に使する踏の人・腕の人・腹の人(北公治)次々に起る大問題(千葉龜雄)等々の時局ものに次で「人を見て法をとくコツ座談會」「雄辯範人生は一場の劇」(藤咄堂)(誌上公會演說會)其他本社獨特の編輯記事も捨難い妙味がある

富士(十二月號)「きさらぎ九平」や「鐵國定忠次」は大團圓「晴曇」は更に曲折波瀾を生んで來年號へ繰越し「東京哀歌」「伊達騷動」「薔薇色の道」と見逃せぬものは依然多い、讀切ものが揃いでもあるまいが、師走の舞、ドッサリ、その中で幹彦の「夜の酒屋」「上海事變實話」といふ光彩陸離たる女間諜物語の、「愛國の」「森の黎明」「默禪の」「義士と紀文の男競へ」も結構だが、探偵實話「尼僧寺の怪異」の凄味、村松梢風の「泣虫草鞋」のいなせ共に離らない面白い

キング(十二月號)附錄の一「昭和イソップ」は現代人の生活から、イソップ式寓話を發見したもの十八篇、どの篇も頗る氣が利いてゐて、寓意、諷刺の鋭さは天下一品。雜誌讀物の面目さも、こゝいらが本當の覗ひであらうと思はせる。附錄の二「各種職業成功繁昌實際談」新讀物では短篇傑作が五篇、加藤武雄の芝居小說は「野崎村」中間物だが「馬賊の監禁、脫出實記」「兵隊凄さん涙の手記」「冒險實話大熊と組打つ」などどれも捨て難い味に富むものだ

現代(十二月號)◆「議會主義に依るファッショ」(五來欣造)「リットン報告書を吟味する」(町田梓樓)「松岡洋右氏を語る」(三名士)「當面するジエネバの問題」(浩澤洲)其他、論說に相當センセーショナルなものを集めた「非常時日本の百人物」「發明工夫自力更生金儲け體驗實話集」◆「ユーモア傑作集」(五篇)「漫文漫畫歲末悲喜劇」(八篇)「新作落語初戀打明け座談會」など特に面白い

幼年倶樂部(十二月號)組立ての「四十七士の討入り」を附錄とした「俵星玄蕃と杉野十平次」「拳骨和尚」「ナポレオン」など幼年讀者向が多い、口繪、寫眞、其他編輯ぶり、子供雜誌として評判がよい

少年倶樂部(十二月號)「空の快男兒號」として飛行機と鳥人を中心としたもの、附錄には「我が陸軍の大威力」「空の二勇士物語」「世界飛行グラフ」など空に關する記事、寫眞、繪畫が見事だ「大東の鐵人」「青空に歌ふ」「エミリアンの旅」「わんわん時代」「萬歲栗毛」「地底の都」など連載もの

少女倶樂部(十二月號)新年號豫告で仲々賑はつてる。附錄は「筆立セット」一組其他に美しいクリスマスシールもある「鬼子母解脫」「早く來い來いお正月」「二人連」敎讀物以外「孝行馬子唄」「大石主稅」「愛犬エリ」「サンタロース」「さはらぬ瓶」などの面白い讀物が多い

リ報告反撃 決議文打電

【四平街】去る十日時局市民大會を開催し、リツトン報告反對決議文を作成した四平街在郷軍人分會では、十五日齋藤首相以下、内田外相、荒木陸相、永井拓相、一木宮相、眞崎參謀次長、高橋軍令部次長、徳川貴族院議長、秋田衆議院議長の十氏に對し夫れ〴〵決議文を打電し同時に諸府の各幹部にも之が簡略せるものを送つた

滿洲國人の購買力増加
銀高と關税獨立で 邦人商人福々

【新京】從來滿洲における在留邦人の經營に成る商店は其の殆ど大部分が世界的不況と經營の少い支那商人の進出の爲に壓迫され苦境に陷つてゐたが最近の銀高と滿洲國關税獨立に依る上海方面よりの輸入杜絶の爲め内地製品の輸入旺盛となり漸くその商況活氣を呈するに至つた、殊に奉天方面の輸入は暫く杜絶してゐた奉山線の開通に依り銀高に伴ふ滿洲國人の購買力増加の爲大阪方面商品の奧地移入盛んとなつたがその中日常生活必需品、綿製品、雜貨等は殊に需要盛んにして奉天における綿製品工場は晝夜兼行その全能力を揚げて活動をなしてゐる、尚奉天のみならず地方に於ても標榜を極めてゐた匪賊軍の皇軍の勇敢なる討伐に漸次平定し、奉海、吉長、奉山線奧地滿洲人商人との連絡も出來注文は殺到し、此の爲邦人商人福々もので滿洲景氣を謳歌してゐる狀態である

手取七十錢では 期待も臺無し
枕木元請業早くも悲鳴

【吉林】赴運中の吉林滿鐵枕木元請業者からの去る十日午後入電に依れば、滿鐵本社との協議は略決定を見た模樣で枕木總數七十萬本吉林渡し單價一圓二十五錢中央銀行外の私有林一圓五十錢に決定の模樣で其の後大連より何等入電もなく最早確定的のものと見られて居るが、當地元請業者および下請業者の意見を聞けば昨今の如き銀高の上に山份も自分では造材並に出材地方税、管理費、運賃、金利保管料等加算する時は出産費合計吉林渡し約五十四、五錢位を見込まねばならず結局手取りは七十錢前後よりなくこれでは折角の期待をかけてゐた冬仕事も全く臺無しだと悲鳴を上げてゐるが、右に關し當地木商側では斯かる安い單價につけられては枕木採算上の不利益は未だ忍ぶとしてもそれ以外の原木角材等に惡影響を齎す點が多大であらうと憂慮して居る、然し中央銀行側では山份は安過ぎたと語つて居り對滿鐵枕木の山份契約十八件吉敦林場の利用價値から言つても事實今度の單價が自行の林場と他の私有林との間に二十五錢の開きを見せたのは此の事實を表すものにて滿鐵は大丈の利益を生じた譯であると、尚之れに依つて木材界もたとへ安く共相當好況を來すものと見られ滿洲國中央又は吉林省公署でも林業といふものに

チチハル ダウリヤ 間 七百粁翔破記
滿洲航空株式會社運航課長 河井義匡

……腰度か滿洲里邦人救出の爲に滿委員が飛行機でチチハルより滿領ダウリヤに飛行するの記事を見其の實行は我社に於て遂行すべき責任あるを自覺してゐたが、各種の事情に下に延期せざる可らざるの情況であつた、此の空輸は簡單なやうで實施者責任者としては決して簡單な事でない、第一既に零下三十度前後の地に於ける發動機の運轉の困難、第二目下西風強く毎時七十粁の向風で飛行しなければならぬ、機速百五十粁としても對地速度は實に八十粁に減じ、約十時間を飛行しなくてはならないからである、前に第一回の滿洲里飛行中不幸殉職した

板倉機 の遭難に鑑し、往復無着陸の飛行を實施すべき燃料を搭載するを要するのである、搭載量は限定せられてあり、空輸の人が相當多數な上に攜行荷物が又驚く程多いのだ、この外に種々な困難が伴つて實施者としては容易ならぬ苦心であつたが、何彼と多忙の中に愈々決定した出發當日たる十一月十一日を迎へたのである此の日日出前飛行場に行く、天運に惠まれ寒氣は零下十度微西風にして薄雲天空を被つてゐた、一切の準備終了、試運轉良好、發動機は爆音を弄するが如き響きを發す、準備全く終る時委員及見送の人々參集、搭乘者は委員長小松原大佐、委員楠本中佐、宮崎少佐、宮崎大尉、空輸會社藤井田操縱士、岡技操縱士、石川機關士、早朝の靜寂を破り爆音地を轟る中に荷物の積込終り、多田少將、林少佐、各新聞社の人々に送られ一同機上の人となる、時將に太陽を東天に仰がんとし一同の顏面自ら暖かだ

旅客機 は滑るが如く地を機首を北にし愈々スタート、流石四噸九百瓩に近きフオッカー機は滑るが如く地を蹴つて離れ、全く明け切らぬ暗空を一路西の方ダウリヤ目ざして快翔した、時に午前六時四十分、五百乃至千粁の飛行は物の數でないが全くの高山地帶と氣象不明な上に全航程皆敵地である、今迄萬全を盡した機關も神佛の加護を祈らない譯にゆかなかつた、旭光を背いて機は暗空を滑る、チチハル西方の嫩江流域一帶は夏の豪雨で水尚去らず、今や寒氣に鎖され白氷と化し頗る美觀、川の對岸は蒙業結の地なので漸次高度を採る、眼下一面枯野原に朝霞が靜かである、發程三十分にして大

大興安 嶺山系東端に到る眼に映ずるは單調なる山地の端に蜿蜒長蛇の如き遺跡だ、これ七百餘年前英傑成吉思汗が作つた壘址で延長四百粁、俯下しつゝそゞろに往時英傑の偉業を偲ぶ、時に旭光東天に昇らんとして機影を鮮かす、午前七時三十分問題の地札蘭屯を通過、次いで大興安嶺に到着山岳々高く山頂一帶白雪を頂く、飛行高度一萬六千米、上空の溫度十五六度と推定された、眼下に蜿蜒たる鐵路より極東を連れる黑金の二條の大動脈を俯瞰す、山又山に聳ゆる雲が深い、ブヘトがその山地帶の中間に淋しく見へる午前九時モネト部落を越せば暫時にして蜿々

大蛇に 似たるハイラル河畔に出づ、午前九時十五分早くも機はハイラル上空に達した、蘇炳文此處に在り、客席を見れば今迄餘りの平穩に居眠りしてゐた人々もゆり起されて俯下しつゝあり、市の周圍特に西方に對し數線の散兵壕が掘らされてゐる、午前十時半滿洲里に達す、暫時にして更に一部邦人避難の地露領マツエフスカヤに到着、數回旋回せしも應答を認め得ず、機首を更に西北に向け約三十分にして目的地ダウリヤに到着した、飛行場は市の南にあり、旋回二回の後エンジンを休める我J・B・B・T・O機は滑るが如く着陸姿勢に移り五色旗を翼に飜れく始めて他國の地に車輪を停めたのである、時に十一日午前十一時十分であつた

警察機に獻金

【鞍山】鞍山製鍊所に於ては兼てより從事員一般に對し關東廳警察機建造費獻金募集中であつたが此程締切り合計六百圓七十錢に達したので奧村庶務係主任が所員を代表し十日鞍山警察署を經て關東廳へ寄附した

滿洲神社を新京に建設
奉獻委員會を設け 第一回協議會開催

【新京】新京に滿洲神社建設の儀については去る十一日滿鐵地方事務所に時局後援會主催のもとにその幹事が集合第一回の協議會を開催したが席上愼重研究を要する事項とて、滿洲神社奉獻研究委員會を設け引續き研究することゝなつた、その委員は左の十五氏で更に五名の顧問を設けた

▲顧問 小山彌、高山勝司、奧平廣敏、市川藏、田中正一
▲委員 地方事務所長、田中善平、永原岩雄、井上香木、勘崎仙英、島名福十郎、北原廣、栗原重康、學校團代表、原口純元、四戸友太郎、田中卓二、下徳直助、小澤禎吉郎、小松兼紗

國防費に 三百圓寄附
宮崎啓吉氏が

【新京】新京城内自轉車販賣業宮崎洋行主宮崎啓吉氏は十五日城内憲兵分遣所に出頭國防費の一部にでも加へて戴きたいと金三百圓を寄附したが頗る奇特な行爲として賞讃されてゐる

新京少年團 代表出發

【新京】長春健兒團は今回新京少年團と改稱されたが本月二十一日東京に於て開催の全日本少年團總會には竹下國雄君が新京少年團代表として十七日新京發鳩にて出席の途についた

四平街小學校 生徒増加

【四平街】四平街小學校に於ける十一月十四日現在の生徒總數は男生徒三五二名、女生徒三三三名合計六八五名にして家政女學校生徒一六名を加へると七〇一名の多きに達し、之を昨年同月に比すると約五〇名の増加を來してゐるが今學年男女別に列記すれば左の如し

學年	男	女
尋一	六二	六一
尋二	六四	五二
尋三	五三	六〇
尋四	四七	五一
尋五	四三	五三
尋六	三二	三四
高一	二八	二二
高二	二二	一八
合計	三五二	三三三

前後して森林の調査などなし又搬出には十分の考慮をなし相當な技術者其他からも專門家が出張して運送の捨鉢的になつてゐた森林を開拓すべく目下各所に調査團が入り込んで今後大いに活氣を呈するものと見られて居るが、比較的吉林林は出産費が高く尚その上に運賃の多くかゝる處より廣く販路の擴張をする上に於て誠に不利なる關係にあり今後吉〇線の開通によつて幾分運賃及び經路もよくなり甦るものと觀られてゐる

日滿兩國軍が 匪賊團を擊退
剿滅を期し追擊中

【鐵嶺】開原縣東北部清河溝に於て潘海線方面から討匪のため進出し來つた滿洲側討伐隊の一擊を喰つた匪賊團は進路を轉じ南進し再び滿鐵線を突破西方に逃走せんとし漸次中固を目指し西進しつゝあつたが十五日夜半頂堡の東北娘々廟部落に到着し滿鐵線警備の我が軍の虛に乘じ滿鐵線の橫斷を期し十六日午前四時更に西進を開始平頂堡の北方板木林子部落を通過せんとし同夜來警戒中の鐵嶺〇〇隊小松〇隊〇〇名、佐澤教官指揮の鐵嶺保安隊〇〇〇名のため賊は谷間に追ひこめられ高地から保安隊の猛烈な挾擊を受け正面より山松〇隊の猛射を浴び大混亂に陷り激戰一時間で漸く東方に血路を開き大紅石三家子に向け總退却開始したが我が日滿軍は徹底的討伐を期し尚追擊中である、此の交戰にて賊は死體五、捕虜二名、銃一挺、槍一本、生馬四頭を遺棄したが我が軍に一名の死傷もなかつた

飛行場を覗く 怪漢を逮捕

【四平街】四洮鐵路局警務課巡警部文秀が十四日夜八時三十分頃四平街飛行場西方程高棚に於て飛行場警戒のため立哨中夜陰に乘じ我が飛行場を窺ふ怪しき人影を發見直にこれを逮捕し、四洮警務課にて目下憲兵指導の下に匪賊の容疑者として嚴重に取調中であるが、前記巡警部文秀は警戒勤務に感心なるものとして十六日飛行大隊長辻大佐より賞狀及び金一封を贈與された

傷病兵轉院

【鐵嶺】鐵嶺衞戍病院に入院中であつた傷病兵のうち五十四名は旅順同病院に轉院することゝなり十六日午後六時五十二分發列車で離鐵出發した、又十五日午後九時六分着急行にて北滿より十名の傷病兵來着鐵嶺衞戍病院に入院した

開校記念 學藝會

【新京】新京西廣場小學校では十六日が開校記念日に相當したので午後六時から同校講堂に於て學藝會を開催したが兒童の父兄その他多數の參觀人があり盛大を極めた

紅萬字會婦女 會員募集

【鐵嶺】鐵嶺紅萬字會では從來會員は男子のみに限られてゐたが今後婦女會員の募集をもなすことゝなり既に婦人同會の事務所を當城南門裡德順胡同に開設すべく決定目下準備中である

第二回全滿健康週間
全滿十六地方における 健康診斷の日割決定

恒例に依る第二回共同主催の全滿健康週間中沿線十六ヶ所の滿鐵醫院（奉天は滿洲醫科大學醫院、吉林は東洋醫院）に於ける健康診斷は左記の通り開催す

◇瓦房店滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より三時まで」日曜日、祭日休み
◇大石橋滿鐵醫院（健康診斷）十一月十八日より一週間「每日午前九時半より正午まで」日曜日祭日休み
◇營口滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後零時半より二時まで」日曜日、祭日休み
◇鞍山滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午前九時より十時まで」日曜日、祭日休み
◇遼陽滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より三時まで」日曜日、祭日休み
◇公主嶺滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）同上
◇新京滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より二時半まで」日曜日、祭日休み
◇本溪湖滿鐵醫院（健康診斷）十一月十八日より一週間「午前九時より正午まで」日曜日、祭日休み
◇撫順滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）同上
◇奉天滿洲醫科大學醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より三時まで」日曜日、祭日は休み
◇吉林東洋醫院（健康診斷）十一月十八日より一週間「每日午後二時より四時まで」日曜日、祭日休み
◇ハルビン滿鐵醫院（健康診斷）十一月十八日より一週間「午後一時より三時まで」日曜日、祭日休み
◇鐵嶺滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八、二十一の兩日「午後一時より三時まで」同上
◇開原滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より三時迄」日曜、祭日休み　十一月十九、廿二、廿四の三日間「午後三時半より四時まで」
◇四平街滿鐵醫院（健康診斷）十一月十八、十九、廿一、廿二の四日間「午後一時より二時まで」
◇安東滿鐵醫院（健康診斷、齒科診斷）十一月十八日より一週間「每日午後一時より三時迄」日曜、祭日休み　十一月二十一、二十四の兩日「午後一時より三時まで」

主催 滿鐵地方部 滿洲日報社

四平街洋樂會 演奏會
二十三日開催

【四平街】滿鐵俱樂部圖書館主任濱浩氏を主宰とする四平街洋樂會では來る廿三日俱樂部ホールに於て第十二回演奏會を開催することゝなりこれが準備に忙殺されてゐるが開催の曉は當地洋樂ファンをして熱狂せしめるであらう、尚當日の純益金は會の基本金にあて一部を警備隊に寄贈する由である

安東遊覽飛行

【安東】滿洲航空株式會社新義州出張所では開業記念として來る二十日安義兩市街及び鴨綠江山嶺上空を一周五圓で遊覽飛行を行ふことゝなつた、初冬の國境風景を一瞬のうちに眺めることが出來る譯だ

巨人の横顏

衞生

細菌學の二大建設者

メチニコフ

エールリツヒ

放ツて置けば一大事 痔核は斯うして治せ

保存療法に依るのが最大安全

長町醫學博士の談

痔 痔疾の約八割を占めると云はれるのは、俗に云ふ疣痔、即ち痔核である。痔核には内痔核と外痔核の二種類あつて内痔核は、その症狀のものが、肛門括約筋の内部に出來るのが其れで、反對に括約筋の外部に生じたものが外痔核である。

疣 痔の起る原因は、種々あるが、就中大酒の後とか、刺戟の強烈な食物を過した後、或は冬の寒い風に吹かれて、冷え込んだ樣な時に浸され易い。炎症を起して局部が腫れ上ると、一寸の歩行さへかなはず、灼熱的痛みを感じるのが痔核である。

單に痛味だけならよいが、往々痔核が破裂して出血或は粘液を分泌する事がある。特に恐る可きは、

破 裂した所に、有害菌が浸入すると、痔瘻などに變化する恐れがあるから、放任して置く事は極めて危險である。又此の痔核の破裂に依つて起る出血の恐ろしさは、極度の貧血から來る頭痛と、俄然腦貧血症狀を起して、卒倒人事不省に陥る事である。痔核の惡性なのになると、大手術を行つて、患部を深く且つ大きく切り取る事もあるが、然し手術の結果が惡いと、一命をさへ奪はれる事も珍しくはない。だが近來は、

手 術と云ふ事よりも、保存療法と云つて、藥物療法に依る事が多い。勿論此の藥物と云ふのも、內服藥よりは外用藥即ち貼布藥と座藥に依る事が、最も安全であり、また迅速な效果を齎らすものである。

要 するに、その座藥なり貼布藥なりも、局部靜脈の鬱血症狀を消退し、炎消性、或は鎮痛作用を充分に具備した藥でなければ理想的とは言へない。兎もあれ、世人が痔疾と見ると輕視する傾向があるが、例へ輕症であるにせよ、決して放任して置く可き疾病ではない。

『記者附記』長町博士は、日本橋通三丁目に外科を御開業です。

痔の藥

灼熱的激痛も快速に止める

理想的自宅の治療藥

保存療法であつても患者自身が、自宅で手輕に治療の出來るものでなくてはなりません。而して貼布藥なり座藥なりを充分選擇する必要があります。座藥や貼布藥で、最も覿面に效くか效かぬかが分るのは、痔核に用ゐた時です。

◇◆◇

先づ其の第一條件としては、鬱血症狀を消退するか、灼熱的な痛みを迅速に鎮靜するか、收斂作用が充分であるか、止血作用があるか等々、嚴密に調べた上求む可きで、徒に誇大な廣告などに釣られて、何等效力の無い藥劑を求めて、より疾病を增悪する樣な事のない樣注意せねばなりません。

◇◆◇

その意味から申して、痔核に最も效果を有するのは「小松ぢの藥」で有ります。鬱血消退、疼痛鎮靜止血、收斂作用等、迅速に效を奏し、急激に襲來した痔核等でも、使用後數時間にしてよく效果を發揮するのが特徴です。

◇◆◇

而かも「小松ぢの藥」は、單に痔核のみの妙藥ではありません。裂痔、痒痔、痔出血、脫肛、痔瘻等肛門一切に神秘的な效力を具備してゐます。說明は別として、現在痔疾に惱む方は、速時お求めの上御試用になれば、其效果の如何に迅速であるかゞお分りになります

―此の元氣を見よ―

（世界の最高峯アルプス山上に於ける裸體教育）

療病顧問

痔核の破裂が因で痔瘻に變化して、遂に一命を奪はれたと云ふ樣な話も數限りなくありますから然うした重症に陥らぬ中に適當な治療をなさる樣お薦めします。

出血して人事不省

問 私は、一勞働者ですが毎年冬場になると疣痔で閉口してゐるのです。もう四年にもなるのですが、勿論此の間には、醫者にもかゝり賣藥等も汎ゆる物を試用して見ました。併し餘程惡性な痔疾と見えて、冬になるとやられるのです。

逐ひ此の間も、少し酒を飲んだのが惡るかつたのか、急に肛門部が腫れ上つて、歩くも何もならないのです。が折惡しく忙しい仕事があつたので無理に苦痛を耐へて仕事場に出ると、突然局部から出血して卒倒して仕舞ひました。

暫くして氣が附いて見ると、餘り出血が甚しかつたので腦貧血を起したのだそうです。それに最近では、汚ない話ですが大便の度毎に自分で肛門部を押込まないと、何うしても這入らないのです。

何か痔に能く效く、而して根治する樣な妙藥はないものでせうか、助けると思つて、何うぞ好い痔疾藥をお敎へ下さい。

斯うして手當せよ

答 酒を飲んだり、疾病中に無理な働きをする樣な事は絶對にさけなければなりません。殊に疣痔が破裂した場合は、早く其の裂傷した部分を防ぐ療法を取られねばなりません。それには肛門部に集る惡血を速く消滅して、一方止血作用の敏速な貼布藥と座藥をお用ゐになるのが最も得策です。

最近は、種々誇大な廣告で痔疾藥と稱するものが市場に出て居りますが、そんな物にまどわされない樣に、小松ぢの藥の痔退膏と痔退座藥と云ふのを一緒にお使ひなさい。然うすれば貴君の樣な惡性な疣痔でも、よく全快致します。

なほ何んな性質の痔疾でも、能く便秘が伴ひますから、それには矢張り小松ぢの藥の中に、痔快丸と稱する內服藥がありますから、それをお飲みになると、便通も自然便になつて、一層迅速に全治せしめる事が出來ます。

國難日本刀（157）

高桑義生 作　京極佳夕 畫

風雲けはし（四）

が、すぐにさうではないとわかつた。

お加代は瞬間さう思つたのだ。

（弓之助樣……）

主税助は、

「おゝ、これは……」

といつて、顔をさげた。

お加代はどうしていゝかわからなかつた。茫然として、そして主税助の挨拶に、あわてゝ會釋をして、下を向いた。逃げるに逃げられず、もぢもぢした。

「みごとな庭の風情に、ついひかされて、うかうかと——。御免なされ」

主税助はいつた。

「いゝえ」

「それにもまして、美しいそなたは、失禮ながら、御當家の……」

お加代は消えも入りたかつた。何を答へたらよいのか。昨日の朝、宿泊の兵に見られて——だのに、それに懲りもせず、今朝は思はぬ人にかうした言葉をかけられる。かくれてゐる現在の身の上で、なんといふ輕率だつたらう——とかの女は後悔した。

「お嬢御でござらうな」

「はい……」

とお加代は答へてしまつた。

主税助はなれなれしく寄つて來た。そして、——

「それをお生けになるのか？」

「はい」

「ひと枝、所望いたしたいものだが……」

お加代は悲しくなつた。相手は如何にも無造作に、氣輕に——それだけに避けられない。そして、お加代はうらめしかつた。そして、相手の顔を見ないで、無言で、手に持つたゞけの黄菊を、さゝげた。

主税助は更にそばに寄つて、嫌長な眼で、じつと、なまめかしい彼女のなめらかな襟腳に惚々と見入りながら、わざとながい時間を費しながら、それを受取つた。息づまるやうな時。

「かたじけない。猶者の部屋をかざらう。何ぼう無聊の眼を樂しませてくれるか、そして、いつまでも美しう香ることであらう」

「御免下さりませ」

お加代はたまらなくなつて來た。思はぬ

「おゝ、無禮をいたした。思はぬさまたげ——許してくれ」

と主税助はいつて、踵をめぐらした。かれは心の中で、微笑しながら、靜かに庭を出て行つた。

お加代はようやく顔を上げた。世の中にはなんと似た人が居ることであらう。弓之助——と思ひ、夢ではないかと思つた。が、それは路傍の見知らぬ人である。身のたけ格好、顔といひ、聲といひ、弓之助にそつくりだつた。が、思へば、それは過去の弓之助にそつくりなのである。それはかの女の胸にある弓之助、しつかり心に秘めてある弓之助の幻影。現實では、弓之助は十年の歳をとつて、少くも面影は變つてゐるはずだ。

けれど、弓之助の顔には、いつも燃ゆる熱情があつた。が、その人は、無慘に澄んだ冷たい顔、そして、眼にけんが——邪心がひそんでゐた事を、今にしてお加代はしみじみ思ひ過ごされたのである。かの女は身邊の危險を感じた。お加代は突如、銃聲がひゞいた。お加代は胸をとゞろかしたが、それだけ

で、青空は、かみそりの刃のやうに、冷たくひつそりと冴えてゐる

◇◇薩摩飛脚◇◇　キング連載の大佛次郎原作の長篇小説を映畫化した日活の時代劇特作品、スタッフは伊藤大輔監督、唐澤弘光撮影、大河内傳次郎主演の名トリオ【日活館上映】

キネマ演藝

薩摩飛脚　大河内傳次郎主演　日活館上映

再び伊藤大輔が放つたクリーンヒットである、斷じて大河内傳次郎の良さでない脚色監督の伊藤大輔の面白味である、いつもながらの手際のいゝ省略法、全く堂に入つた巧妙な話術、そして倦怠を破るギヤグの輕妙さ等々、その映畫構成上の技藝が光

面白味のある時代劇である

……◇……

ストオリはキング連載の大佛次郎の原作長篇物でこれは第一篇東海篇、薩摩へ隱密に入つて行方不明になつた松村の弟と妻と江戸へ歸つた隱密神谷を中心に薩藩刺客隊との爭鬪、それを繞る美奴の情熱、更に物語が東海道に進展して旅の女お歌、怪盜和海が現はれて多角的な跳躍を見せ、而もストオリは連續映畫らしく？を殘して終る興味本位に筋が運ばれてゐる

……◇……

伊藤大輔の手法は例の如くいゝテンポを見せて彼一流の省略法で多數の登場人物を紹介處理して物語りを運びつゝ例へば藝妓小富に薩藩の留守役が迫るところ、また小富と神谷の兩人を眺め乍らの口説、ほろりとさす松村の妻と弟との會話等々、商品映畫の製作者であると共に映畫藝術家らしいところを織交ぜて才智映發なところを見せてゐる

……◇……

俳優は大河内以下いづれも珍らしく熱演してゐるし、伏見直江の藝奴は殊によく、ほんの少しか顔を見せぬが澤村國太郎さマキノ智子が出演し、その他時代劇部のオールスターキャストで堂々たる特作品の風格を備へてゐる

人氣を集める 大檢秋の踊

興味ある番組本極り 新進花形藝妓オンパレード

本社が懸賞募集してコロムビアレコードに吹き込んだ「大連シャンソン」及び「大連行進曲」の振付發表會は既報の如く來る二十二、三日の兩夜六時半から大連劇場にて大檢女紅場並に本社主催の下に華々しく「大檢秋の踊り」を開催することゝなり大連演藝界第一の呼び物である大連檢番の溫習會として前景氣よく大いに期待されてゐる、出演の大檢藝妓は若手新進の花形オンパレードで目下大檢女紅場及び北村席にて照松、鶴三、三喜乃、六代音、梅太郎の各藝妓師匠及び藤奈津師匠指導の下に熱心に稽古を勵んでゐるが、出演者も確定し、プログラムは既報の外清元舞踊「花筐」と極り、常磐津舞踊は「多摩川」が追加され左の如く確定した

一、長唄素囃子「操三番叟」二、清元舞踊「花筐」三、常磐津舞踊「角兵衛獅子」四、新舞踊「風の吹きよで」五、同「花祭」六、長唄舞踊「月の卷」七、小唄舞踊「貴夫次第で笑つて泣いて」八、新舞踊「柳の雨」九、童謠舞踊「證城寺の狸囃子」一〇、常磐津舞踊「多摩川」一一、レヴュウ「大連行進曲」「大連シャンソン」

高田せい子の舞踊團が來演

高田せい子の舞踊團は豫て來演が傳へられてゐたが、愈々十七日上海より來連し十八、九日兩夜、協和會館、廿、廿一日兩夜大連劇場にて大連新聞社主催、大連滿鐵社員俱樂部後援で公演することになつた

噂話

中村蟹波氏が持つて來たミナトーキーの「中山七里」と「船來文明街」を昨日映樂館で試寫、いよいよ公開ときまれば小太夫の聲が聞けることになる▲沿線ではボータブルがないから中村蟹波氏が得意の肉聲トーキーでやらうといふ計畫▲帝國館は來る廿三日松竹再映々畫で開館と決つたが現在のところ▲第一週プロが「生活線ABC」の外「銀幕に現れた旗本退屈男」と「獨身者」と判明しただけで以外は一切明日南氏歸連まで不明▲兎に角二十錢の大衆興行を目安に特別興行で續々三十錢の豫定らしいとのこと▲日活館の開館祝ひに各映畫館が花輪の代りに實質的な記念品を贈り各館親善の第一歩を踏み出す▲目下中央映畫館で上映中の謝恩禮專使の松竹ニュースは立派な桐の箱にプリントが納まつてゐるので▲この桐箱を飾つたら更に興行價値があらうと事務所でプリント優待に腐心してゐる▲明日の日活館開館式は恒例によつて三田尻オンパレードでお客さんを接待

大連錢鈔市場に資本逃避事實なし(二)
市場の繁榮する諸事情

けふから第二の命題に移る、つまり大連錢鈔市場が大繁昌の結果力餘つて日米爲替をますます落ちぶれさせて困る、聞けば官憲の市場だといふぢやないか、けしからんといふのだ。

然し正直なところ、內地方面の議論は一般にピントをはづれ氣味で、最近おそろしく景氣のよい大連銀市場でヤタラにばくちに熱中したり、馬鹿力を振廻されたりしては耐まらんといつた程度の認識振りらしい、湯本事務官を派遣する大藏省としても、圖體の大きいのや力の强いのと體の健かなのとは違ふ、これから一つ健康診斷を行つてみやうといふ程度のものだらう。

さて、記者の診察も市場は健全な發育狀態にあるかどうかゝら初める、これは第一大連市場が必要以上に出來過ぎ、力があり餘るからいけないといふ非難に答へるものである、またこれはハツキリした事實なので後述するその他の問題を解く前提となるであらう。

◇

滿洲事變以來、どうして大連銀市場がかくも目覺ましい飛躍を遂げたか、その第一の理由は上海における銀市場たる標金市場や物品交易所に大連が取つて代つた點にある、これらの市場では事變以來排日のため從來受渡物件に日本向爲替つまり金圓を盛に使つてゐたのをやめてアメリカの金を代用した、然るに弗士國の金は圓と違つて變動だにせぬので上海銀市場が火の消えたやうに寂れたのは自然の數だつた、從つて必要上、已むを得ず銀市場をどこかに求めねばならぬが强大な市場は大連の外にないから水の低きにつくが如く大連に移つて來た、之だけでも大連銀市場は隆昌と繁榮えざるを得ない

それから滿洲港がさびれて北滿の特產が大連に出廻るにつけ大連銀市場は活潑になつた、從來、滿鐵から積出された特產は一億五、六千萬圓に上るが、これらが大連で商內されるとき錢鈔市場にカバーされる、假りに先物特產取引を平均三ケ月と見積つても六、七回のカバーリングが行はれるたまには十回もカバーリングするのがある、從つて市場の出來高は增加せざるを得ぬではないか。

第三に事變以來、滿洲に隆盛と金が落ちたのも見逃してならぬ、皇軍に行渡る給與は大したもので軍部が地元で買込んだ軍需品は少くなからう、それらのなかには民間を繞りめぐつてゐるうちに銀市場に賣りつながれ銀に代へられるのも出てくる、また軍部や新國家に對して邦人業者が請負工事などをする額も大きいが、滿洲人に賃銀を支拂ふには金を銀に代へねばならぬといふ工合で銀市場を利用するものが殖えたことも注意せねばならぬ。

◇

以上は主として實需やつなぎ取引の殖えた原因だが、投機取引の殖えた原因としては滿洲において事變以來、一般に射倖心を頓に昂められてゐることを擧げねばならぬ、馬賊のあの人氣はどうだ、宵ちやん赤ちやんや、麻雀クラブの繁昌ぶりはどうだ、かゝる雰圍氣にあつて人間の本能に近い賣つた買つたの投機心がムクムクと頭をもたげない筈がないではないか。

折から飛びつきたいやうな大材料が次から次へと展開されて行つた、マバラ筋の資力は漸次充實した、銀が高ければ滿洲人の投機力はそれだけ加はつてくる、また實需商內が活潑になればこれに伴つて投機取引が擴大されてゆくのも必然的である、大連銀市場今日の繁榮はかくの如く幾多の原因によつて招來されたものである。

發電所の需要喚起 撫順粉炭移出增加
配車繰り好轉、商事部活氣

石炭需要激增の好機に貨車配給難を來し、滿鐵が日々莫大な損失を蒙つてゐることは屢報のごとくであるが、鐵道部では種々努力した結果十七日より二十車を增配し一日六百九十車となり、この調子では近日中には七百車を超える見込みが立つた、なほ滿鐵鐵道局にも運炭車貸與方を交涉中で、この方よりは十二月に入れば相當廻車を見るべく又社外線よりも廻るものもあるべく結局來月よりは配車も增し今冬期中全力をあげて海外および內地方面に賣込めば七年度下半期の石炭收入從つて鐵道收入は大いに見直すものと樂觀せられるに至つた、ことに目下の需要は塊炭が主で粉炭は山元に貯炭してゐるが塊炭品がすれると共に粉炭の需要も增し値上げを見るべく、又滿洲の水力電氣が振はず阪神方面の火力電氣は有卦に入つてゐる有樣に自然粉炭の需要を增しつゝあり、これに對しては久しく南關嶺および甘井子に貯炭してゐた部分をもつて充當するを得、兩々相まつて滿鐵の石炭收入を樂觀すべく好轉に導いてゐる

硫安、製鋼所 計畫實現經緯
斯波顧問到着の上決定

【東京特電十六日發】來年度より着手すべき滿鐵の硫安會社は曩に斯波顧問、伍堂理事の手によつて具體案を練り、先般商工省、農林省その他當業者とも交涉を重ねた結果諒解を得たので之れを本社重役會にかけ最後の決定をなすこととなり、斯波顧問は十六日下關發うらる丸により急遽歸連することとなつた、十八日着連の上直に正副總裁に報告重役會を開催する模樣である、生產高は年九萬噸、資本金は一千五百萬圓(重役會にて決定)名稱は日滿化學工業會社となる筈である、昭和製鋼所は大體資本金七千萬圓を以て來春四月より事業着手にかゝる見込みであるが目下大藏省との間に關稅問題の解決が捗々しく行かず行き惱みの態で上京中の伍堂理事が懸命に奔走中である、當局の諒解を得て來年度四月工事に取かゝつても實際四十萬噸の鋼鐵を生產し得るに至るは二箇年後であり、內地製鐵業者と利害の衝突を案ぜられる程のものでなく國策上一日も早く昭和製鋼所の成立を希望する向が多いので伍堂理事は十六日午後永井拓相と會見、大藏大臣に說得方を懇願するところあつた、伍堂理事は左の通り語る

折角玆まで來たのであるから手を緩めるわけには行かない、大藏省との交涉は明白に言へぬがなかなかむづかしい問題なので困つてゐるのだ、副總裁も來られたら一度大連に歸りたいと思つてゐる、敷地の問題は僕の口からは言へないと言明を避けてゐるが資本の關係より採算して鞍山になることは最早否定出來ぬ事實であらう

跳躍的材料高に 惱さる土建業者
景氣來の一面此皮肉相

事變景氣が最も直截に反映を齎したものは滿洲の建築界だ、なにしろ昨年春以來不況のドン底に喘いでゐて滿鐵に嘆願したり四苦八苦の足搔を見せてゐた矢先だから不況の底から好況の絕頂へ激しい變りやうには當業者自身時に夢かと身を抓つてみるくらゐだ、從つて材料の騰貴は無論圓爲替暴落、銀價暴騰に起因する一般物價騰貴に伴ふとは雖もこの騰勢より跳騰れて二倍三倍就中新京の現在の材料値段の如きは狂氣沙汰として建築業者は何れも呆然たる有樣だ、以下建築主要材料、鐵材、木材、煉瓦、砂利の滿洲における騰勢を擧げてゐる

▲鐵材 昨年夏噸四十圓を切つた安値で持て餘してゐたものが今大連渡、バーが九十五圓、柵、アングル、ジョイストが百五十圓、チヤンネルが百七十圓で二倍半の暴騰だ、新京では是に關稅と運賃が加へられる、この原因は國內において金輸出禁止と共に思惑買やつたものが當時需要なく爲めに繋ぐことが出來ず皆捌いて了つた長期思惑をやることが出來ぬ上に政府が生產制限を行つたので品薄のところへ今度の事變で滿洲の需要が激增、又軍需品の製造が激增したので値段が鰻上りに上つた、尤も外國品を買へばアメリカでは現在バーが十七弗相場で大連値段では運賃を含め圓にして九十圓になる、最も品薄で高い、柵の五厘五等は國內品は三百三十圓を唱へてゐるが、外國品をとれば百十圓で買へる、然し現在の滿洲需要が急ぐところをつけ込む鐵商の釣上げで高いものを買はねばならないたまりかねて日本土木建築請負業者聯合會では十一月十日左の如く政府に宛て鐵材値引下げに就いて陳情した

一、關稅撤廢
一、暴利取締令の發動
一、重要產業統制法の發動
一、生產制限の撤廢

尤も政府においても考慮するところはあり八幡製鐵所では十一月一日より月一萬噸增產を決定した內譯は左の如くである

大形千五百噸、原板二千噸、中板千五百噸、ワイヤロッド一千噸、他の四千噸は市價暴騰調節のため品不足の品を生產す

時局匡救公債二億 發行條件を日銀で提示

【東京十七日發】本年內に發行すべき日本銀行引受け時局匡救公債二億圓の發行條件については過般來日本銀行當局に於て金融界の情勢と國債市價の趨勢を考慮し攷究中であつたが、十六日利率と期限について日本銀行の意向を大藏省に提示した、卽ち利率四分期限十ケ年內外の模樣で發行の時期が二億圓を二分し內一億圓は本月下旬他の一億は二月中旬頃發行の豫定であるので其の時の國債市價の實際に卽し決定の方針となつてゐる

日滿貿易將來と見本展示座談會(六)
八日奉天洞庭春に於て

▲市場展の存否 繼續

上田團長 今度の催しは非常に喜ばれましたが繼續するか否かは經費の問題です

兒玉理事 輸出組合聯合會も滿鐵で前からやりたい意志を持つてゐるまして研究中でありましたが奉天が逸早く今度の催しした計畫に滿洲國側も贊成されたので滿鐵でも奉天でやつて貰へばと云ふ事で實現された譯です

樹巴氏 滿洲國でも新京で滿洲國の爲めになる事ならばやると云ふ事でした、それで滿洲國でも多少考へて居ると思はれます

野添氏 今回の主催が會議所輸入組合でそれに後援されたのが實業廳、滿鐵、協和會と云つた各種機關の御援助によつて斯樣な結果を見たのであります、併し之を繼續するにしても會議所は豫算の關係上から見れば六ケ敷い事ではなからうかと思はれます、存續するにしても各種機關の援助がなければならぬと思ひます、日本方面に於ても滿蒙の色々な事を知りたい希望を持つてゐる人が澤山あります、其地が不便なるため單に耳から入れる滿蒙經濟の實體を知るだけで依然として認識不足に終らしめる狀態であります、故にかゝる催しはなるべく繼續したいと考へます

▲輸出商品の陳列所を奉天に設置の件

龐谷氏 御承知の如く會議所でも內地商品の陳列をやつてゐましたが、六ケ敷い事で商品が陳列されたまゝで少しも賣らないのです、折角の陳列所も眞價を發揮することが出來ません、個々今回の展覽會によつて陳列所を設けても品物が賣るかどうか問題です、實現するとしても滿鐵會社の方でも計畫されて居る樣でどうなるか判りません

上田團長 滿鐵は各地に工業館を設置する樣です、今奧地には設けてあります

樹巴氏 滿洲國としてもかうした商品陳列所を設置して內地輸入品並に滿洲土產品も一所に陳列した方がよいではないかと思ひどう云ふ風に設置するかは存じませんが多少考へてゐる樣であります

兒玉理事 大きな機關で設備すれば效果があるだらうと思ひます小規模のものは小規模ながら利用されてゐる樣です

樹巴氏 先般電氣協會に出席しましたが財團法人組織で陳列館見た樣なものを設置し日滿工業者が犧牲を拂つて日滿工場館等を作つて見たらと云ふ意見がありました(完)

滿鐵使用レール規格改正協議
昭和製鋼所建設を見越し
結局廿米に延長改正か

滿鐵では昭和製鋼所の建設を見越して着々各方面で諸準備を進めてゐるが、技術局ではこれを機會に現在滿鐵で使用してゐるレールの長さを延長し適當な標準を定めることになり十七日午前十時から局長室に根松次長、郡幹事等關係者參集最後の打合せを行つた、現在滿鐵で使用中のレールは最近殆ど八幡製鐵所から購入するものであり船積その他の關係から十米と規定されてゐるが、將來昭和製鋼所が完成のうへはレールも製作し滿鐵使用レールは出來る限り同製品を使用する方針であるためこれが改正を計畫したもので、レールの本質から出來得る限り長物が便利であり結局滿鐵としては輸送その他を考慮して二十米と規定する模樣である、なほ鐵道省は既に二十五米物を使用してゐる

浮說旺に飛び 鈔票狂騰

今朝日米爲替第一回八分の一高の二十弗二分の一、第二回同事、第三回八分の一安を入れ、米日も十二仙高の二十弗六十二仙、海外銀塊一齊に同事と材料冴えず、當市一圓六十錢急落の百七圓七十錢に寄り六圓八十五錢まで下還へを見たが、引際滿洲人方面に日本大地震說起るとの流言行はれ、そのため百十圓五十錢まで暴騰し、十圓丁度と引けていづれもアッケに取られ諸種の說しきりに行はる

硫安奔騰し 滿鐵對策に專念

內地の硫安界は鰻上りに昂騰し既に百二十圓を呼び九月ごろの五十圓臺に比すれば實に倍値以上で政府の制止策も利かずこの調子では農村はインフレーションによつて却て疲弊するに非ずやと見られるに至つた、これが對策としては安き外國硫安を輸入するより他なく從つて滿鐵硫安の輸入を緩かにすべしとの議が起きてゐたが來るべき議會において何らかの提案があるものと信ぜられてゐる、卽ち現在の硫安輸出入制限令においては商工省と農林省とが對立の地位に立ち輸出の際は商工省が切り出して農林省の承諾を求むるに反し輸入の際には農林省が主張して商工省に贊成を求むることになつてゐる、しかるに硫安が現在のごとく暴騰するにおいては農林省側の發言が自然重くなるので從來のごとき並立制は改められ農林省が輸入を主張する時はこれを主として商工省は從的地位に置くことゝならう、この結果は滿鐵硫安は農林省の許可によつて容易に輸入し得るに至るべく滿鐵でも形勢を重視してゐる

船腹不足を告げ 運賃依然硬化
特產小麥等出廻りから

滿洲小麥の出廻りは愈々シーズンに入り大型船の該方面への出動旺盛を加へたる一方滿洲大豆の歐洲向引合も依然として旺盛なるため船腹は引續き拂底を告げ居り、かくて市場運賃率は遂日硬化の一途を辿り、先物に於て既に二十八志に騰貴したが、十一月、十二月ものにあつては二十九志を唱へてゐる然し船會社側としては近物には既に船腹を有せざるため一月、二月もの、萬貨に懸命の努力を傾倒して居り、邦人海運界も漸く景氣づきたる模樣である、從つて上海市場さへ多少の恢復を來さば海運市況の活況は著るしきものであらうと觀られてゐる

商取信託會社發起人會
顏觸れを決定

大連五品取引所商品市場關係者では既報の通り據て株式代行會社と併立する商品市場の金融並に淸算機關たる大連商品取引信託會社の設立を計畫中のところ最近關東廳方面との諒解も出來たので十六日午後四時から五品取引所會議室にて發起人會を開き資本金五十萬圓第一回拂込四分の一、總株數一萬株の內九千株を發起人引受け一千株を公募することに決定創立委員長として井上輝夫氏を推薦したが發起人の顏觸れを示せば左の如し

井上輝夫、中川龍藏、松村久兵衛、運ナ祚、櫻內辰郎、小林庄五郎、吉本政吉、山田柳治、濱野榮一、首藤定、贊成人伊藤久太郎

爲替安入電で 麻袋猛騰

大連五品取引所商品市場における麻袋は十七日前場產地情報保合乍ら地場銀票の昂騰と實需筋の買進みに對し期近物には輸入屋の賣物絕えず買人氣白熱化し現物は四十三錢七厘と新高値に奔騰し年內物二錢四厘高年明物六七厘高と猛騰し商內活況を呈した

東支換算發表
廿一日より實施

東支鐵道當局では十一月廿一日から南滿東支換算率を左の如く改正したがこれを現在の換算率に比較すれば十八圓四十錢の差で、最近の圓價暴落に因るものとは言ひながら一ケ月中にかくの如き差額を生んだことは未曾有のことゝされてゐる

金百留に付 二百六圓六十錢

黄塵

◇…例の計畫好きの淸水土木課長發案で、旅大兩地の將來を花の都と化すべく櫻桃、李いろいろの苗木を無料民間に交附、同時に關東廳自身が王家店の水源池に約五十萬本の苗木を移植することに決めたさうだ、蓋し素晴らしい思ひつきといつてイヽ。

◇…そこで、モ一つの注文は關東州の綠化運動をやつて貰ひたいことだ、現在でも州內殊に旅大間は相當植樹が行きわたつて居るが、しかしそれは街路や山野に限られて市內の住宅はまだまだ樹木が足りない。

◇…それには先づ關東廳あたりから二、三科の苗木を下附することが先決問題だ、淸水君に對して更にこの方面に一段努力をすることをお勸めする。

市場電報(十七日)

銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	十八片〇分〇
同 先物	十八片八分一
紐育銀塊	二七仙〇分〇
孟買銀塊	五五留比八分七
スチール	三三弗八分七
アナコンダ	九弗八分七
英米爲替	三弗三十二仙六分七
米日爲替	二〇弗六二仙
米支爲替	二九弗八分七

神戶日米

回	相場
第一回	二〇弗二分一
第二回	二〇弗二分一
第三回	二〇弗八分三

棉花

●米棉

限月	相場
現物	六仙四〇
十二月	六仙三〇
一月	六仙三九
三月	六仙四八
五月	六仙五七
七月	六仙六八
十月	六仙八二

●印棉

品目	相場
ベンゴール	一九三留比
ブローチ	二三二留比
オムラ	一五四留比

大阪株式 [illegible]

東京株式 [illegible]

大阪期米 [illegible]

神戶期米 [illegible]

東京期米 [illegible]

市況(十七日)

特產 大豆强調 品薄と買氣で

今朝の定期は大豆は品薄と買氣構へに銀高も利かず强調を辿り豆粕も相伴ひて强調、豆油は閑散ながら强保合を示し高粱は仕手薄に區々を入れた

◇定期前場(銀建)

▲大豆(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	五二四〇	五二七〇	五二四〇	五二五〇
十二月末	五二六〇	五二七〇	五二五〇	五二六〇
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	二百二十六車			

▲豆粕 [illegible]

▲豆油 [illegible]

◇現物前場(銀建)

▲包米(出來不申)

品目	寄付	大引	出來高
混保大豆(袋込)(裸物)	五一五〇	五一六〇	八十車
普通大豆(袋物)(裸物)	五一四〇	五一三〇	四十車
豆粕	一六二〇	一六三〇	四萬枚
豆油	一四〇〇	一四〇〇	一千五百箱
高粱	二四一〇	二四一〇	八車
包米	出來不申		

定期喰合高(十六日帳入)

品目	喰合高	前日對比(△印減)
大豆	五二二六車	三九車
高粱	八八四車	一車
豆粕	六九五千枚	二四千枚
豆油	六九五百箱	—

豆粕生產高(十七日) 二五、〇〇〇枚 一二軒

錢鈔 引際暴騰 初め急落

今朝日米爲替第一回八分の一高、第二回同事、第三回八分の一安の二十弗八分の三、米日十二仙高の二十弗六十二仙、倫銀、紐育、孟買とも同事ながら標金小戻り、かくて當市急落せしも引際に至り日本に大地震との謠言行はれて猛騰し十圓臺に乘せた、滙申七十四兩〇五、滙煙七十一兩八二五、大洋九十八圓六十五錢

◇定期前場(單位錢) [illegible]

◇現物前場 [illegible]

株式 內地株强保合 當市小緩り

[illegible]

豆 / 銀 / 株 / 糸

[illegible]

商品 麻袋猛騰 綿糸强保合

[illegible]

上海爲替情報

[illegible]

各地特產發送高 / 大連埠頭到着高 / 奧地市況 / 爲替相場

[illegible]